

42

特 243

468

十年二月二十五日

納本

第六十七回
帝國議會
豫算委員會
豫算委員會
豫算委員會
第五分科會議錄寫

第三輯

全日本肥料團體聯合會

(以印刷代謄寫)



始



特243
468

内 容 目 次

豫算委員會並ニ分科會ニ於ケル質疑

中 亥 歲 男 君

小賣商ノ統制ト人口問題ノ解決	一
人口過剰ト産見制限問題	三
人口過剰問題ヲ國策審議會ニ諮セ	七
中小商工業者ト融資問題	九
中小商工業者ノ救済ニ御題目	一〇
小商工業者ト無擔保貸付	二
市街地信用組合ノ移管	四
米穀自治的管理案ト米穀業者ノ反對運動	六
米穀業者ノ反對ヲ無視シ米穀自治的管理案ヲ提出スルヤ	一〇
農商兩省ノ對立ト反産運動	三
農商關係中央團體ノ整理統制	四
農業團體ノ代表者ト特權階級	五

河 野 一 郎 君

米穀自治的管理案ト中間商人ノ死活	二七
産組事業ト反産運動	二九
官廳、銀行、會社ノ消費組合ト中商工業者ノ壓迫	三
凶作地向肥料運賃割引問題ト新聞ノ誤報	三一
凶作地向運賃割引問題ニ對スル 山崎農相ノ答辯ハ認識不足	三二
由 谷 義 治 君	三三
疏安生産各社ノ生産費ト配給 組合ノ建値ニ對スル資料ノ要求	三三
疏安價格ノ引下ニ對スル農相ノ覺悟	三三
農産物生産費ノ暴露ト一産業 生産費ヲ暴露セザル政策ノ矛盾	三六
産業組合ノ指導階級ノ報酬ニ 對スル資料ヲ提出セザル理由	四〇
産組上部指導階級ノ報酬ト農民ノ非難	四一
昭和肥料會社ト全購聯肥料ノ價格ノ不廉	四三



町田商工大臣

商工省所管豫算ノ説明……………五

玉置吉之丞君

商工豫算ノ過少ト商工大臣經綸ノ實現性……………六

農村工業化ト商工豫算並ニ其ノ所管……………五

農村工業化ト指導獎勵方法……………五

農村工業化ト其ノ實際問題……………五

農村工業化ニ産業組合ハ不適當……………六

現下産業組合ノ指導精神ト其資本主義的經營……………三

購買組合事業ト取扱品目ノ制限……………三

服部岩吉君

全購聯雜貨ハ事實不廉ナリ……………六

全購聯中央金庫、農會ノ役員ト其ノ報酬ニ對スル農村ノ怨嗟……………六

經濟更生指定村ト其ノ實績……………六

地方購買組合ノ取扱品目ノ制限……………六

河野一郎君

商工省發表ノ疏安生産費ト農林省ノ調査……………七

滿洲化學ノ原價ト一般疏安原價……………七

昭和肥料會社發表ノ原價ト商工省發表疏安原價ノ相違……………七

疏安市價暴騰ニ對スル當局ノ對策如何……………七

代議士ヲ嘗メ役人ヲ馬鹿ニシタル疏安市價ト配給組合……………七

野中徹也君

肥料市價ノ暴騰ハ全購聯縣聯ノ凶作地向運賃割引ニヨル旗賣……………七

商業組合ト共同店舖……………七

中冢歳男君

米穀商ノ大會ヲ押切り政府ハ法律案ヲ提出スルヤ……………八

野中徹也君

農産物販賣統制ト其獎勵費……………八

大山斐麿君

商工中央金庫ノ創設……………八

中小商工業者ト損失補償……………八

商業組合ノ統制力ト強制加入力……………八

商工業組合ニハ産業組合以上ノ保護助成ヲナセ……………九

商、農兩省ノ對立抗爭……………九

第六十七回帝國議會 豫算委員會會議錄(速記) 第十一回

會議

昭和十年二月四日(月曜日)午前十時三十四分開議

○中委員 (前略) 商工大臣ニ御尋ヲ致シマス、ヤハリ人口問題ニ對スル生産トノ關係デアリマスガ、商工省關係トシテ

近頃反産運動、或ハ小賣商對「デパート」ノ問題、或ハ小賣業者ガ餘リニ多イノデ、之ヲ統制スルト云フ問題、是等ノ問題ノ悉クハ、人ガ多クテ仕事ガ無イト云フ、其人口ノ急激ノ増加ト云フコトカラ起ツテ來テ居ルヤウニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、是等ノ問題ハ何レモ中々解決困難ナ問題デアリマス、殊ニ小賣業者ノ問題デアリマスガ、近頃餘リニ小賣業者ガ多イノデ、何トカ統制ヲシナケレバナラヌト云フヤウナコトハ、同業組合ナドデモ盛ニ考ヘテ居ル、併ナガラ是ハ丁度風船玉ノヤウナモノデ、一方ヲ抑ヘルト一方ガ出ルト云フヤウナ譯デ、中々困難ナ問題デアリマス、御承知ノヤウニ都會ニ於テハ、例ヘバ工場労働者ノ如キモノデモ、少シ年ヲ取りマシテ、サウシテ職ニ離レル、或ハ教育家デアリマストカ、官吏デアリマストカ、皆失業致シタ人ガ何カ職ヲ再ビ求メントシテモ、中々求メルコトガ出來ナイ、其結果ガ小賣業者ト云フモノハ金ガ多ケレバ大キク、少ケレバ小サク、洵ニ仕事ガ始メ易イノデ、小賣業者トナツテ、果シテ收支ガ價フカ價ハヌカハ、第二ノ問題ト致シマシテ、取敢ズ職ヲ求メントシテ雇ウテ呉レル人ガナイト云フコトニナルト、遊ンデモ居レナイカラト云フノデ、眼ヲ著ケルノガ小賣業者デアリマス、斯ウ云フ情勢デ、官吏ノ古手モ、教育者ノ古手モ、労働者ノ古手モ悉クガ結局皆小賣商ニ眼ヲ著ケルト云フ今日ノ實情ニ相成ツテ居ルヤウニ思フノデアリマス、ソレデアリマスカラ若シ政府ノ力ニ依ツテ、或ハ組合ノ力ニ依ツテ、何町以内ニハ何々ノ小賣商ヲ始メテハナラヌト云フコトニシテ、組合ガ

新ニ始メル者ヲ或ル程度迄制限ヲ加ヘルトカ、政府ガ何等カノ方法ニ依ツテ統制ヲ加ヘルト云フコトニ致シマスルト、新ニ職ヲ求メントスル者ガ求メルトガ出来ナイト云フ、茲ニ大キナ社會問題ガ起ツテ來ル、是等ノ色々ノ事情ヲ考ヘルト、結局ハ人ガ多クテ仕事ガナイト云フコトニ歸著致ス、ソコデ只今申シマシタヤウニ、ヤハリ是ハ急激ニ増加スル人口ト云フモノヲ解決スルト云フコトニ眼ヲ著ケナケレバナラス、斯様ニ考ヘルノデアリマス、先ヅ商工省關係ニ付テノ人口問題ニ付テ、商工大臣ノ何カ良イ御考ガゴザイマセスカ、御尋致シマス

○町田國務大臣 先刻總理大臣カラモ御答致シマシタヤウニ、非常ナ重大ナ問題トシテ、長イ間種々政治家ノ研究ヲ慮ラヌ問題デアルト同時ニ、マダ今日解決ガ付カヌ問題デアルノハ、中君ノ御心配ニナツテ居ル通りデアリマス、大體私トシテハ是ハ商工省ニ限ツタ問題デアリマセヌガ、中小商工業、殊ニ小賣商人ニ關係ノアル問題デアリマスガ、外ニ向ツテ出來ルダケ發展スル、移民或ハ植民等ノ、世界適當ナ所ニ向ツテ人口ガ非常ナ發展ヲスルト云フ對策ガ一ツ、内ニ向ツテハ商工業ノ發展ト共ニ、多クノ労働者ヲ使フコトノ經濟組織ニシテ行キタイト云フ、大體ニ於テ此ニツツ考ヘテ、人口問題ノ解決ヲ致シタイト思ヒマス、恐クハ私ノ所管デアリマセヌガ、只今ハ農村ノ根本對策ト云フノモ、農村ノ人口問題ヲ考ヘナケレバイカヌヤウニ思ヒマス、都會ニ於ケル小賣商人ノ問題ノ如キ、私ガ農林省ニ居ツタ時ノ大體ノ考カラ言ヒマスルト、色々ナ多角産業トカ、副業トカ云フコトガアリマスガ、農村ノ根本對策ハ、農村ノ人口ガ多過ギルト云フコト、同ジヤウニ、都會ニ於テモ人口ガ多過ギルト云フ問題ガ常ニアルコト、思ヒマス、是ハ政府トシテ政府全體ノ上カラ考ヘナケレバナラヌ問題デアリマスガ、御尋ノ商工省ノ方ノ關係カラ見マスト云フト、能ク中君ノ常ニ御研究ニナツテ居ル通り、此對策ハ容易ニ解決スルノハ困難デアリマス、譬ヘテ申サウナラバ、東京ニ致シマシテモ十三萬戸數ト云フ小賣商ガアリマス、是ガ果シテ大都市ノ東京ニ斯様ナ小賣商ガ必要デアルカト申シマスト云フト、御話ノ如ク已ムヲ得ズ遊ンデ居ル譯ニ行カヌカラ、先ヅ小賣商ニデモナラウト云フヤウナ形ニナツテ居ル爲ニ、小賣商全體ノ經濟狀態ガ甚ダ困難ニナツテ居

リマスルガ故ニ、今實ハ商工省デハ、小賣商改善委員會ヲ作ツテ、或ハ小賣商ノ組織經營ノ方法等ヲ研究シテ居リマス、其間ニ委員ノ中カラ、矢張小賣商ノ數ヲ相當ナ統制力ヲ持シタモノニ依ツテ、制限シタラドウダラウト云フ意見モナイデアアリマセヌ、併シ是ハ餘程困難ナ問題デアリマシテ、一方小賣商ノ數ヲ制限スルトシタナラバ、過剩ナル人口ヲ如何ニスルカト云フ、社會政策ノ見地カラ之ヲ考ヘナケレバナラス、社會政策ノ見地カラ剩ツタ人口ヲドウスルカト云フコトニナリマス、中君ノ御話ノ年々殖エテ來ル人口ノ増加ヲ如何ニスルカト云フ、大キナ問題カラ解決セナケレバナラヌデアリマス、甚ダ御答ガ不徹底デアルト自ラモ考ヘテ居リマスガ、小賣商ノ改善ト共ニ、剩ツタ人間ヲ社會政策ノ上カラ如何ニ之ヲスルカト云フコトハ、商工省ノ問題トシテ社會問題ノ上カラ深く考慮シナケレバナラヌ問題ト思ツテ、甚ダ困難ヲ感ジテ居ルノデアリマス

○中委員 最後ニ内務大臣ニ御同致シタイト思ヒマス、只今商工大臣モ仰セニナリマシタヤウニ、職ノ無イ者ニ對シテハ、内務省アタリテ社會政策ノ意味ニ於テ、種々御努力ニナツテ居ルコトモ、私ハ承知シテ居ルノデアリマス、併シ移民政策モ、ドウモ百萬ノ増加スル人口ノ對策ニハナラス、ソレカラ又生産ヲ旺盛ニシテ之ヲ消化スルコトモ、現在トシテ中々困難デアル、私共モ實ハ此問題ヲ何トカシナケレバナラヌト氣付キマシタノハ、儲カ昭和三年頃デアアル、其當時吾々ハ一部世間ノ人ニモ發表シ、産兒制限ト云フクウナコトモ言ウテ見マシタガ、併ナガラ最善ノ方法トシテハ、實行ノ可能性ガナイ、改善ノ策トシテハ、之ニハ種々ノ反對ノ理由ガアルト云フヤウナコトデ、今日マデ吾々モ只今各大臣ノ仰セニナルヤウニ、何トカ何トカデ日ヲ送ツテ參ツタノデアリマスガ、併シ今日トシテハ最早良イ方法ガナイカラト云ウテ、此儘ニシテ置ケナイ時機ニ相成ツテ居リハセヌカ、是ガ今日私ガ豫算總會デ此問題ヲ質問申上ゲル所以ナノデアリマス、内務省デハ現在失業救済トカ、或ハ職業紹介トカ云フ、色々ナコトヲヤツテ居リマスケレドモ、是モ二階カラ目藥ノヤウナモノデアリマシテ、一年ニ百萬ノ人口ガドント殖エテ仕事ハナイ、之ヲ社會政策デ解決シヨウト申シマシテモ、非常ナル財力

デモアレバ兎モ角、日本ノ今日ノ財政状態デハ、到底行ヘルモノデハナイ、總理大臣ハ歴代ノ内閣ガ御心配ニナツテ居ル
ト云フ話デアリマスガ、内務省トシテハ人口問題ノ解決ニ對シテ、産兒制限ト云フヤウナコトヲ多少御調査、御研究ニデ
モナリマシタコトガアルノデアリマセウカ、之ヲ一ツ伺ヒタイ、私共考ヘマスノニ、今日ノ我國ノ國民ノ生活ト云フモノ
ガ、大體無理ヲシテ居ル、國民生活ノ實情ハ一體ドウカト言ヒマス、先ヅ今日百圓ノ收入ヲ得テ居ル人ガドンナ生活ガ
出來ルカ、之ヲ極メテ手取早ク標準ヲ示シテ見ルノニハ、家賃デ標準ヲ立テルノガ一番早イ、百圓ノ收入ヲ有ツテドンナ
生活ガ出來ルカト言ヘバ、先ヅ二十圓カ二十五圓ノ借家生活デ、親ガアツテ、子供ガ一人カ二人アル人ハ、是デ生活ヲシ
テ一錢ノ餘裕モナイ、若シ不幸ニシテ家族ノ中ニ一度病氣ニ罹ル者ガアレバ、御承知ノ如ク近頃ハ醫藥ガ高イカラ、直グ
ニ三百圓ヤ五百圓ノ借金ガ出來ル、其借金ハ百圓ノ收入カラ生活費ヲ拂ウテ居ツテハ、何年經ツテモ産ミ出スコトガ出來
ナイ、百圓ノ收入ノアル人ノ生活状態ハ、ザツトソナモノデアアル、ソコデ百圓以上ノ收入ノアル人ガ多イカ、以下ノ人
ガ多イカト云フト、甚ダ百圓以上ハ少イ、大概百圓以下デアアル、五十圓乃至八十圓程度ノ生活ヲシテ居ル人ガ官吏デモ、
會社員デモ、勞働者デモ、先ヅ此程度ガ國民ノ中ニ一番多イ、サウスルト二十圓、二十五圓ノ家賃ノ家ニモ住ムコトカ出
來ナイ、先ヅ十五圓、十五圓以下ノ家ハナイ、ソコデ是等ノ人ガ其子供ヲ養育スルト云フコトハ、收入ノ上カラ云ツテ無
理ナノデアアル、不可能ナノデアアル、サウ云フ状態ニ私ハアルヤウニ思フ、大學ヲ出タ所デ五十圓、六十圓、三十歳ニナル
迄ニ百圓ニナル人ハ良イ方デアアル、三十歳ニナツテ獨身デ居ルト云フコトニナルト、又生理的ニモ種々ノ弊害ガアル、妻
帯ヲスレバ矢張子供ガ生レル、是ガ大體我ガ國民ノ多數ノ生活状態デ、ソコニ大ナル無理ガアル、一體人間ガ家庭ヲ持ツ
テ子供ガ出來ルト云フコトハ、是レ位喜バシイコトハナイ、然ルニ今日實際ノ社會ノ裏面ヲ見ルト、子供ガ又出來ヤセヌ
カ、子供ガ又出來テハ困ル、子供ノ出來ルコトヲ心配シテ居ル人ガ澤山アル、是ハ私共ガ斯ウ云フコトヲ考ヘテ居ルカラ、
サウ云フ話ガ耳ニ入ルノカモ知レマセヌガ、三十四五ノ夫婦ガ別居シテ居ル、何ノ爲ニ別居シテ居ルカト云フト、子供ガ

出來ルト困ルカラト云フ、是レ以上子供ガ出來テヤドウシテモ生活ガ出來ナイ、是ハ表面ニハ現ハレヌコトデアリマスケ
レドモ、我國ノ社會ニハ隠レタ斯ウ云フ悲惨ナコトガアル、實ニ私ハ人生トシテノ悲惨事ダト思フ、是ガ働イテ居ル人間
ノ標準デアリマス、所ガ是ガ一度失業ヲシタ、子供ハ四人モ五人モアルト云フト、是ハ逆モ言語ニ盡セヌ程悲惨ナ生活苦
ニ惱ムノデアリマス、先刻モ申上ゲタヤウニ、モウ今日デハ此人口問題ト云フ根本ヲ何ト力致サナケレバ、内務省デ今オ
ヤリニナツテ居ルヤウナコトデハ、私ハ一口ニ言ヘバ二階カラ目藥ノモノデアツテ、國民ニ對シテ抛ツテ居ルノデハナ
ク、政府ハヤツテ居ルゾト云フ、唯申譯ニナツテ居ルダケデ、實際ニ憐レナ國民ハ救ハレテ居リマセヌ、私ハ一體國家ト
シテモ榮養不良ナ、更ニ教育モ施スコトノ出來ナイ國民ヲ澤山拵ヘルコトガ利益デアアルカドウカ、先刻總理大臣ノ仰セニ
ナリマシタヤウニ、國民ガ殖エルト云フコトハ、大變結構ダ、是ハ議論ノ上カラ何モ異論ハアリマセヌケレドモ、急激ニ増加
スル今日ノ我國ノ實情ニ考ヘ、サウシテ只今申上ゲタヤウナ國民ヲ多數ニ造ルコトガ、國家ノ利益デアアルカ、私ハ優良ナ
ル國民ヲ適度ニ造ルコトコソ、國家ノ爲ニ悦ブベキコトデアルト思ヒマス、此頃日々ノ新聞ヲ見マス、色々ナ家庭悲劇
ガアリ、犯罪ガアリ、或ハ墮胎、傷害罪ト云フヤウナコトガ日々殖エテ參ツテ居ル、甚シキニ至ツテハ、近頃親子ガ生活
苦ノ爲ニ、心中スル、是等ヲ考ヘマス時ニ、實ニ我國ノ今日ハ日進月歩ノ勢デ、非常ニ隆々トシテ伸ビテ參ツテ居リマス
ガ、今日此問題ヲ此儘ニシテ、國民同胞ノ中ニ斯ウ云フヤウナ悲惨ナ者ヲ澤山拵ヘテ置キマシタノデハ、私ハ非常ニ國家
ノ將來ニ取ツテ憂慮スベキモノデアルト思フ、我國ノ陸海軍ガ世界ニ誇ル立派ナ軍隊デアルト云フコトハ、一體何デアリ
マセウカ、唯國民思想、所謂國民精神ニ依ツテノミデアリマス、決シテ我國ノ軍器ガ充實シテ居ル意味デハアリマセヌ、
唯國民精神ガ立派デアアルガ爲ニ、誇ルベキ軍隊ガ出來テ居ルノデアリマス、併ナガラ今日ノ情勢ハ、内閣諸公ノ御考ニナ
ツテ居ラレル以上デ、我國ノ社會ノ裏面ハ甚シイモノガアル、諸君ノ御想像ノ付カヌモノガアルト思ヒマス、之ヲ此儘ニ
敷シテ置キマシテハ、國防上ノ見地カラ見マシテモ、私ハ將來實ニ憂慮スベキモノガアルト思ヒマス、之ニ對シテ軍部當

局ノ御意見ガ伺ハレマスレバ非常ニ幸デアリマス、一番關係ノ多イノハ内務省デアリマスルガ、私ノ今申上ダコトニ對シテ、内務大臣ハ如何ニ御考ニナリマスカ、御意見ヲ伺ヒタイ

○後藤國務大臣 社會政策ノ施設ニ依ツテ、生活ニ困難ヲシテ居ル者ヲ救ツテ行クト云フノニ、只今ノ程度ノヤリ方デハ非常ニ不十分デアルト云フコトハ、私モ御同感デアリマス、併ナガラ本當ニ身體、或ハ精神等ニ缺陷ガアツテ職業ガ得ラレナイ困ル者ヲ救フ、或ハ一時職業ヲ失ツテ困ツテ居ル者ヲ救済ヲスルト云フヤウナコトハ、所謂通常ノ社會政策ノ見地カラ行フコトデアリマス、是モ現在決シテ十分ダトハ申シマセヌガ、出來ルダケノ努力ヲ官民共ニ致シテ居ル譯デアリマス、更ニ其以外ニ於テ人口ノ殖エルコトカラ職業ニ困リ、或ハ生活程度ノ低下スルト云フノヲ防グト云フ問題ハ、所謂狹イ意味デノ社會救済政策ノ見地カラハ致方ガナイノデアリマシテ、一般ノ産業其他ノ各方面ノ政策ガ、國民ノ生活ヲ豊シ、向上スルヤウニ致ス大キナ仕事トナルノデアリマシテ、社會政策的ノ見地カラ産業政策、經濟政策ヲ行フト云フヤウナコトガ、此處デ考究サレル問題ニナルノデアリマス、此事ハ先程來實問應答ノ間ニ現レテ居ルヤウナコトデアリマス御實問ノ斯ウ云フヤウナ人口増加ガ壓迫スル時代ニ於テ、産兒制限ト云フヤウナ問題ヲドウ考ヘルカト云フコトニ付キマシテハ、私ハ茲ニ極ク率直ニ私ノ所見ヲ申上ダタイト思ヒマス、健康ノ上カラ、或ハ遺傳等ノ關係カラ、缺陷ノアル子供ノ出來ルコトガ漸次制限サレルト云フコトハ、私ハ宜シイ事ダト思ヒマス、併ナガラ唯生活ノ安泰、或ハ安全ヲ圖ルガ爲ニ、産兒ノ制限スルト云フ思想ナリ、慣習ナリ、傾向ナリト云フモノハ、私ハ望マシクナイト考ヘテ居リマス、是ハ生理痛モ申セバゴザイマスガ、古イ世界ノ歴史ヲ見マシテモ、一度民族ノ間ニサウ云フ風ナ慣習ガ根ヲ差シマス、是ハモウ到底取戻シガ付カヌ、其民族ガ段々ニ衰亡シテ行ク傾向ヲ追ツタ事例ガ澤山アルノデアリマス、是ハアナタノ今仰セデアリマシクヤウニ、何カ適當ノ程度ニ調節ガ行ハレタナラバ、サウ云フ弊害モナイダラウト云フヤウナ御議論モアルト思ヒマスガ、極メテ人情ノ弱點ニ喰入ル問題デアリマシテ、是ガ適度ニ行ハレルト云フヤウナコトハ、殆下不可能デハナ

イカト考ヘテ居リマス、今日現在或國ニ付テ——名ヲ指シテ申シマスコトハ憚リマスケレドモ、人口ノ増加ノ趨勢ニ因リ、或ハ減少ノ趨勢ガアル爲ニ、非常ニ困ツテ居ル國ガゴザイマス、併ナガラ生産ノ資源尙ホ十分デナク、其他産業ニ付テモ十分ナ發展ヲセズ、唯人口ガ殖エレバ非常ニ困難ガ増加スルデハナイカ、ソレハ其通りデアリマス、我國ノ今日ノ現狀ヲ見マシテモ、多少サウ云フ狀況ガ現レテ居ルト思ヒマス、併シ私ハ此健全ナ意味デノ人口ノ増加ガ、色々ナ點デ生活ヲ壓迫スル點ハアリマシテモ、是ト闘ツテ、之ヲ克服シテ行クト云フ努力ガ必ズ行ハレルノデアリマス、又此努力ノ行ハレル所ニ國運ノ進歩モ、國民ノ知識ノ向上モ、國力ノ向上ト云フヤウナモノモ、實ハ得ラレルノデハナイカ、我國ノ歴史ヲ見マシテモ、結局人口ガ増加シテ樂ニ行ケナクナルニ從ツテ、色々ナル工夫ヲスル、天然ノ障礙ヲ克服スル、有ユル奮闘ヲ致シマシテ、今日向上シテ參ツテ居ルモノト思フノデアリマシテ、斯ウ云フ刺戟ヲ無クシテ済メバ結構デアリマスケレドモ、ナクテ済マスナラバ、相當ノ困難ニ遭ヒナガラ、ソレヲ常ニ克服シテ行ク努力ハ行ハレルト云フ所ニ、國運進歩ノ原動力ガ存在スルトモ一面カラ申サレルト思ヒマス、産兒制限ト云フヤウナコトヲ、或ル一部デ論ゼラレルヤウナ工合ニ、國民的慣習トナリ、國民的勢力トナリシテ行クトハ、私共甚ダ望マシクナイト考ヘテ居リマス

○中委員 總理大臣ニ御同致シマス、只今マデ關係大臣諸公ヨリ色々御答辯ヲ得マシタガ、結局ハ現在ノ急激ニ増加致ス所ノ此人口問題ヲ、何トカ致サナケレバナラヌト云フコトハ、何レモ意見ガ一致ヲ致サレテ居ルノデアリマスガ、其方法ト云フコトニ對シテドウモ名案ガナイ、名案ガナイカラ已ムヲ得ズ、荏苒日ヲ送ツテ居ルヤウニ思フノデアリマス、先刻モ申シマシクヤウニ、移民政策モドウモイケナイ、生産ニ依ツテ此多數ノ人口ヲ消化スルコトモ困難デアル、今ノ程度ノ社會政策ニ依ツテ、之ヲドウスルト云フコトモ、實際徹底シナイ、斯ウナリマス、此人口ノ急激ナ増加ニ對スル最善ノ對策ハナイト云フコトニ相成ルノデアリマス、併ナガラ先刻來色々申述ベマシクヤウニ、今日ノ國家ノ大局カラ見マスナラバ、唯最善ノ案ガナイカラト云ウテ、之ヲ此儘拾遺クコトハ出來ナイト思フノデアリマス、成程只今仰セニナリマシタ

次善ノ策ト云ヘバ、先ヅ只今ノ所デ問題トナルノハ産兒ノ制限デアリマス、産兒ノ制限ト云フコトハ、申スマデモナク是ハ決シテ喜ブベキコトデアリマセヌ、之ニ對シテハ風紀上、衛生上、種々反對ノ理由ハアリマス、又只今内務大臣ノ仰セラレタヤウナコトモアリマスガ、併ナガラ國家ノ大局ノ上カラ考ヘ、全體ノ上カラ考ヘマスナラバ、少々風紀上ノ弊害ガアルトカ衛生上ノ弊害ガアルトカ云フヤウナコトモ、亦願ミズシテヤラナケレバナラヌ場合モアルダラウト思フ、私ハ産兒制限ヲ是非ヤラウト申スノデアリマセヌガ、既ニ何トカ致サナケレバナラヌ時期ニ切迫致シテ居ルト思フノデアリマス故ニ、私ハ場合ニ依レバ或種ノ産兒制限——私ハ專門家デアリマセヌカラ、詳シイコトハ申シマセヌケレドモ、或ハ一家何人以上子供ガアツテ貧困ナ家庭ハ、本人ノ申出ニ依レバ、當然國家ガ認メテ、醫師ノ手ニ依ツテ調節ヲスルトカ、種々是ハ研究ヲ致サンケレバナリマセヌガ、先刻内務大臣ノ仰スセラレルヤウナ、國家ノ將來ニマデ害毒ヲ流ヤウナモノデナク、所謂應急ノ處置トシテ、是等モ私ハ大ニ研究ヲシナケレバナラヌ問題デハナイカト信ジマス、併シ今ソレニ對シテ具體的ナ總理大臣カラ御答辯ヲ得ヨウトハ私ハ思ヒマセヌ、唯今日私ガ總理大臣カラ御答辯ヲ得タイト思ヒマスル點ハ總理大臣ヲ始メトシテ、今日我國ノ情勢カラシテ、此人口問題ノ對策ト云フモノヲ、國家トシテ等閑ニ付スベキモノデナイト云フコトハ、御意見ガ一致シテ居ルヤウデアリマスカラ、私ハ岡田内閣ノ手ニ依ツテ、此人口問題ノ解決ハ如何ニスルコトガ宜イノデアアルカ、如何ナル方法ガ最善デアアルカト云フコトノ研究ニ、即時著手ヲシテ戴キタイト云フコトヲ、先刻來申上ゲマシタ生活苦ニ憐レデ居ル國民ノ爲ニ私共衷心ヨリ總理大臣ニ御願スルノデアリマス、然ラバ其方法如何デアリマスガ、總理大臣ガ御計畫ニナツテ居リマスル國策審議會デアリマス、此國策審議會デ此問題ヲ議スルノガ一番適當デナイカト思ヒマス、幸ニ國策審議會ガ生レマシタラ、即時此問題ヲ議題トシテ、審議會ニ於テ御審議ヲ願ヒタイ、重ネテ申シマスガ、之ヲ此優良イ方法ガナイカラト云ウテ放任シテ置カズ、研究ニ著手ヲシテ戴クト云フコトヲ、私ハ切ニ總理大臣ニ御願ヲスル、恐クハ總理大臣モ之ニ對シテハ御同意下サルト深ク信ジマス、御答辯ヲ願ヒマス

○岡田國務大臣 追テ生レントシマス國策審議會ノ問題トシテハ、今中君ガ御述ニナツタヤウナ意味ノ事モ、審議セラレルトコト、思ヒマス、私ハ政府ガ貿易ノ進展、或ハ市場ノ開發、或ハ資源ノ開發、或ハ産業ノ隆興、サウ云フヤウナ國運ノ進展ニ努力スルノハ、是レ即チ人口問題ヲ解決スルガ爲ニヤツテ居ルノダト思ヒマス、移民モ成程今ヤツテ居リマス、移民ハ既ニ昨年アタリ伯刺西爾へ行キマシタモノ、其他總テテ勘定シテ見マスト、三萬トハ出テ居リマス、甚ダ少イヤウデアリマス、百萬ノ人口増加ニ對シテ是デハ解決ガ付カヌヤウデアリマス、併シ移民ガ外へ行キマシテ働キマスト、自ラ日本ノ物資モ其處ヘ入ツテ行クノデアリマス、隨テ國內ニハ産業モ興リマス、移民モ僅カデアリマスケレドモ、人口問題ニ資スル所ハ相當ニアルト思ヒマス、貿易ノ進展ヲ圖ルノモ市場ノ開發ヲ圖ルノモ、資源ノ開發ヲ圖ルノモ、産業ノ隆興ノ爲ニ力ヲ盡スノモ、是亦皆此人口問題ニ係ツテ居ルト思フ、勿論追テ設ケントシマス國策審議會ニハ、是等ノ問題ハ掛ケテ相當ニ研究シナケレバナラヌト思ヒマス、無論其處デ審議スルコトニナラウト思ヒマス

○中委員 只今ノ總理大臣ノ御答辯デハ、サウ云フ問題ハ國策審議會ガ出來レバ、國策審議會ニ於テ審議スル問題デアルト思フト云フコトデアリマスルカラ、其御答辯ニ満足致シマス、若シ不幸ニシテ、御計畫ニナツテ居リマス國策審議會ガ成立チマセヌヤウナ場合ガ萬一アリマシタナラバ、必シモ國策審議會ニハ限リマセヌ、ドウゾ岡田總理ニ於テ、我國ノ今日ノ人口問題ヲ如何ニスルカト云フ研究ニ、或ハ特別ノ調査委員會デモ宜シウゴザイマスカラ、放任シテ置カズニ御著手ヲ願ヒタイ、是ダケヲ特ニ御願致シマス、モウ一週一ツ總理大臣カラ御答辯ヲ願ヒマス

〔清水委員長代理退席、委員長著席〕

○岡田國務大臣 我國ノ年々増加シマスル人口問題ヲ、政府トシテ研究スルノハ當リ前デアリマス、御申出ノアリマヌヤウニ致サウト思ツテ居リマス

○中委員 總理大臣ノ御答辯ニ満足ヲ致シマシテ、此質問ハ是デ打切りマシテ、次ノ質疑ニ移リマス

次ハ商工大臣ニ中小商工業者ノ融資ノ問題ニ付キマシテ御尋ヲ致シマス、中小商工業者ニ對スル融資ノ問題ハ、政府ニ於カレマシテモ既ニ其必要ヲ認メテ、實行ニ移ツテ居ルノデアリマス、唯遺憾ナガラ其成績ハ全然擧ツテ居リマセヌ、私ハ決シテ現商工大臣ヲ御責メスルノデアリマセヌ、併シ此問題ハ何トカシテ今少シ徹底ヲスルヤウニ是非ヤツテ戴キタイ意味ニ於テ、既往ヲ少シ申上ゲルノデアリマス、此問題ハ今日迄ドウシテ成績ガ擧ラヌノデアアルカト申シマス、一ツハ是ハ實行上誠ニ困難デアアルカラデアリマス、信用薄弱ナ者ニ金ヲ貸スト云フノデアリマスカラ、實行ノ上ニ於テ其處ニ種々ノ困難ガアルノデアリマス、是ガ成績ガ擧ラナイ大キナ理由デアリマスガ、今一ツハ私ヲシテ率直ニ言ハシメルナラバ、歴代ノ商工大臣ガ、**ロニハ救済ノ必要ヲ唱ヘテ居リマスケレドモ、實際熱意ヲ缺イテ居ル、農村救済ノ後ニハ、必ズ中小商工業者ノ救済ガ附物ニナツテ、ドナタモ中小商工業者ヲ附ケテ言ハレマスガ、唯附ケテ居ル程度デアアル、實際ニ於テハ私ハ熱意ガナイト思フ、今日御實行ニナツテ居リマスル所ノ政府ノ貸付方法ヲ見マスルト、ドウモ救済ニ對スル目標ガ私共ガ考ヘルト、ドノ邊ニ在ルノカト云フコトヲ疑フノデアリマス、御承知ノ通り中小商工業者ト申シマスルガ、是ハ頗ル範圍ノ廣イモノデアリマス、一萬圓以下ノ資本ヲ以テヤツテ居ル者モ其範圍ニ含マレテ居ル、二十萬圓、三十萬圓、嘗テ大阪ノ商工會議所アタリノ人ガ御陳情ニナリマシタコトヲ私聞イテ居リマシタガ、大阪アタリデハ百萬圓以下ヲ中小商工業者ト云フノダト云フ意見ガアル、是ハ各自見ル所ニ依ツテ皆違フ、中小商工業者ト云フ一體目標ガ、ドノ範圍ガ中シテモ、假ニ十萬圓トカ、二十萬圓ノ資本ヲ以テ商工業ヲ經營シテ居ル、商賣ヲ經營シテ居ル者ニナリマス、是ハ自力ヲ以テ融通資金ヲ調達スルコトガ出來マス、若シ政府ガ是等ヲ救済セント云フナレバ、銀行ヲ受ケル融通金ノヨリハ、ヨリ以上低利ナ金ヲ貸スコトデナケレバ、意味ヲ爲サヌト思フ、又一萬圓位ノ資本ヲ以テヤツテ居ル商工業者ニ對スル場合ニ於キマシテモ、借リニ行ツテ見ルト、立派ナ證人ヲ出セ、立派ナ擔保ヲ出セ、是デハ又借ル方ガ借リタウテモ借**

レマセヌ、現在政府ノ出シテ居ル資金ハ、預金部カラハ三分五厘デ出テ居リマスケレドモ、實際商工業者ガ借ル時ニハ七分、多クハ八分デアリマス、八分ト云フコトニナリマスレバ、**モウ銀行デ金ノ借レルヤウナ者ハ、面倒臭イ手續ヲシテ政府ノ金ヲ借りル必要ハ少シモナイ、今申ス通り借リタイ者ハ八分デナクテモ宜シイ、場合ニ依ツテハ一割デモ宜シイ、此頃ハ實際ニ二十錢位ノ日歩ヲ使ツテ居ルノガアル、ソシテナ者カラ言ヘバ、日歩三錢位ハ問題デハナイ、ドウシテソシテ高イ利子ノ金ヲ使フテ行ケルカト申シマス、是ハ私ガ申スマデモナク、商工大臣御承知ト思ヒマスケレドモ、主人ガ會計モヤル、外交モヤル、細君モ共ニ手傳ツテヤル、斯ウ云フヤリ方ハ大工業カラ見レバ、生産「コスト」ハ非常ニ安イノデアリマス、ソレデアリマスカラ、一方デ、金利ノ上ニ於テ多額ヲ拂ツテモ稍々追付イテ行ク、所ガ高ク出シテモ、時ニハ金融ノ付カヌ場合ガアリマスノデ、極ク小サイ部分ノ商工業者ニナリマス、**非常ナ資金難ニ苦テ居ル、丁度機械ニ油ガ切レタヤウナモノデ、資金ガ無イ爲ニ運轉ガ止マツテ居ルノガ澤山アルノデアリマス、又三千萬圓ヤ五千萬圓ノ政府ガ資金ヲ出シテ、銀行ヨリ安イ利子ノ金ヲ貸スト云フ意味ノ救済デハ、迎モ追付カヌト思ヒマス、サウスルト結局ハ、中小商工業ノ金融難ヲ救済スルト云フ建前カラ行キマシテモ、先ヅ中小商工業者ニ對スル救済ノ目標ハ、**中小商工業者ノ中ノ長モ下位ニ屬スル小商工業者ノ方面ヲ、先ヅ第一ニ政府ハ救済ノ目標トシテ御進ミニナルノガ當然デナイカト思フ、今ノオヤリ方デハ、信用ノアル大キナ部分ニ屬スル中小商工業者モ、政府ノ低利資金ハ餘リ借リタクナイト云フ結果ニナリ、又借リタイ者ハ借リラレナイ、斯ウ云フ事デ、現在四千萬圓ナリ、四千五百萬圓ノ低利資金ハ出テ居リマスガ、實際ハ目的ハ達シテ居リマセヌ、私ハ實ハ此前ノ中島商工大臣ニ對シテモ、此點ニ對シテ御願ヲシタガ、御答辯ハ頗ル宜カツタノデアリマスガ、**少シモ實行シテ載ケヌ、是ハ方法モ困難デアリマスケレドモ、私ハ熱意ガナイノダラウト思フ、尙政府デモ十分ニ御考慮ハナケレバナラヌ事ハ、一昨年デシタカ、例ノ時局匡救ノ爲メ臨時議會ガ開カレマシタ其前後、農村救済ト、中小商工業者ノ救済ト云フヤウナ事ガ新聞ニ盛ニ書カレタノデ、中小商工業ハ、今度ハ政府ガ相當徹底シタ********

事ヲヤルダラウト思ツテ、首ヲ長クシテ待ツテ居タ、愈々實行スルコトニナツテ、銀行ニ借リニ行ツテ見ルト、迎モムツカシイコトヲ言ウテ、確實ナル保證人ヲ拵ヘテ來イトカ、擔保ヲ作ツテ來イトカ云フ、ソナナムツカシイコトガ出來ルナラ、政府ニ借リナクテモ、銀行カラ借リルト云フ風デ、今テハ中小工業之二期待ヲ有ツテ居ツタモノガ、却テ反感ヲ有ツテ居ル有様デ、斯ウ云フ事ヲ主張ヲ致シテ參リマシタ私共ニ對シテモ、今日テハ中小工業者ハ、彼等ハ出來ナイ事ヲ言フタノデアルト云フヤウナ反感ヲ有ツテ居ルノデアリマス故ニ、是非商工大臣ニ御努力願ツテ、モウ少シ成績ヲ擧ゲテ戴キタイノデアリマス、昨日モドナタカ御話ガアリマシタガ、大銀行主義ヲ執ツテ以來ノ今日ノ地方ニ於キマシテハ、銀行ガ大キクナツテ、百圓二百圓ト云フヤウナ細カイ金ノ取引ハシナイ、爲ニ小商工業者ハ取引銀行スラナイ、ソコデ實際酷イモノニナルト、二十錢位ノ日歩ノ金ヲ借りテ居ル、ソレデアリマスカラ、利息ハ八分デナクテモ、九分デモ宜シウゴザイマスカラ、私ノ商工大臣ニ御願シマスノハ、先ヅ中小商工業中ノ小サイ部分ヲ目標トシテ、千圓以下ノ無擔保貸付ヲスル一ツノ方法ヲ御研究願ツテ、一番貧弱ナモノヲ先ニ救済ヲ願ヒタイ、之ニ對シテ商工大臣ノ御意見ヲ承リタイ

○町田國務大臣 中君ノ中小商工業ノ問題ハ、先年來屢々御熱心ニ御研究ナサツタ事情モ、御意見モ承ツテ居リマス、私商工省ニ參リマシテカラ、相當此方面ハ考ヘテ居リマシテ、先頃本會議デモ大體私ノ考方ヲ申シ、其具體策トシテハ凡ソ五ツニ分レテ居リマス、先日此處デ大藏大臣モ、大銀行ガ少シ働キガ足ラナイト云フ意見ヲ出シテ居ラレルヤウデアリマスガ、私ノ本會議デ申シタ考方ト能ク似テ居リマス、殊ニ率直ニ申スト、中君ガ御承知ノ通り、關西地方ノ普通銀行ハ、東京ヲ中心トシタノヨリハマダ足リマセヌガ、少シ進ンデ居リマス、東京方面ハ、關西方面ヨリモ中小商工業ニ對スル仕事ノ控ヘ目ニナツテ居ルノガ相當多イ、併シ關東關西ヲ通ジテ、普通銀行ノ天職カラ言ツテ、モツト進マナケレバナラヌト固ク信ジマシテ、非公式デアリマスガ、此方面ノ人々トモ話合ツテ居リマス、法制ノ力デ參ルモノデアリマセヌカラ、其方面ノ理解ヲ得ルコトニ努メテ居リマス、同時ニ普通銀行ヲシテ、此方面ニ進出セシムルコトニ付キマシテハ、中小商

工業者、小賣業者ト云フ多數ノ人ノ組織、經營ノ改善ヲ一面ニ作リマシテ、普通銀行ト互ニ相近付カシメルト云フ、兩方カラ進マナケレバナラヌコト、斯様ニ考ヘテ居リマス、ソレニ最モ必要ナノハ、先日來申上ゲテ居リマス工業組合、商業組合ノ内容ヲ改善シタルモノヲ全國ニ作ルコトヲ促進シマシテ、又之ヲ促進スル爲ニハ、先日卑見ヲ申述ベタ此組合ノ中央金庫ヲ作ルコト、恰モ産業組合ニ於ケル中央金庫ノアル如ク、商業者ニ向ツテノ金融機關ノ中心タルベキ中央金庫ヲ作ツテ、之ニ依ツテ參リマス、中君ノ御話ノ五百圓ナリ、三百圓ナリ、百圓ナリ、斯様ナ細カイモノマデ相當ナ金融ノ行ク途ハ中央金庫ヲ作ルノガ一番捷徑デアル、折角此努力ヲシテ、當年ハ間ニ合ハヌガ、私ノ立場ニ於テハ、來年ハ必ズ之ヲ實現スルコトニ決心シテ居リマス、隨分思切ツタ御返事ヲ私ハ申上ゲテ置ク次第デアリマス

○中委員 中小商工業者ノ救済資金ニ付キマシテ、商工大臣ヨリ私ノ申上ゲルコトニ御同意ヲ得マシテ、大變満足ニ思ヒマス、此機會ニ一言私ハ商工大臣ダケデナク、總理大臣、內務大臣、農林大臣——大藏大臣ハオ出デニナリマセヌガ、大藏省ノ政府委員ノ方ニ御聽取ヲ願ヒタイト思フ、只今申上ゲタヤウニ、政府ガ農村ト云ハズ、都市ノ中小商工業者ト云ハズ、有ニル救済ヲ致スノデアリマスガ、此救済致ス資金ハ申ス迄モナク、國民全體ノ負擔デアリマス、其中ニハ全ク無産者ノ膏血ヲ搾ツタ金モ多數ニアルノデアリマス、ソコデ私共考ヘルノニ、國家ノ救済ト云フモノハ、本當ニ捨テ、置ケバ、平タク言ヘバ死ンデシマフ、助カラヌト云フ者ヲ助ケルノデアツテ、是ハドウシテモ、政府ガドシナ犧牲ヲ拂ツテモ助ケナケレバナラヌト思フ、併シ政府ノ常ニ申サレテ居ルヤウニ、自力更生、自力更生ノ出來ル者ニ、國民全體ノ膏血ヲ搾ツタ金ヲ以テ、救済ヲ致スト云フコトハ餘程考フベキモノデアルト思フ、サウスレバ救済事業ハ成ベク目標ヲ嚴選スルコト、所謂本當ニ捨テ、置クコトノ出來ナイ者ハ、政府ノ力ニ依ラナケレバナラヌガ、自力更生ノ出來ル者ニ救済ヲ致スト云フコトハ、大ナル間違デハナイカト思フ、此點ニ付テ今日迄政府ノ爲サレタ救済事業ノ跡ヲ觀マスト、救済事業ニ著手スル時ハ一ツノ標準、或ハ農村デ言フナラ缺食兒童、本當ニ捨テ置クコトノ出來ナイヤウナモノヲ標準トナシ、其事業ガ

計畫サレル、果シテ實行サレル時ニハドウナツテ居ルカト言ヘバ、最初標本ニナツタヤウナ、救ハレナケレバナラヌ人ハ其恩典ニ多ク浴セズシテ、自力更生ノ出來ルヤウナニ多クノ恩典方與ヘラレルト云フヤウナ實例ガアルノデアリマス、其點ハ私ハ總理大臣其他關係大臣諸君ニ——申ス迄モナイコトデアリマスケレドモ、特ニ一層ノ御注意ヲ願ヒタイ、大藏大臣ナドハ恐ラク私ノ此意見ニ御共鳴下サルト思フ、大藏省ノ政府委員カラ私ノ質問ヲ速記録ニ依ツテ大藏大臣ニ十分御話ヲ願ヒタイト思フ、ソレカラモウ一ツ商工大臣ニ御伺致シマス、只今仰セノ中央金庫ト云フコトデアリマスガ、洵ニ結構ナコト、思ヒマス、併シ餘程御努力ヲ願ヒマセヌト、大藏省ト云フ難關ガアリマスルカラ、是非之ヲ突破スルヤウニ、一ツ御努力願フコトヲ特ニ御願致シマス、ソコデ若シ中央金庫ガ出來マセヌ場合、一番手取早イ方法トシテ私ハ常ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、**産業組合中央金庫ノ市街地信用組合ニ屬スル分ダケヲ商工省ノ所管ニ移シテ**、サウシテ之ヲ今商工大臣ノ御考ニナツテ居ルヤウナ機關トスレバ、經費モ掛ラズ、私ハ一番手取早イト思フノデアリマス、是ハ商工大臣バカリデナク、農林大臣ニモサウ云フ風ニ參リマセヌモノデセウカ、御伺ヲシタイト思ヒマス、ソレカラモウ一ツハ商工大臣バ臣ニ伺ヒマス、只今ノ小口貸付デアリマスガ、小口貸付ハ無論危險ガ多ウゴザイマス——危險率ガ多イノデアリマスガ、先刻モ申上ゲマシタヤウニ三分五厘カラ八分、九分ト云ヒマス、大變利鞘ガアル、所ガ今ノ所デハ三分五厘デ興業銀行ニ、一般銀行ニハ四分五厘トナリ、商工業者ニハ七分、八分ト云フコトニナル、預金部カラ出ルモノト、商工業者ノ手ニ使ハレルモノトノ利鞘ハ、大變ナ金高デアルト思フ、此利鞘成ベク經費ノ掛ラナイヤウナ方法デ以テ貸付ケマシテ、之ヲ損失ノ補償ニ充テルト同時ニ、政府ガ現在風水害地ノ罹災民ニヤラレテ居リマスルヤウナ、二割位ノ再保償ガアリマシタラ、私ハ此小口貸付ハ相當ナル方法ガアルグラウト思フノデアリマス、私ノ私案トシテ保證人ヤ其他ニ付テ、案ハ持ツテ居リマスケレドモ、此處デハソコトヲ申シマス、時間ガアリマセヌカラ、分科會デ私ノ意見ヲ申上ゲマシテ御意見ヲ承リマス、兎ニ角中央金庫ヲ御拵ヘニナリマシタシテモ、ドウシテモ一般銀行ガ直接商工業者ニ貸付ケルノハ、是

ハ到底私ハ見込ガナイト思フ、其邊モ一ツ併セテ御考慮ヲ願ヒタイ、只今仰セノ組合デアリマスルガ、今ノ所デハ商業組合トカ、工業組合トカ云フノハ、全國ノ中小工業者ノ上カラ言ヘバ、數ノ上カラ問題ニナリマセヌ、此組合員以外ノ者ニ對シテモ、十分ニ考慮ヲ願ウテ置キマス、其アトノコトハ分科會ニ譲リマス

○町田國務大臣 簡單ニ二ツノ——御問ノ中ノ二ツノ事ダケハ關係アリマスカラ御答致シマス、一ツハ市街地信用組合ヲ商工省ノ監督、指導ノ下ニ置キタイト云フコト、ソレカラ普通銀行ニ對シテ細カイ貸出ヲサセルコトニ付テ、何か一種ノ補償制度ハドウカト云フヤウナ御考——意味ニ承リマシタ、此補償制度ノコトニ付キマシテハ、何等カノ機會ニ一言簡單ニ申上ゲテ置キタイト思ツテ居ツタノデアリマスガ、現ニ今四五千萬圓ノ府縣ガ補償ヲシテ——二割ノ補償ヲシテ貸出ス制度ガアリマス、昨今數年ノ間ニ相當ナ金額ニ達シテ居リマスガ、御承知ノ通り府縣ガ二割ノ損失ヲ補償スルト云フ此制度ガ、普通銀行ニ非常ニ能ク使ハレテ居ルカト申セバ、十分ニ參ツテ居リマセヌ、是ハ何か中君モ此點ニ對シテハ、他ノ御考慮ヲ煩ハシタイト思ヒマスルノハ、普通銀行ガ餘リ面白カラヌ貸出デアルガ、是ダケノモノハ損失ノ場合府縣ガ補償スルカラ、貸出ヲスルト云フ考方ハ、普通銀行ノ考方ノ——普通銀行ノ營業ノ方針ヲ根柢カラ覆ヘス處ガアルトシテ、大キナ銀行ニナレバナル程是ハヤラス、若シ自分ガ貸出ガ出來ルナラバ自分ノ力デヤル、損失ガアツタ時ニハ二割ダケガ、府縣若クハ國家カラ補償シテアルカラト云フ意味デ貸出スト、總テノ貸出ニ向ツテノ行員全體ノ考方ガ、人ノ力ニ依ツテ貸出スト云フ考ニ行クカラ、銀行自體ノ經營ノ精神ニ悖ルカラ、御免蒙リタイト云フ一般銀行ノ考方デアル、ソレハ止ムヲ得ヌコトデアルト私モモサウ思ヒマス、ソレデアリマスカラ、損失補償ニ依ツテ普通銀行ニ或ル部分ヲ取扱ハセテ、其部分ダケハ餘リ健全デナイ、貸出、他ノ貸出ハ健全ナル貸出、斯ウ二ツニ區別シテヤルコトハ、普通銀行トシテ餘程困難デス、是ハ興業銀行ニモ參リマセウ、所謂中央金庫ガ出來ルト協同——相助ケル精神デ行キマスカラ、ドウモ普通銀行ニ此點ハ一寸望マレヌヤウデアリマス、市街地信用組合ヲ商工省ノ方ノ管轄ニ移スト云フコトハ、先刻モ一寸申上ゲタノデ

アリマスガ、矢張其考方ハ若シ工業組合、商業組合ノ中央金庫ガ出来マシテ、市街地信用組合ノ、今アルノハ形ヲ變ヘテ同業組合、工業組合ノ形ニ轉化シテ、中央金庫ノ領分ニ入ツテ参リマセウガ、今ノ市街地信用組合ハ此前モ申シタ通り、大體ニ於テハ産業組合ノ性質ト同時ニ、普通銀行ノ性質ト二ツ入ツテ居ル、大藏省ノ目カラ見マスレバ寧ロ是ハ産業組合ヨリモ考方ハ銀行ノ考方デ出来テ居ルモノト、大藏省ノ方面ハサウ御考ヘ爲サルドラウト思フ、組合員以外ノ一般ノ公衆ノ預金モ取扱フト云フ根柢、ニ改訂ヲ加ヘタ精神カラ言ヘバ、所謂庶民銀行ノ精神ニナツテ、組合ノ組織ト庶民銀行ト二ツ合併シタ意味デ出来テ居リマスカラ、今ノ所デハ農林省ト大藏省ノ共管トデモ申シマスカ——共同ノ監督指導ノ下ニ成立ツテ居リマス、他日各種工業組合、商業組合ノ中央金庫ガ出来タナラバ、市街地信用組合ガ形ヲ變ヘテ工業組合トナリ、商業組合トナリ、新タニ出来マシタル中央金庫ノ領分ニ入ツテ來ル、今直チニ商工省ノ方ニ移スト云フコトハ困難デアルト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○山崎國務大臣 只今商工大臣ノ御答辯ト變ツタ意見ハアリマセヌ

○中委員 後ハ分科ニ移シマシテ、此問題ハ此程度ニ止メマス、次ニ農林大臣ニ御伺致シタイト思ヒマス、ソレハ此議會ニ政府ガ御提出ニナラントシテ居リマスル米穀自治的の管理案、今一ツハ輸出生絲組合統制法、此二ツニ對シテ少シ御伺致シタイノデアリマスガ、固ヨリ是ハマダ御提出ニナツテ居ラヌノデアリマスカラ、此案ニ對シテ直接ノ御質問ハ申上ゲル考ハアリマセヌ、唯御提出以前ニ、農林大臣ノ御考慮ヲ煩シタイト思ヒマスル一點ニ對シテ御尋ヲ致シタイ、此案ガ今期議會ニ提出サレルト云フコトガ一般ニ現レマスルト、御承知ノヤウニ米穀商關係ト致シマシテハ、隨カ一月ノ十七日デアツタト思ヒマスガ、大阪中之島ノ公會堂ニ關係者ガ四千人バカリモ集リマシテ、サウシテ此法案ガ吾々ノ職ヲ奪フモノデアル、惡法デアルト云フノデ、盛ニ反對ノ氣勢ヲ揚ゲテ決議ヲ致シテ、サウシテ大舉シテ上京シテ、農林省ニ陳情致シタコトハ、農林大臣モ既ニ御承知ドラウト思フ、輸出生絲ノ問題ノ方ハ隨カ一月ノ十四日デアツタト思ヒマスガ、神戸横濱

ノ生絲關係者ガ集リマシテ、是亦横濱大會ヲ開イテ、反對ノ決議ヲ致シ、農林省ニ陳情ヲシタノデアリマス、私ハ此二ツノ案ガ農林省トシテハ、農村救済ノ爲ニ最モ適當ナ案ナリトシテ御提出ニナルノデアラウト無論信ジマスガ、併ナガラ之ニ關係ヲ有ツ所ノ商人ガ生活ヲ奪フモノナリトシテ反對ヲ致シテ居ルノヲ、之ヲ押切ツテオヤリニナルト云フコトハ如何ナモノデアラウカ、此一點デアリマス、固ヨリ政府トシテハ最善ノ案ト云フ御考ノ下ニ御提出ニナルコトハ、論ヲ俟タヌコトデアリマスガ、私共農村ノ問題ニ付テノ知識ハ乏シイノデアリマスガ、併シ今日マデ歴代ノ政府ガ米穀對策トカ、生絲對策トカニ對シテ、多大ノ努力ト多大ノ國費ヲ費ヤサレテヤリマシタ其結果ヲ見マスルト、必シモ悉ク成功シテ居ルトハ申セナイノデアリマス、相當失敗ガ多イノデアリマス、手近ナ問題トシマシテハ、詳シイコトハ、私ハ直接ソレニ關係シテ居リマセヌカラ分リマセヌガ、北米柑橘輸出組合ト日柑聯ノ關係ノ問題、是デモ農林省トシテハ、之ヲ區分スルガ宜イト云フ——是ハ現在ノ農林大臣ニ決シテ私ハ不足ヲ申スノデアリマセヌ、將來ノ爲ニ御話ヲスルノデアリマス、是等モ結局ハ一方ノ檢査權ヲ取上ゲテ、サウシテ日柑聯側ノ主張ヲ農林省ガ御容レニナツテ、サウシテヤツタ結果ガドウ云フ成績ニナツテ居ルカト云ヘバ、是ハ御承知ノ通りノコトデアアル、寧ロ日柑聯ノ方モ、是ガ爲ニ相當ノ利益ヲ取ツテ居ツタモノガ損ヲスルト云フヤウナ結果トナツタノデアリマス、私ハ此關係商人ガア、云フ風ニ職ヲ休ンデ、サウシテ費用ヲ使ツテ、農林省迄出テ参ツテ反對ヲ致スト云フコトハ、是ハ決シテ彼等モ無論惡戯ヤ冗談デヤツテ居ル譯デハナイ、全ク自己ノ生活ノ問題トシテヤツテ居ルノデアリマス、此點ハ餘程政府トシテモ御考慮ヲ願ヒマセヌト云フト、農林省ガ最善ノ案ナリトシテ御實行ニナリマシタ曉、其救済スル目的モ達スルコトガ出来ナイ、サウシテソレニ關係スル商人ニハ致命的ノ打撃ヲ與ヘルト云フコトニナリマス、申ス迄モナク今日ノ米穀商デモ、先刻申シタヤウニ矢張同業者ガ多イノデアリマスルカラ、殊ニ長イ間ノ不況續キデ、漸ク現狀ヲ維持スルコトニ苦シミツ、アルノデアリマス、其處ニ持ツテ來テ政府ノヤラレル一ツノ法案ノ爲ニ、又脅威ヲ受ケルコトハ實ニ氣ノ毒ナ話デアリマス、此點ニ對シテ農林大臣ハ如何ニ御

○山崎國務大臣 御答ヲ致シマスルガ、法律案ノコトハ法律案ヲ提出致シマシタ場合ニ能ク御説明モ申上ゲ、御尋モ戴ク、斯ウ云フコトガ宜カラウト思ヒマスガ、併シマア折角ノ御問デアリマスカラ、簡單ニ要點ダケヲ申上ゲテ置キマス、米ノ方ノ問題ニ付テ米穀商ニ色々運動ト云ヒマスカヲ起シテ居ルト云フ現象ハ、是ハ私モ承知致シテ居ルノデアリマス、所ガ此間申上ゲマシタヤウニ、此問題ハドウシテモ此議會ニ解決ヲ致サナケレバナラヌ筋合ニナツテ居ルコトハ、前議會以來ノコトデ中君能ク御承知デアリマス、隨テ政府トシテハ、十分是ハ慎重ナ手續ヲ執リマシテ、衆議院ニ於ケル各政黨ヲ跨イデト申シマスカ、代表ノ意味ニ於テ各政黨カラ委員ヲ願ヒ、貴族院ノ主ナル會派カラモ委員ヲ出シテ貰ヒ、學者、專門家、實業家、殆ド其道ノ權威者ト目スベキ方々ヲ煩ハシマシテ、數箇月ニ亘ツテ慎重ナル審議ヲ重ネテ戴キ、或ハ臺灣ノ關係、朝鮮ノ關係、甚ダ面倒ナ關係デアリマシテ、中君御承知ノ通りデアリマスガ、ソレガ漸ク各方面ノ議ガ纏マリマシテ、サウシテ今回ノ法案トナツテ居ル譯デアリマシテ、而モ此委員會ニ於テモ、若シ今回ノ法案ガ米穀商ニ影響ガアルカナイカト云フ點ハ非常ニ慎重ニ考ヘラレタ問題デアリマス、或ハドウモ取引所ノ方ニ對シテハ、將來今回ノ制度ノ運用ニ依ツテ、或ハ多少ノ影響ガアルカモ知レヌカラ、其點ハ政府デ今後能ク注意ヲセイト云フ、斯ウ云フ附帶決議デアリマスガ、米穀商ノ方ニ付テモ、是モ隨分小委員會ニ於テモ、特別委員會ニ於テモ、慎重ニ考究ヲサレマシタケレドモ、今回ノ案ハ米穀商ニハ何等直接ノ打撃ヲ與ヘルト云フベキ點ハナイト思フ、斯ウ云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、其内容ヲ申上ゲマスレバ中君御諒解ハ付キマセウケレドモ、時間ノ關係上節約致シマスガ、今回ノ米穀統制法ノ關係ノ改正案ト云フモノハ、米穀商ノ一部デ非常ナ聲ヲ聞ク、非常ニ尖銳ナ言葉ヲ使ツテ言ハレテ居ルヤナ事實ハ何等ナイノデアリマス、率直ニ申セバ明ニ根據ノナイモノデアルト思ツテ居ルノデアリマス、併ナガラソレガ一部ノ附和雷同其他デアルト致シマシテモ——附和雷同ト雖モ左様ナコトノ行ハレルノハ、甚ダ遺憾デアリマスカラ、農林省トシテハ全國ニ相當澤山

ノ實ハ印刷物ヲ拵ヘマシテ、全國各地方ニ今回ノ案ハ、決シテ一部デ考ヘラレテ居ルガ如キモノデナイト云フ、斯ウ云フコトノ説明書ハ全國ニ配付致シテ居リマス、併ナガラ此種ノコト、云フモノハ、中君御承知ノ通り中々私デモ分ラヌ(笑聲)分リマシテモ矢張斯ウ一ツノ舟ヲ漕ギ出シテ行クト云フト、急ニハ舟ヲ停メル譯ニハ行カヌト云フヤウナコトモアリマセウ、アリマセウガ、政府トシテハ斯様ナ聲ノ爲ニ、此法案ノ提案ニ付テ願慮スルト云フヤウナ者ハ、是ハ毛頭起シ得ナイノデアリマス、ソレカラ生絲ノ方ニ付テハ、是ハ中君モ或ル程度マデハ御承知デアラウト思ヒマスガ、昨年來農林省ニ於テ特別委員ヲ拵ヘマシテ、サウシテ、之ニモ輸出業者モ入ツテ居ラレ、バ、問屋業者モ入ツテ居ラレル、製絲家モアリ、養蠶家モアル、又其他ノ實業家ニモ入ツテ戴イテ、サウシテ委員會ヲヤツテ居ル譯デアリマシテ、其委員會デ只今漸ク小委員會ノ案ト云フモノガ出來テ居ル程度デアリマス、此問題モ或ハ續イテ特別委員會ナリ、總會ニ諮リマシテ、確定案ニナルコトデアルト期待致シテ居リマスガ、是モ能ク内容ヲ御覽ヲ願ヒマス、此間中橫濱方面ナドデ言ハレテ居リマシタヤウナ點ハ、ソレハ今回ノ小委員會ノ案ノ中ニモ、左様ナ點ハナイノデアリマス、是モ矢張一ツ言出シマス、其聲ガ擴マツテ、急ニハ中々轉回シニクイコトモ無理カラヌコトデアリマスケレドモ、左様ナコトモ冷靜ニ考ヘテ、果シテドレダケノ影響ガアルカソレガ、無用ナ惡影響ヲ及ボスト云フコトデアレバ、是ハ考ヘナケレバナラヌ、唯併ナガラ一ツノ疑懼ノ念ニ囚レテ、誤解或ハ附和雷同ヲ致スト云フヤウナコトガアツテハナラヌ、是ハ矢張國ノ大キナ政策ヲ行ツテ行ク上ニハ、オ五ニ平靜ニ考ヘテ行ク、斯ウ云フ風ニアツテ欲シイト私ハ思フノデアリマス、併ナガラマダ生絲ノ方ハ、農林省トシテノ成案ヲ確定スルマデニハ至ツテ居リマセヌ、其事ダケハ申上ゲテ置キマス

○中委員 大體分リマシタガ、只今御話ノ生絲ノ關係ナドヲ、私承ル所ニ依リマスト云フト、此組合ノ中ニハ製絲業者、問屋、取引所關係、輸出業者、斯ウ云フヤウナモノガ組合員トナルヤウニ承ツテ居リマス、只今ノ所デハ製絲業者以外ノ問屋ニ致シマシテモ、輸出業者ニ致シマシテモ、取引所關係モ、皆反對ヲ致シテ居ル、四ツノモノガ一團トナツテ組合ヲ

組織スル上ニ於テ、ソレガ三ツマデ反對ヲ致スト云フヤウナコトヲ——色々大臣ノ御意見ヲ伺ヒマス御尤ニ聞エマスケレドモ、併シソコマデ、關係業者ノ半バ以上ノモノガ反對スルト云フコトヲ押シテマデ、此案ヲ實行爲サルト云フコトハ、是ハ餘程御提出ニナラス以前ニ於テ、米ニ致シマシテモ、生絲ニ致シマシテモ、出來ルダケ一ツ御努力ヲ願ツテ、或ル程度マデ反對ノ立場ニアル者ニ十分諒解ヲサシテ、サウシテ御提出ノ運ビニナルヤウナコトニナリマスレバ、大變結構チヤナイカ、ト存ジマス米ノ關係者ニ於テモ只今御話シタヤウニ「吾々全國數百萬ノ同業者ト共ニ吾人ヲ餓死線上ニ立タシメントスル米穀自治管理案ニ對シ死ヲ賭シテ絕對反對ス、右決議ス」ト云フヤウナ、斯ウ云フヤウナモノヲ送ツテ來テ居リマス、此間農林省へ多數陳情ニ行ツタ時ニモ、同ジ神戸ノ中井君、濱野君モ、私モ共ニ行ツテ陳情者ノ言フコトヲ聽イテ居ツタガ、陳情者ノ言フコトニモ、相當吾々聽クベキ理由モアルヤウニ思フ、私ハ劈頭ニ申上ゲタ通り、是ガ詳細ナコトニ付テハモウ説明ヲ伺フ意思ハアリマセヌガ、成ベク私ハ御提出ノ以前ニ、斯ウ極端ニ反對スルモノヲ、政府ノ力デ無理ニ押切ツテヤルト云フヤウナコトニ付テハ、考慮ノ餘地ガナイモノカト思フノデアリマスドウカ今一度伺ヒマス

○山崎國務大臣 其點ハ中君御心配デアリマスケレドモ、政府ハ之ニ付テ再考スル考ハ持チマセヌ、左様ナ只今御讀ミニナリマシタヤウナコトハ、餘リニ酷イ、餘リニモ極端デアアル、私ハ此處デ議論ハ致シマセヌ、致シマセヌガ、國家トシテ國家ノ政策ヲ行フ場合ニ、正當ナル理由アツテノ反對デアレバ、是ハ耳ヲ藉シテ、冷靜ニ政府トシテ考ヘテ行カナケレバナラス、昨年ノ通常議會ニ於テ、貴族院モ衆議院モ、大多數ノ御意見デ、米穀統制法ニ付テハ此儘デハイカヌ、臨時議會ヲ召集シテマモヤレ、斯ウ云フ程ニナツテ居ルノデアリマス、又事實考ヘマシテモ、今ノ統制法ト云フモノハ、此狀態ノ儘デ政府ガ何等手ヲ下サヌデ行ケルモノデハナイノデアリマス、サウ云フヤウナ國家ノ大局カラ起ル問題デアリマシテ、是ハ調査會ニ於テモ隨分慎重ニ、米穀商ナドニ大打撃、或ハ非常ナ苦痛ヲ與ヘルヤウナコトガアリハセヌカ、アツテハイケナイト云フヤウナコトデ、各委員ハ隨分親切ニ實ハ研究サレテ居ルノデアリマス、其考方カラ、最初管理案ト云フモノ

、中ニモ、或ハサウ云フ箇條ガアリマス、米穀商ノ誤解ヲ招クヤウナコトガアツテハナラヌト云フ氣持デ、ソレニ相當ノ點モアツタケレドモ、左様ナ點ハ削除シタリシテ、米穀調査會ニ於テハ、隨分是ハ親切ニ考ヘラレテ居ルノデアリマシテ、是デ全國何百萬ノ米穀商ノ生活權ヲドウトカスウトカ云フコトハ、是ハ非常ナ誤解デアアル譯デアリマスカラ、中君ノ方ニ若シ御關係ノ筋ガアリマシタナラバ、ドウカ左様ナ誤解ノ解ケマサウニ、國家ノ爲ニ御盡力ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○中委員 マダ他ニ澤山ノ質問者モアルヤウデアリマスカラ、私ノ質問ハ成ルベク午前中デ打切りタイト思ヒマスガ、モウ十分位ヤツテ宜シウゴザイマス

○砂田委員長 宜シウゴザイマス

○中委員 ソレヂヤモウ一ツ農林大臣ト商工大臣ニ伺ヒマス、一體農林省ト商工省ト兩方ニ關係ヲ持ツヤウナ、例ヘバ只今ノ輸出生絲ノ問題ナドニ致シマシテモ、貿易商モ關係シテ居リ、取引所關係ノモノモアリ、問屋モ製絲家モアルト云フヤウナ場合ニハ、斯ウ云フモノガ決定サレルマデニハ、大體農林、商工兩大臣ト云フモノハ、兩方デ十分御諒解ノ上デオ遣リニナル事ト考ヘルノデアリマスガ、其點ヲ御伺致シマス

○山崎國務大臣 其點ハ御心配御無用ニ願ヒマス、例ヘバ單ニ農林省内ニアル委員會ニ致シマシテモ、或ハ又米ノ調査會ノ如キモ、是モ矢張商工省ノ商務局長、政務次官、事務次官ナド、皆御關係ヲ願ツテ居ルノデアリマス、殊ニ米ノ方ニ付キマシテハ、恐ラク商工大臣ニモ御關係ヲ願フコトニナラウト思ヒマスガ、ソコハモウ十分連絡ヲ取ツテ居ル次第デアリマス

○中委員 只今仰セニナリマシタ貿易業者、取引所關係ト云フヤウナモノハ、大體商工大臣ノ保護ヲ受ケテ居ルト云フコトデアルガ、ア、云フ風ニ、先刻農林大臣ノ仰セニナリマシタヤウニ、反對運動モ少シ誇大ニヤツテ居ルカモ知レマセヌ

ガ、併シ吾々ノ見ル所ニ依リマスルト、輸出業者ハ反對スベク反對シテ居ルト云フヤウナニハ見エヌノデアリマス、無論政府ノ考方ト、輸出業者トシテノ立場ノ考方ト考方ガ違フ結果デアラウト思ヒマスガ、ソレナラバ一ツ其誤解ヲ解イテヤルトカ何トカスルコトガ望マシイコト、思ヒマスガ、商工大臣ハ商工省關係ノ是等ノ商人ノ反對ニ對シテハ、矢張農林大臣ト同ジ考デ、商人ノ反對ヲ致スノガ全ク誤解ニ基クノデハナイカト云フコトニ御考ニナツテ居ルノデアリマスガ、コンナコトヲ御伺スルノハ甚ダ御迷惑カモ知レマセヌガ……

○町田國務大臣 大體私モ農林大臣ト同ジ考ヲ有ツテ居リマス、唯御承知デアレバ宜シウゴザイマスガ、商工業ノコトハ大體商工省ガ主トナリマシテ、農林省ト協議スベキモノハ協議スルト云フ形ニナツテ居リマス、先刻御話ノ生絲問題ニ對シテハ、長イ間從來カラ歷代ノ内閣ノ一貫シタル方針ハ、蠶絲業ニ對シテハ、全部農林省ノ大體仕事トナツテ居ルノデアリマス、デアアルカラ輸出業者ト云フヤウナ意味カラ、商人トシテハ商工省ノ保護監督ノ下ニアルベキガ普通デアリマス、他ノ仕事ハ横ニ分タレテアリマスガ、蠶絲業ニ關シテハ縦ニナツテ居リマスノデ、主トシテ生絲ノ販賣等ノ問題ニ對シテモ直接商工省ハ關係セズ、唯生絲ノ取引所ノ關係ガ商工省ニアル、斯ウ云フコトニナツテ居リマスガ、其點ハドウゾ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○中委員 政府ノ内部關係ノコトヲ私モ一寸承ツタノデアリマスガ、ヤハリ貿易商其他ノ者ノ立場カラ申シマス、商工省ガモウ少シ斯ウ云フ問題ニ對シテハ、平タク言ヒマスレバ心配シテ呉レテモ宜イト云フヤウナ不平ノ聲サヘ聞キマスルノデ、内部關係ヲ知ツテ居ル者デアレバ、サウ云フコトニ誤解ハアリマセヌケレドモ、一般ノ者カラ云フト、サウ云フコトニ考ヘマセヌ、尙一言申シタイコトハ、農林商工ニ對シテ常ニ其感ヲ深クスルコトガ多イノデアリマスガ、何ダカ極端ニ言フト、其所管事務ニ熱心ノ餘リ、國務大臣トシテノ立場ヲ御忘レニナツテ居ルノデヤナイカト云フコトガ、反産運動其他ニ對シテ、常ニ農林省ニ對シテサウ云フコトヲ言フ人多イノデアリマス、此點ハ兩大臣ニ於カレマシテ將來十分ニ

一ツ御盡力ヲ願ツテ、出來ルダケノ連絡ヲ取ツテオヤリニナルコトヲ切望シテ置キマス——委員長私ノ質問ハ是デ打切りマス

○砂田委員長 休憩ヲ致シマシテ十午後一時四十分カラ始メマス
(午後零時十四分休憩)

會 議

昭和十年二月六日(水曜日)午前十一時二十分開議

○河野委員

(前略)

更ニ御尋致シタイノハ、農業關係團體ニ對スル農林當局ノ認識ヲ一ツ新ニシテ載キタイト云フ問題

ニ付テ御尋シタイ、現在農業關係ノ團體ガ、恐ラク其數ハ五十六アルダラウト思フ、是ハ中央團體、是ガ餘リニ無統制デハナイカ、例ヘバ先程申上ゲマシヤウニ、馬ニ關スル團體デモ、帝國馬匹協會アリ、競馬協會アリ、其他ニ同ジヤウナモノデ中央畜産會アリ、山林デモ帝國山林會アリ、大日本山林會アリ、水産ニシマシテモ同様デアアル、又蠶絲ノ團體ニ致シマシテモ、是亦三ツモ四ツモアルト云フヤウナコトデ、此民間ノ農業關係團體ニ關スル一年ノ經費ト云フモノハ、相當莫大ニ上ツテ居リマス、是ハ現在ノ農村ハ、果シテ斯ノ如クノ團體ヲ作ツテ、指導スルコトガ適切ナリヤ、乃至ハ一ツノモノニ纏メテ、茲ニ農業會議所ヲ作ルトカ、農業ノ綜合的指導團體ヲ作ルトカ云フ適切有能ナル團體ヲ作ツテ——決シテ一ツトハ申シマセヌガ、モウ少シ統制シテ、ソレニ對スル農林省ノ完全ナル指導精神ヲ與ヘテヤルト云フ必要ガアルト云フコトニ對スル、農林大臣ノ根本ノ意見ヲ承リタイ

○山崎國務大臣

御尤ナ御意見デアリマス、御承知ノヤウニ是ハ關係ガ非常ニ多岐ニ五ツテ居ル關係カラ、只今御述ベニ

ナリマシヤウナ中央團體ノ數モ從ツテ殖エルト云フコトカラ、現狀ニ至ツテ居ルコト、思ヒマスガ、民間團體ノコトデアリマスカラ、政府ノ方デ之ヲ作り替ヘルトカ云フコトモ、簡單ニ行カナイコトモ、河野君ノ御承知ノ通りデアリマス、大體ノ考方ト致シマシテハ、アナタ方ノ御考ニナツテ居ルヤウナ方向ニ進ムコトハ結構ナコト、思ヒマス

○河野委員

只今ノ御答辯デアリマスガ、民間デヤツテ居ル團體ト言ヒマスケレドモ、大體ハ政府ノ補助金ヲ中心ニシテ

ヤツテ居ル團體ガ多イ、乃至ハ政府カラ與ヘラレタ所ノ特別ノ地位ヲ有ツテ立ツテ居ル團體ガ多イノデアリマスカラ、政府ノ考一ツデ以テ、大體民間ガ之ニ追隨シテ行クノガ、民間中央團體ノ傾向デアリマスカラ、モウ少シ積極的ニ、時局ニ相應シイ農業關係ノ團體ヲ統制サレルト云フコトヲ以テ、御進ミ願ヒタイト云フコトヲ、希望トシテ申上ゲテ置キマス

更ニ此機會ニ此問題ニ關聯シテ御尋致シタイノハ、是等ノ團體ノ首腦部ガ、甚ダ私ハ其人ヲ得テ居ラヌト思フ、ドノ團體ヲ見マシテモ——必シモ私ハ華族サンデアルトカ、特權階級ニ屬スル人ヲ非難攻撃スル譯デアリマセムガ、農村ノ實情ニ全ク、縁故モナケレバ、關係ノナイ人ヲ持シテ來テ、團體ノ何カ觀兵式デモスルヤウニ、格式ノ整ツタ人ヲ上ニ乗セナケレバ、恰好ガ取レヌト云フヤウナコトヲ考ヘルコトハ甚ダ遺憾ト思フ、本當ニ農村ニ正シイ認識ヲ有チ、農村ニ對シテ正シイ理解ヲ持ツタ人ヲ是等ノ團體ノ首腦者ニ當テナケレバナラヌト考ヘル、所ガ農林省ガ特ニ認可ヲ與ヘナケレバナラヌ問題ノ場合ニモ、從來農林省ガ認可セラレル場合ニハ、主トシテ貴族院議員デアルトカ、或ハ華族サンデアルトカ云フモノヲ狙ツテオヤリニナツテ居ル傾向ガアル、斯ウ云フコトハ十分現在ノ農村ノ思想ニ鑑ミ、御注意ヲ願ヒタイ、實例ヲ擧ゲマスレバ、昨年改選ニナリマシタ帝國農會ノ酒井氏ノ如キモ、甚ダ私ハ其當ヲ得ヌト思フ、決シテ人身攻撃ヲヤル譯デハナイガ、世間ハ斯ウ云フコトヲ言ツテ居ル、酒井忠正氏ハ是ハ國維會ノ中心人物デ、岡田内閣ヲ造ル時ノ陰謀ニ關係シタ男デアアル、ソレテ文部大臣ニナル約束ニナツテ居ツタ男デアアル、所ガ民政黨トノ關係デ、文部大臣ヲ松田サンニ取ラレテ行ク所ガナクナツタ、ソコデ何トカ後始末ヲシナケレバナラヌト云フコトデ、彼方此方搜シタ結果、帝國農會ニ押付ケタ、是ハ後藤内務大臣ガ主トシテサウ云フコトヲ策動シテヤツタト云フヤウナ非難サヘ一部ニアル、其爲農村デハ甚ダ苦々シク考ヘテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ風ナ問題モ要スルニ餘程慎重ニ御ヤリニナラヌト、今日ノ如ク農村デ各種ノ問題ニ付テ非常ニ激化シタ思想ヲ有ツテ、當局ニ要求サレ、陳情スルト云フヤウナ場合ニハ、是等ノ關係團體ガ中間ニアツ

テ、公正適切ナ意見ヲ以テ、當局トノ間ニ意見ヲ纏メテ、故ニ日本ノ農業指導精神ト云フモノヲ作ラナケレバナラヌノデアリマスカラ、サウ云フ場合ニ慎重ナ人選ヲ致シマセヌト、折角ノ關係團體ガ何モナラヌト云フ結果ニナルト云フコトヲ、甚ダ恐レマスルカラ、農林大臣ニ於カレマシテモ、特ニ是等ノ人選ニハ將來御注意ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、是ハ選舉デ以テ仕方ガナイコトモアリマスガ、一部ニハサウデナイノモアル、從來往々ニシテ農林當局カラ、サウ云フ風ナコトヲ發動セラレタコトモアル、中ニハ農林省デ罷メサセラレタ人ヲ、農業關係團體ヘ入レ込ム場合モアル、サウ云フヤウナ場合ニハ特ニ御注意願ハヌト、或ル人ノ如キハ、農林省デ既ニモウ三年モ五年モ前ニ罷メテ貰ヒタカツカ所ガ、何トシテモ辭表ヲ出サヌカラ、仕方ガナイカラ、オ前ハ何處ノ長ニシテヤルカラ辭表ヲ出セト云フノデ、ソレデ辭表ヲ取ツテ、サウシテ關係團體ノ長ニシテヤツタト云フヤウナコトヲ聞イテ居ル、サウ云フコトデハ役所ノ方デハ都合ガ好イカモ知レマセヌガ、据エラレタ關係團體ハ甚ダ迷惑ヲスル、是等ノ點ハ十分農林大臣ハ御調査ニナリマシテ、今迄ヤツテ居ツタコトデ惡イ點ハドシト直シテ載キタイ、一々實例ヲ舉ゲロト言ヘバ舉ゲルニ躊躇致シマセヌン、今舉ゲルコトハ却テドウカト思ヒマスノデ、遠慮致シマスガ、十分農林大臣ニサウ云フ點ニ付テ御注意ヲ願ヒマシテ、次ノ質問ニ移リタイト思ヒマスガ、若シ御意見ガアツタラ承リタイト思ヒマス

○山崎國務大臣 御意見ハ能ク承ツテ置キマス

○河野委員 (前略) 政府ガ今回議會ニ提案セラレヤウト致シテ居リマス米ノ自治的管理案デアリマスガ、乃至ハ産藪處理法案デアリマスガ、斯ウ云フ風ナ問題ニ對シテ民間ノ商ノ仲買人、米ノ仲買人、米屋サンナドガ非常ナ大衆運動ヲヤツテ居ルヤウデアリマス、之ニ付テハ農林當局トシテハ十分御考ニナラナケレバナラヌヂヤナイカ、併ナガラ十分御考ニナツテ載キタイト私ガ申シマスノハ、是等ノ兩案ハ何レモ農民大衆ニ依ツテ非常ニ裨益スル所ガ多ク、之ニ依ツテ將來農家經濟上非常ニ便益スル所ガ多イ問題デアツテ、是非共此兩法案ノ實現ニ吾々ハ努力セナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデア

リマス、併シサレバト申シマシテ、現在反對運動ヲヤツテ居リマス側ノ人達ノ心情ニ付テモ亦同時ニ考慮セナケレバナラヌ、此點ハ大衆ノ農家ヲ活カスカ、一部ノ取引中間業者ヲ活カスカト云フ問題ニナルノデアリマスガ、大衆ヲ活カセバ一部ノ中間業者ハ殺シテモ宜イト云フ議論ハ出テ來ヌト思フ、是等ニ付テモ適當ナ救濟方法ヲ立テ、同時ニ御考慮ニナラナケレバナラヌト思フ、殊ニ米穀問題ニ對スル反對ノ情勢ヲ見マシテモ、一部ニハ豫テ農林大臣御主張ニナルヤウニ多分ノ誤解ノアルノハ私モ同感デアリマス、併ナガラ何ト申シマシテモ小サナ農村都市ニ於キマスル所ノ町端レノ田舎デハ、ボテト申シマスガ、小サナ手車ヲ挽イテ百姓家ニ米ヲ買出シニ歩イテ居ル人間デアリマス、斯ウ云フヤウナ米屋サンハ何ト言ツテモ此案ニ依ツテ壓迫ヲ受ケルコトハ事實デアリマス、是ハ農林大臣モ全ク同感デアラウト思ヒマス、町ノ中ニ在ル白米商デアルトカ云フモノハ大シク影響ハナイ、併シ農村ノ中ニ在ツテ買出シニ歩イテ居ル者ハ、ドウシテモ自治的の管理ニ依ツテ壓迫ヲ受ケル、デアリマスカラ、是等ニ對シテ何等カノ特別ナ施設ヲ御考慮フト同時ニ、是等反對運動ヲシテ居ル人達ニ對シテ諒解ヲ求メルコトヲ私ハ切ニ希望致シマス、又乾藪處理ノ問題ニ付キマシテモ同様ニ是等ノ仲買人ニ對シテモ何等カ適切公正ナル方法ニ依ツテ具體的ニ申シマサナレバ、今度ノ案ニ依ツテ出來マス所ノ蠶業組合デアルトカ、乾藪組合デアルトカ云フ組合ノ中ノ幹部ニ是等ノ人ヲ使フトカ、乃至ハ其從業員ニ使フトカ云フヤウナ方法デ、適當ニ緩和スル所ノ方法ガアリマセウカラ、唯法律ヲ作ツテ、法律デ抑ヘテシマウト云フコトデハナク、何等カ適當ナ方法ヲ御講ジニナツテ無事圓滿ニ是等ノ兩法案ガ兩院ヲ通過シテ、農村救濟ノ爲ニ一日モ速ニ實行ニナルヤウニ、其障礙ヲ除クベク最大ノ御努力ヲ農林大臣ニ御願シタイノデアリマス、此點ニ對シテ若シ御意見ガアレバ承ツテ見タイト思ヒマス

○山崎國務大臣 好イ機會デアリマスカラ、簡單ニ私ノ考ヲ申上ゲョウト思ヒマス、河野君御心配ノ點ハ私モ十分考慮致シテ居ル者デアリマス、第一ノ米ノ今回ノ法案ニ對シマシテ、米穀商ノ間ニ疑懼ノ念ヲ抱イテ居ラレル方ガアルコトハ御話ノ通りデアリマス、先日總會ニ於テ中君ノ御質問デアリマシタカニ御答申上ゲマシタヤウニ、此法案ハ私ノ見ル所ヲ以

テシマスレバ、當初世間ニ現ハレマシタ調査會ノ或ル草案ノ中ニ、一二米穀商ニ多少影響ガアリハシナイカト思フ簡條ガ實ハアツタノデアリマス、ソレガ最初米穀商ガ少シ刺戟ヲ受ケタ導因デアルト思フノデアリマス、現ニアノ當時、私共九州ノ關係モアリマスガ、九州アタリノ米穀商ノ代表者ガ私ノ所ニ見エマシタ際ニモ、丁度私ガ今申上ゲマシタ其一點ヲ非常ニ心配ヲシテ、反對ノ意見ヲ述ベテ居ツタノデアリマス、所ガ左様ナ點ハ調査會ニ於テモ各委員ガ随分慎重ニ實ハ其點ハ考ヘラレタノデアリマス、今回ノ案ノ眼目トスル所ハ、要スルニ多年ノ懸案トナツテ居ル内地、外地ノ米ノ統制ト云フ、此難問題ヲ一ツ片ヲ付ケヤウト云フ所ガ先ヅ大眼目トナツテ居ル所デアリマシテ、内地ニ於テ米穀商ノ働ク範圍ヲ幾ラカデモ侵スト云フヤウナ必要モ今日無イト思ヒマス、無用ナ刺戟ヲ與ヘルコトハモウ極力避クベキモノデアリマスカラ、ソコデ各委員モ其點ヲ慎重ニ考ヘラレマシテ、米穀商ニ多少懸念ヲ與ヘハシナイカト思フヤウナ簡條ハ、實ハスツカリ削除シタ譯デアリマス、隨テ今回調査會ノ成案トナツテ居リマスル案ハ、今日米穀商ノ一部デ言ハレテ居ルヤウナ、無論アノ人々モ知ラナイデ言ツテ居ラレルトモ私ハ考ヘマセヌガ、今言ハレルヤウナ心配ノアル問題デハ絕對ニナイト私ハ確信ヲ致シテ居ルノデアリマス、併ナガラ世間ノ大勢ノ中ニハ、或ハ誤傳謬解其他ノコトニ依ツテ誤ラレルト云フコトガ、是ハマア大衆相手ノコトニハ避ケ難イコトデアリマシテ、甚ダ遺憾ヲ感ジテ居ル譯デアリマス、併ナガラ此誤解ヲ解クト云フコトニ付テハ、農林省トシテハ出來ルダケノ手段ヲ實ハ執ツテ居リマス、併ナガラ自ら知ツテ、而シテ知ラザル眞似ヲシテヤラレルコトハ、是ハ何トモ農林省ノカトシテハ致方ガナイコトデアリマシテ、私共トシテモ誤解ヲ十分解イテ行ク、斯ウ云フコトニハ最善ノ努力ヲ拂ツテ居ル譯デアリマス、今回ノ米ニ關スル法案其モノガ、是ガ米穀商ニ大キナ打撃デアルトカ云フコトハ、全ク大ナル誤解デアルノデアリマス、河野君ハ或ハ田舎ノ手車デ買集メテ歩ク商人等ト云フヤウナ御話モアリマシダガ、結局ハアノ統制米ト云フモノモ、永久ニ賣止ヲスルト云フ意味デナシニ、大體ニ出廻期ニ賣止ヲヤツテ置イテサウシテ、端境時期ニナレバ恐ラクハ解除スルト云フコトニナルト思ヒマス、貯藏米ノ解除ヲシマスカラ、結局

年間ヲ通ズレバ米穀商ノ取扱フ米ノ數量ニハ大シタ——大シタ所デハナイ殆ド關係ハナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、況ンヤ都會ノ小賣商トカ何トカ云フヤウナ者、サウ云フ所ニハ毛頭利害ノ關係ガアルトハ考ヘテ居ラヌノデアリマス、出來得ル限り誤解ヲ解クト云フコトニハ努力ヲ致シマス、ソレト又商工省ノ方デモ色々案ヲ考ヘテ居ラレルヤウデアリマスガ、今少シク配給機關、商業者ノ團體ニ對シテ國ガ世話ヲスルト云フ必要モ私ハアラウト思ヒマス、是迄ガ足リナカツタト云フ風ニハ申シマセヌケレドモ、免毛角モ此商業機關ニ對シテ國ガ今少シクカヲ致ス、斯ウ云フヤリナ施設ヲ一面ニ於テハ講ジテ行クト云フコトハ是ハ必要デアルト考ヘテ居リマス、ソレカラ商ノ方ノ問題モ河野君能ク御承知ノコトデアリマスカラ、詳シイコトヲ申上ゲル必要ハアリマセヌガ、此方ニ付テモ繭絲業者ノ間ニ一時非常ナ不安ノ念ガアツタコトモ御察シノ通りデアリマス、是モヤハリ今回ノ案ノ内容ガ、未ダ正式ニ法文的ニ決定致シマセヌ爲ニ、非常ナ誤解ノ傳ハツタ點モアルノデアリマスシ、又多少ノ影響ガ或ハナイトモ云ヘナイ點モアリマスカレドモ、政府ト致シマシテハ、河野君ノ仰セノ通り出來得ル限り其邊ノ關係ヲ旨ク調節シ、緩和スル、斯ウ云フ意味合ヲ以テ案ヲ議シツ、アル譯デアリマス、何レ成案ヲ提出致シマシタ上デ、十分ニ御審議ヲ願ヒタイト思ヒマス、御趣意ハ深ク諒ト致シマス

○河野委員 次ニ産業組合ニ付テ御尋シテ見タイト思フノデアリマス、今日農村經濟確立ノ上ニ、産業組合ガ其中心機關トナリマシテ重大ナ役目ヲ勤メルト同時ニ、之ニ對シテ非常ニ裨益ヲシテ居ルコトノ多イコトハ、今更申上ゲル迄モナイノデアリマス、所ガ最近此産業組合ノ活動ガ旺盛ニナリマスニ付テ、ソレト反比例力正比例力分リマセヌガ、免二角盛ニナレバナル程、逆ニ反對運動ガ強クナツテ來ルノデアリマス、ト申シマスノハ農林大臣御承知ノ通り反産運動デアリマス、此反産運動ノ解決ハ、ドウシテモ將來我國國民經濟ノ上ニ之ヲ解決シナケレバナラヌ重大ナ問題デアリマス、唯此問題ヲ從來動モスレバ政府當局ハ之ヲ民間ノ争ヒノ如クニシテ、産業組合ト反産運動トノ争ヒニ、手ヲ觸レナイ方ガ宜シイ、觸ハラヌ神ニ崇ナシト云フヤウナ風ニ之ヲ放任モラレテ居ル嫌ガアルヤウニ私ハ考ヘルコトヲ甚ダ遺憾トスルノデアリマ

ス、即ち産業組合ハ農家經濟更生ノ上ニ於テ是非共是レハ必須ノ運動デアリマス、之ニ對シテ多少ナリトモ之ヲ抑壓シ乃至ハ之ニ向ツテ其發展ヲ阻止スルガ如キ行動ノアルコトハ、斷ジテ吾々農民ノ側カラハ許サレナイノデアリマス、一部是等ノ誤解ニ基キマシテ、時ニハ全聯聯ガ仕事ヲ仕過ギルトカ、全販聯ガモノヲヤリ過ギルト云フヤウナ、恰モ封建的ナ思想ヲ以テ、一部ノ從來ノ餘リニ經濟思想ノ無カツタ階級ガ、經濟的ニ目醒メテ來タコトヲ抑壓スルガ如キ態度ヲ取り、言動ヲ取ルト云フコトハ、斷ジテ吾々ハ排撃シナケレバナラヌノデアリマス、農林大臣ハ此點ニ對シテ先ヅ第一ニ私ト全ク同一ノ意見ヲ有ツテ居ラレルカドウカヲ尋シテ見タイノデアリマス

○山崎國務大臣 其點ハ此間總會ノ際ニ河野君ニモ申上ゲテ置イタノデアリマスガ、産業組合ハ申ス迄モナク農村經濟ノ活動ノ中樞機關デアアル譯デアリマシテ、是ガ堅實ナル發達ヲ圖ルト云フコトハ、國家トシテモ當然爲スベキコトデアルト私ハ考ヘテ居ル譯デアリマス、之ニ對シ河野君御心配ノヤウナ、一部ニ所謂反産トモ云ヒマスカ、産業組合ノ爲ニ打撃ヲ受ケルト云フヤウナ心配ヲ有ツテ居ラレル業體ノアルコトモ事實デアリマス、其間ノ融和ト言ヒマスカ、疏通ト申シマスカ、サウ云フ點ニ付テモ是ハ私ハ國ノ大キナ問題トシテ、實ハ頭ニハ心配ヲ有ツテ居ル所デアリマシテ、之ヲ唯民間ノ相互ノ争ヒト云フヤウナ風ニシテ、政府ガ放任シテ置クベキモノデナイ、矢張相當其處ヲ調節シ、疏通ヲ圖ルト云フ途ハ、出來ル限リ講ジテ行ク方宜シイ、産業組合ハ飽迄農村經濟ノ活動ノ中樞機關トシテ、其堅實ナル發達ニ政府ハ飽迄モ努力シテ行ク、ソレト先刻申上ゲタヤウニ商業機關ニ付テモ是モ矢張政府トシテ世話ノ出來ル部分ハ相當ノ世話ヲシテ行クト云フコトモ必要デアラウ、斯ウ私ハ考ヘテ居リマス

○河野委員 農林大臣ノ御意見ハ大變結構ダト思ヒマス、我國産業組合運動ノ爲ニ非常ニ喜ブベキ言明ダト私ハ思フノデアリマスガ、此機會ニ更ニ御導致シテ置キタイノハサレバト申シマシテ、一方ニ於キマシテ中小商業者ガ此産業組合運動ノ爲ニ常非ナ打撃ヲ受ケマシテ、是等ノ將來ニ付テ如何様ニ之ヲ指導シテ參ルカト云フコトハ、商工行政ノ上ニ於テ重大

ナル殘サレタ問題トシテ吾々ハ考ヘナケレバナラヌノデアリマス、是ハ何レ商工大臣御見エニナリマシタ際ニ、私ハ商工大臣ニ親シク御尋シテ見タイト思フノデアリマノガ、茲ニ一ツノ問題ハ農林大臣御承知ノ如ク、我國ニハ鐵道省ノ消費組合デアルトカ、逓信省ノ消費組合デアルトカ、農林省其他各官省ノ消費組合ヲ初メト致シマシテ、主ナルモノヲ讀上ゲマシテモ、安田財閥ヲ背景ニシマシタ購買會、三井物産購買會、川崎第百銀行購買會、新潟鐵工所購買會、鐘淵紡績購買會、東京モスリン購買會、日清紡績購買會、東電共濟會、東洋モスリン購買會、富士紡績購買會、三菱鑛山購買會、阪神電氣共濟會購買會、郵船社員組合購買會、王子製紙會社消費組合ト云フヤウナモノ、其他陸海軍關係ノモノヲ申シマス、借行社購買會、水交社購買部ト云フヤウナ、是等ノ大資本、大權力、大勢力ヲ背景ニ致シマシタ産業組合法ニ據ラザル消費組合、購買組合ガアルノデアリマス、本當ニ今日ノ中小商業者ノ領域ヲ一番侵スモノハ「デパート」ト是等ノ存在デアツテ、先ヅ反産運動ハ其目標トシテハ、是等ノ非合法的ナ——少シ言葉ハ惡イカモ知レマセヌガ、法律、法規ニ據ラザル所ノ是等ノ組合ヲ如何ニシテ政府ガ今後統制シテ行クカ、如何ニシテ是等ノモノニ對シテ解決ヲシテ行クカト云フコトノ解決案ヲ講スルニアラスンバ、中小商業者ノ將來ト云フモノハ非常ニ憂慮スベキ立場ニ置カレルノチヤナイカト思フ、同時ニ私ガ今茲ニ農林大臣ニ御尋スルノハ是等ノ問題ト云フモノハ寧ろ農村ノ産業組合、全聯聯アタリノ系統ニ屬シマスル産業組合、購買組合ト云フヤウナモノヨリモ、是等ノ存在ガ中小商業者ヲ壓迫スルノデアツテ、反産運動ノ目標ハ是等ニ向ケテコソ然ルベキモノヲ、ソレヲ産業組合ニ反産運動ノ目標ヲ向ケテ居ラレルコトガ、先ヅ私ハ第一ニ現在ノ狀態ニ於テハ間違テハナイカト思フ、是等ノ今私ガ讀上ゲマシタヤウナ斯ウ云フモノヲ適當ニ御解決ニナリマスト、商業者ノヤツテ居リマスル所ノ反産運動モ多分ニ解決セラレルノチヤナイカト思フ、之ニ對スル農林大臣ノ御意見ハドウデアリマスカ

○山崎國務大臣 ムツカシイ問題デアルコトハ河野君御承知ノ通りデアリマス、私共モ其問題ニ付テハ今ノ職務ニ就キマス前カラ、隨分心配致シタ場合モ實ハアツタノデアリマス、デアリマスガ此問題ハ洵ニ困難ナ問題デアルノデアリマシ

テ、之ヲ下ウスル、斯ウスルト云フヤウナコトヲ農林大臣タル私ガ申上ゲルト云フコトハ、適當デナイカト思フノデアリマス、是ハ寧ロ主管省ノ大臣ニ御願願ツク方ガ宜イカト思ヒマス

三二

○河野委員 何レ商工大臣御見エノ際ニ兩大臣御列席ノ上デ御尋スルコニ致シマシテ、此問題ハ保留致シマス（下略）

○河野委員（前略） 大分長クナリマシタカラ、最後ニ一言ダケ御尋致シマシテ、私ハ質問ヲ止メルコトニ致シマス、是ハ多少事務的ニ五ルコトデアリマスガ、一昨日ノ新聞デアリマシタカラ見マスルト、過般ノ災害地ニ肥料ヲ配給致シマスニ付テ、鐵道省ガ運賃ノ五割減ヲヤルコトニナツタ、其五割減ノ運賃ニ對スル肥料ノ配給ニ當ツテ、農林省ト商工省トノ兩省ノ間ニイザコザガ起ツタ、所ガ其イザコザハ農林省ノ産業組合ニ肥料課ニ於テ配給スベク豫想シテ、鐵道省ニ交渉シタ肥料ノ數量ガ甚ダ不當、不必要ナル數量ヲ要求シテアツタ爲ニ、商工省ガ肥料商ノ民間側ノ意見ヲ容レテ、逆ニネチ込ンデ來タ、ソコデ兩方ガ折衝シテ半分々々ニナツタト云フ記事ガ新聞ニ出テ居ルノデアリマス、此記事ヲ拜見致シマシテ、私ハ甚ダ遺憾ニ考ヘタ、斯ウ云フ記事ノ出ルコトハ、新聞ノ記事デアリマスルカラ、私モ新聞ノコトニ付テハ十分理解ガアルノデアリマスガ、全然語ラナイコトハ出ナイ、誰カガサウ云フコトヲ言フカ、何者カマサウ云フコトヲ宣傳スルカ何者カマサウ云フコトヲ漏ラスカシナイナラバ出ナイモノデアリマス、勝手ニ惡意ニ斯ウ云フ新聞ノ記事ト云フモノハ出ナイノデアリマス、所ガ斯ウ云フ記事ガ新聞ニ出マスルト、非常ニ産業組合ハインチキナコトヲヤルモノダ、産業組合ハ無茶ナコトヲスルモノダト云フヤウナ考ヲ民間ニ起サセテ、産業組合ニ對シテ、非常ニ反感ヲ深メル事ガアルノデアリマス、私ハ此内容ニ付テハ多少ノ諒解ヲ致シテ居リマスガ、其實際ハ其新聞ノ記事トハ全く違フ管デアリマス、寧ロ農林當局ガ弱腰デアツテ、商工省ニ讓歩シテ、サウ云フコトニナツタノデアアル、實際ハ産業組合ハ其數量ハソレダケ必要デアツタノダ、必要デアツタガ、商工省ガ肥料商ノ切ナル要求ヲ容レテ一步二歩ヲ退イテ、ソレダケヲ受ケテヤツタノガ眞相デアアル、ト云フヤウニ私ハ諒解ヲシテ居ルノデアリマス、今後モ斯ウ云フ問題ガ起リマシタ際ニハ、其眞相ヲ天下ニ傳ハ

リマスヤウニ十分御注意ヲ願ヒマセスト、ソレニヨツテ、得テシテ此頃ハ農村問題ノ波ニ乗ツテ、農村關係ノ問題デ積車ヲ押ス嫌ガアルト云フ非難サヘ起ラントシテ居ルノハ、甚ダ吾々ノ遺憾トシテ居ル所デアリマスカラ、十分當局ノ御注意ヲ御願致シマシテ、私ノ農林省ニ對スル質問ヲ打切りマス

○山崎國務大臣 只今ノ問題ハ私モ或程度マデハ事情ヲ承知シテ居リマスカラ、河野君御承知デアルカモ知レマセヌガ、世間ニサウ云フ誤解ガ傳ツタトスレバ、甚ダ遺憾デアリマスカラ、是ハ一言シテ置キマス、實ハ此問題ハ鐵道大臣カラ私ニ東北地方ノ肥料ノ運賃ヲドウシタモノダラウカト云フ話ガアリマシタノデ、ソレハ非常ニ結構ナコトデアアルカラ、是非災害地トシテ運賃ノ低減ヲヤツテ貰ヒタイ、斯ウ云フ話ヲ致シテ、ソコデ其數量ナドハドウ云フモノデアラウカト云フコトニナツテ、私ト鐵道大臣ト、實ハ個人的ノ話デアツタガ、此問題ハ農林省デ扱フトカ、鐵道省デ決メルト云フ譯ニハイカヌカラ、寧ロ地方廳ニ委セタラドウカト云フコトヲ、其席デ話シタコトガアリマス、ソレデ鐵道省ニ於テモ今申上ゲタ趣意カラ地方廳ニ一任シタ譯デアリマス、ソコデ地方廳デハドウ扱ツタカト云フト、矢張前年度ノ取扱方ニ依ツテ産業組合ニ對スル割當ヲシタ、所ガ一方殘リノ數量肥料商ニ對スル割當ガ非常ニ少ナカツタ、何故サウナルカトイフト、平年度デアレバ船積デ行クノガ、汽車貨半減ノ爲メ汽車便デ行ク數量ガ非常ニ殖エテ來マシタカラ、去年ノ總數量デ割當テタ爲ニ、實際ノ數量ヨリモ見積ツタ數量ノ方ガ幾ラカ少ナカツタ、ソコデ産業組合ノ方ハ從來ノ取扱高デ配當ヲ決メタケレドモ、肥料商ノ方カラ色々不平ガ起ツタ、ソコデ鐵道省デモ、商工省デモ、農林省デモ非常ニ心配ヲシテ、各地方々々デ旨ク協定ガ付イテ御話ノヤウニナツタノデアリマス、是ハ何モ産業組合側ノ横車ト云フヤウナコトデハ決シテアリマセヌ

○野中委員 農相ハ少シ認識ガ不足デハナイカト思ヒマス、實ハ此鐵道運賃問題ニ付テハ、商工省農林省ノ間ニ協定ガ出來テ、サウシテ鐵道運賃ニ對スル數量問題ハ十二月四日ニ商務局長ト農務局長ノ名ニ於テ各府縣ニ通知ヲシヨウデハナイカト云フ協議ガ出來テ居ツタ、所ガドウ云フモノカ十二月一日ノ土曜日ニ産業組合ノ關係デ、急ニ各府縣廳ニ通牒ヲ發

三三

シテ、産業組合ノ俄カナ活動トナツテ、其結果從來産業組合ガ扱ツタ以上ニ、假想的ニ——肥料問題ハ三月ノ末カラ始マ
ルノデアリマスガ、其三月ノ末ニ是レ位取扱フデアラウト豫定シテ、地方長官ノ認可ヲ得テ、ソレガ産業組合ノ取扱數量
ニナツタト云フ話ヲ聞イテ居リマス、即チ商工省ト農林省トノ間ニ折衝シテ三日以前——農林省トハ申シマセヌ、誰カ
分ラスケレドモ産業組合ノ中央會ニ報告シテ、其報告ガ東北六縣ノ産業組合ニ傳達サレテ、其結果サウ云フ數量ガ現ハレ
タ、ソレガ先月ノ二十頃兩省ノ間ニ協定ガ出來テ、半々ニナツタト云フ話ヲ聞イテ居リマスガ、果シテサウ云フコトガア
リマスカドウカ伺ヒマス

○山崎國務大臣 私ガ關係シタ範圍ハ先刻申上ゲタ通りデアリマス、サウ云フコトカラ實ハ起ツタコトデアリマシテ、ソ
レカラアア云フ風ニ肥料商ノ方カラ陳情ガアツタリ、彼此レ致シマシテ、農林省ノ事務當局モ隨分心配シテヤツテ居リマ
ス、鐵道省ニモ行キ、商工省トモ相談ヲシ、サウシテア、云フヤウナ仲裁デモアリマスマイガ、先ヅ圓滿ニ解決ガ著イテ
居ル譯デスカラ、其程度デ御満足ヲ願ヒタイ

○野中委員 農林大臣ハ御存ジナイノガ當リ前デアルシ、又御存ジガアツテハナラナイト思ヒマス、併シサウ云フ風ニ事
務官ノ打合ガ圓滑ニ行カナイト云フコトハ國務ノ問題トシテ洵ニ面白カラヌコトデアルト思フ、隨テ若シソレガアツタナ
ラバ、是カラ先ハ無イヤウニシテ貰フシ、アツタトシテモ、ソレハ過去ノ問題デアリマスルカラ、ソレニ對シテハ深ク追
窮ハ止メマスケレドモ、將來ニ於テハ打合ノアツタ場合ニハ、兩方トモ約束ヲ完全ニ履行シテ、違反ノ事柄ガナイヤウニ
ヤツテ戴キタイ、是ダケヲ農林大臣ニ御注意申上ゲマシテ、關聯シタ質問ハ打切りマス (下略)

○由谷委員 (前略) 私ハ豫算總會デ質問ノ機會ヲ得マセシタカラ、少シク時間ヲ要スルカモ知レマセヌガ、農業對
策ノ根本義ニ關シマシテ農林大臣ノ忌憚ナキ御意見ヲ聽キタイト云フノガ質問ノ要點デアリマス、極メテ卑近ナ現實問題
ヲ取扱ツテ、サウシテ農村根本對策ノ核心ヲ突クト云フ風ナ行キ方デ質問ヲ進メテ見ヨウト思ヒマス、唯觀念的ナル、所

謂理論闘争ト云フ風ナコトハ非常ニ宜シクナイト思ヒマスカラ、其趣意ニ對シテハ一應御承知ヲ願ツテ置キマス

先ヅ承リタイノデスガ、米ノ改正案、蠶絲ノ新シイ法律並ニ肥料對策トシテノ新立法ガ、此議會ニ提案サル、ヤウニ噂
サレテ居リマスガ、是等ノ三ツノ問題ニ對シテ私共出ルト確心シテ居ツテ宜イノデアリマスルカ、一應御聽シテ置キマス

○山崎國務大臣 米穀統制法ノ改正ヲ中心ト致シマシタ米穀對策ノ立法ハ、無論提案致ス考デアリマス、産銷處理ニ關ス
ル法律モ提案致ス考デアリマス、生絲ノ輸出販賣ニ關スル件ハ、只今委員會ニ於テ審議中デアリマスノデ、マダ省議ヲ決
定スル順序ニハ至ツテ居リマセヌガ、成ルベク取急ギタイ考ヲ有ツテ居リマス、肥料ニ關スル問題ハ、商工省ト農林省ノ
謂ハ、共管事項ニ相成ツテ居リマシテ、兩省ノ協議ハ相當ノ程度ニ今日デモ進ンデ居リマス、多分提案ガ出來ルデアラウ
ト期待ヲ致シテ居リマス

○由谷委員 ソコデ私ノ質問ハ今農林大臣ノ御述ベニナリマシタ三ツノ重要ナ題目ノ一々ニ付キマシテ、一カラ十迄御尋
スルコトハ、是ハ次ノ機會ニ讓ル方ガ宜イト思ヒマス、隨テ其總テニ向ツテハ申シマセヌ、例ヘバ此度ノ議會ノ豫算總會
ノ席ニ於キマシテ、私ノ同志カラ政府ニ向ツテ資料ノ請求ヲ可ナリ多數要求シテ置イタノデアリマス、此間中カラ政府ノ
御提出ニナリマシタ資料ヲ拜見シマスト、遺憾ナコトニハ、私共ノ要求シタモノ、大切ナモノガ漏レテ居リマス、是ハ故
意ニ御漏ラシニナツタノカ、或ハ役所ノ都合上、御出シニナラヌノカ知リマセヌガ、其一ツハ硫酸肥料ノ各社ノ生産費ノ
調査デアリマス、之ニ對シマシテ、是ト併行シテ、硫酸共同販賣組合ノ建値ノ、數年間ノ分ト、同時ニ硫酸工業會社ノ各
社ノ生産費ノ發表トノ二ツヲ要求シタノデアリマス、所ガ硫酸共同組合ノ建値ノ方ノ發表ハアリマシタガ、各社ノ生産費
ノ發表ガナイ、是ハ故意ニ御出シニナラヌノデアリマスカ、或ハ近クニデモ御出シニナル趣旨ノモノデアリマスカ、一應
ソレカラ伺ツテ置キタイノデアリマス

○山崎國務大臣 今ノ參考書ノコトハ甚ダ迂濶デアリマシタガ、事務當局ニ委シテアル譯デアリマシテ、出來ルモノハ無

論差上ゲル筈デアリマス、只今聞イテ見マシタガ、肥料ノ生産費ノ方ハ、商工省ノ方デナイト材料ガ無イサウデアリマス、多分商工省ノ方カラ御出シニナルコトニナツテ居ルト存ジマス、アナタノ御希望ハ之ヲ商工省ニ傳ヘテ置クコトニ致シマス

○由谷委員 實ハ硫安肥料ノ生産費ノ問題ハ、農林大臣ニ或ハ記憶ガナイカモ知レマセヌガ、私ハ今日迄出ナイコトニ付テ相當ナ疑ヲ有ツノデアリマス、丁度昨年ノ通常議會ノ終リデアリマスカ、所謂農村ノ爲ニ追加豫算ガ出マシタ、アレハ荒木陸軍大臣ノ殘シマシタ内政議會ノ結果ノヤウニ、世間デハ言ツテ居ル追加豫算デ、確カ二千圓ベカリノ追加豫算デアリマシタガ、アノ追加豫算ノ委員會ノ時ニ、政友會ノ河野一郎君カラ、相當熱心ニ硫安生産費ノ發表ヲ追ツタノデアリマス、所ガ當時ノ農林大臣モハツキリシタ答辯ヲセズ、當時ノ商工大臣モ何ダカ責任ヲ逃ゲルヤウナ態度デアアルシ、結局問題ガ解決セズニ居ルノデアリマス、私ハ只今ノ山崎農林大臣ノ御答辯ノ態度ニ十分信頼ヲ置キマシテ、商工省方面カラ出ルコトヲ期待シマス、同時ニ是ハ先刻ノ御話ノヤウニ農林省、商工省ノ連帶ノ仕事ナンデアリマスカラ、農林大臣ニシテモ、十分ニ其邊ノ重要性ヲ御考ニナツテ、速ニ——速ニト云フノハ此豫算分科會ノ濟ム迄ニ發表アルヤウニ、特ニ御留意ヲ御願シテ置キマス

私ハ農林大臣ニ改メテ伺フノデアリマス、實ハ政府カラ發表スル硫安工業會社ノ生産費ヲ一々聞カナクテモ、世間ノ經濟ニ關スル雜誌ヤ、新聞ニハ屢々發表ガアルノデアリマス、勿論ハ一圓カ二圓ノ差ハアルカ知レマセヌガ、大綱ハ間違ツテ居ラヌト思ヒマス、硫安共同販賣組合ノ建値ト、其内容ヲ作ツテ居ル各硫安製造工業會社ノ生産シタ値トハ非常ナ開キガアル、一番古臭イ會社、資本モ固定シ、機械モ舊式デ能率モ卑ラナイ、一番「コスト」ノ高イ會社デモ、其建値ノ三分ノ二デ出來上ツテ居ル、最新ノ硫安會社デハ三分ノ一デ生産サレテ居ル、斯ウ云フ數字ヲ屢々見ルノデアリマス、ソコデ私ハ農林大臣ニ聞キタイノデスガ、過般ノ豫算總會ノ劈頭ニ於テ、丁度今此處ニ居ラレマシタ大口君ガ色々質問致

シマシタ時ニ、農林大臣ハ、斯ウ云フコトヲ御答ニナツタノヲ記憶スルノデアリマス、詰リ日本ノ政治ハ明治以來都市中心ノ政治デアツタ、逆ニ言ヘバ農村ガ日本ノ政治カラ除外サレテ居ツタ、或ハ冷遇サレテ居ツタ、斯ウ云フコトガ間違ナシカ、自分トシテハ大ニ是正シタイ、私ハ斯ウ云フ農林大臣ノ御答辯ニ對シマシテハ衷心カラ感謝スル、大ニ之ヲ歡迎シマスガ、而モ今言フ通りニ硫安肥料ノ生産費ト、販賣建値トノ間ニ非常ニ大キナ開キノアルコト、言換ヘレバ政府ノ産業ニ對スル方針ト、農村ニ對スル方針トガ、此一ツノ硫安其物カラ見テモ、非常ニ重大ナ影響ヲ與ヘルト云フ點ニ對シテ、山崎農林大臣ノ御奮勵ヲ御願シタイ、是ハアナタノ所管トハ違フデセウ、重要産業統制法第十三條ヲ直チニ適用シテ、硫安工業會社ヲ全面的ニ壓迫シロト云フコトハ或ハ農林大臣ノ埒外カ知レマセヌケレドモ、事苟モ農村問題ヲ所管爲サレテ居ル以上ハ、一ツ積極的ニ商工省ニ向ツテ主張モ致シ、且ツ働キ掛ケテ貰ヒタイ、之ニ對スル農林大臣ノ決心ノ程度ヲ先ヅ知リタイノデアリマス

○山崎國務大臣 御尤デアリマス、勿論農林省ハ肥料ノ點ニ付テハ事務當局ヲ初メ、非常ニ熱心ニ心配ヲシテ居ル譯デアリマス、今回ノ只今進行中ノ法案ガ、幸ニ成立ヲ見ルコトニナリマスレバ、只今由谷君ノ御心配ニナリマスヤウナ問題ニ付テモ、或程度ノ効果ハ收メ得ラレルモノト私ハ考ヘテ居ル譯デアリマシテ、成ルベク農村ニ供給スル肥料ノ價格ヲ安價ナランコトヲ希フコトニ於テハ、由谷君ト大體同ジ考ヲ有ツテ居ル譯デアリマス、幸ヒ今回ノ法律デモ出來ルコトニナリマスレバ、此點ニ付テ商工省、農林省圓滿ニ協議ヲ致シマシテ、農林省モ是迄ヨリモ更ニ一層意見ヲ實現スル方ニハ便宜ガアラウカト實ハ考ヘテ居ル譯デアリマス

○由谷委員 硫安ノ問題ハ私ハ先刻ノ農林大臣ノ御答辯ノ態度ヲ尊敬シテ、商工省カラ硫安工業會社ノ生産費ノ發表ノアルコトヲ前提トシテ、以上ノ希望ヲ申上ゲタニ止ルノデアリマス、若シ商工省アタリデ、昨年ノ豫算總會ニ見タヤウナ空氣ヲ、其儘延長シテ參リマシテ、ドウシテモ發表セヌト云フコトニナリマス、大キナ政治問題ガ起ルコトヲ、豫メ御了

承テ願ツテ置キマス、實ハ私共農村ノ立場カラ考ヘマスト、農民ニ對シテハ總テ生産費暴露ノ政策ヲ執ツテ居ルノデアリマス、其目的ガ何デアラウトモ、遣リ方ハ、例ヘバ米ノ生産費ニシロ、藪ノ生産費ニシロ、政府ガ莫大ナ金ヲ使ツテ、市町村ニ相當ノ負擔ヲ掛ケテ、サウシテ是レノダ、然ルニ一産業ニ向ツテハ生産費ヲ發表シナイ、斯ウ云ウコトニナリマス、容易ナラス我國政治ノ間違ヲ暴露スルモノデスカラ、此機會ニ十分御注意アランコトヲ要求シテ置キマス

ソコデ硫安問題カラ次ノ問題ニ移ツテ參リマスガ、私此際米ノ問題ヲ中心トシテ、其基礎觀念ニ付テ一番大切ナ點ヲ農林大臣ニ質シテ置キタイノデアリマス、或ハ外地米トノ關係、或ハ最高最低米價ヲドウスルガ宜イカ、其幅如何ト云フヤウナ問題ハ幾ラモアリマスガ、實ハ米穀統制法ガ農民ニ與ヘル所ノ恩惠或ハ目的、言フマデモナク昨年ノヤウナ凶作ナラバ抛ツテ置イテモ相當ナ相場ハ致シマス、隨テ凶作ノ場合ニハ米穀統制法ノ恩惠ハ餘リ考ヘラレナイ、言ヒ換レバ、米穀統制法ノ農氣ニ對スル恩惠ハ、即チ農作ノ場合、丁度一昨年ノヤウナ農作ノ場合、此場合ニ農村ヲヨリ以上ノ没落カラ救フ爲ニハ、所謂最低米價ガ作ラレテ居ル、然ルニ最低米價ハ何ゾヤ、其計算ノ基準ハ言フマデモナク生産費主義デアリマス、隨テ農民ノ立場カラ申シマス、生産費デ最低米價ガ作ラレテ、ソレデ保障サレテモ米作農民ノ利益ハ一文モモナイ、斯ウ云フ筋合ニナルノデアリマス、是ハ私ガ今日初メテ言フノデハナクテ、實ハ一昨年後藤君ガ米穀統制法ヲ御出シニナツタ時カラ、私共熱心ニ主張シテ居ルノデアリマス、即チ政府ガ莫大ノ金ヲ使ヒ、立派ノ法律ヲ作ツテ、サウシテ米價ノ公定ヲスルト云フ以上ハ、其最低米價ニ於テ相當ナ農業利潤ヲ承認シロ、之ヲ加算シタルモノヲ以テ最低米價ヲラシムベシ、此主張デアリマス、此主張ハ御承知ノヤウニ帝國農會、或ハ全國町村長會、即チ農業ノ實業團體ノ中心機構ニ於テモ今日承認シテ居リマス、ソコデ私米穀統制法ノ改正案ナリ、或ハ世間ニ謂フ自治的統制案、是等ノモノガ出マス時ニ、最低米價ヲ決メル場合ノ新シイ方法トシテ、農業利潤ヲ認メル意思アリヤ否ヤ、之ニ對スル農林大臣ノ所見ヲ伺ツテ置キマス

○山崎國務大臣 米穀統制法ニ於ケル最低價格ノ決定ノ基準ハ、御承知ノヤウニ現在ハ生産費ヲ中心ト致シマシテ、物價其他ノ經濟事情ヲ參酌スル、斯ウ云フ立前ニ相成ツテ居ルノデアリマス、是ハ申スマデモナク僅ニ一昨年成立シタ法律デアリマシテ、其根本原則ヲ只今直チニ變ヘルト云フ考ヲ有ツテ居ルカト云フ仰セデアレバ、只今ハ其考ヲ有ツテ居リマセヌ、サウ言フヨリ外ハアリマセヌ、成程理論ト致シマシテハ御無理トハ考ヘマセヌガ、併ナガラ又一方ニハ米ノ消費者ノ關係ト云フモノモ考慮ニ入レテ參ラナケレバナリマセヌ、要スルニ現在ノ統制法ハ生産者ノ非常ナル損害ト申シマスカ、非常ナ不利益ヲ保護スルト同時ニ、又一面ニハ消費者ノ立場ト云フモノモ考慮ニ入レテ、サウシテ從來ハ生産費ヲ考ヘテナカツタモノヲ、生産費ト云フモノヲ基準ノ中心ニ置ク、斯ウ云フ程度マデ行ツテ居ル譯デアリマスカラ、今日ノ所先ツ此程度ヲ以テ進ム方ガ適當デハナイカ、斯ウ考ヘテ居リマス

○由谷委員 農林大臣ノ御答辯ハ如何ニモ、何ト言ツテ宜イデスカ、私極メテ不満足デアリマス、不満足ノ意味デ批評ヲ致シテハ濟マヌノデアリマスガ、實ハ一昨年拵ヘタバカリデアルカラ、サウ俄ニ變ヘラレナイ、サウ云フ事ガ世間ニ所謂官僚的思想チヤナイカト思フノデアリマス、幾ラ今年決メテモ間違ツテ居ツタラ直チニ變ヘル、ドウゾ非常時日本ノ政局ヲ擔當シテ居ル立場ヲハツキリ認識シテ、勇敢ニ御進ミアランコトヲ私ハ希望シテ置キマス、所デ米ノ問題ニ付テハ何レ次ノ機會ニ申上ゲマスカラ申上ゲマセヌガ、農林大臣ガ言ウタカラ私モ勢ヒソレニ觸レテ行ツテ、多少私ノ意見ヲ言ツテ置カナケレバナラヌコトニナルノデアリマス、今ノアナタノ説明ハ後藤君ノ説明ノ通りデアリマス、詰リ消費者ニモ或ル程度ノ保護ガ必要デアアル、生産者ニモ或ル程度ノ保護ハ必要デアアル、私ハ米穀統制法ガ生産者ト消費者、即チ利害ノ全然對立シタモノヲ一本デ治メヨウトシタカラ、即チ兩建ノ主義ヲ取ツタ所カラ今日ノヤウナ矛盾ヲ生ズルモノデアルト信ジテ居リマス、議論ハ次ノ機會ニ致シマスガ、唯此處デ考ヘテ戴カナケレバナラヌ點ハ、農業利潤ト云フ點ニ於テ、其内ニ出ルデアリマセウガ、肥料案ハ、商工省トドウ云フ御折衝ニナルカ知レマセヌガ、少クモ商工大臣デナクテモ、山崎農林

大臣モ肥料會社ニ向ツテ生産主義ヲ行ケトハ言ハヌダラウト思ヒマス、相當ノ利潤ハ御認メニナルダラウト思ヒマス、サウナルト目ノ前ノ現實ノ問題トシテ、産業資本家ノ蒙ル利益ト、農業ガ利益ヲ蒙ラザル拔ヒ方トハ、非常ナ「ギヤツプ」ヲ生ジテ來ル、是ガ詰リ何時マデモ問題ノ片ヲ付ケナイ、今頃色々ナ學者ヤ、或ハ其道ノ専門家ガ産業革新ダトカ、何トカカントカヤカマシイ言葉ヲ使ヒマスガ、サウ云フ説明ヲ聞カナクテモ、斯ウ云フ一ツノ問題ヲ引合ニシテモ、明カナ事實ニナルノデアリマスカラシテ、此點ニ對シマシテモ私ハ山崎サンノ頭腦ト同時ニ、山崎サンノ自信ニ非常ナ尊敬ヲ有ツテ居マスカラ、此機會ニ十分御注意アラントヲ要求シテ置キマス、宜イ加減ノコトヲ仰シヤツテモ、近イ内ニ肥料案ガ出レバ果シテ斯ウ云フコトガ正シカツタカ、或ハ正シクナカツタカト云フコトガ分ルノデアリマスカラ、此機會ニ於テ十分御注意アラントヲ要求シテ置キマス

ソコデ肥料問題ヲ言ヒマシタカラ關聯シテ次ノ問題ニ移リマスガ、肥料ト云フト、吾々ノ頭ニハ直グ全購聯ノ仕事ガ殆ド反射的ニ映ツテ來ルノデアリマス、全購聯ト云フト、産業組合ト云フ問題ガ直チニ頭ノ上ニ浮ンデ參リマスガ、實ハ資料ノ請求ノ中ニモ、此産業組合ノ中央機關、即チ産業組合中央會、或ハ中央金庫、或ハ全購聯、全販聯斯ウツタ中央機關ノ役員、即チ組合長或ハ理事、監事、此諸君ノ報酬、賞與ヲ發表スルヤウニ御頼ミシタノデアリマス、是亦發表ニナツテ居リマセヌガ、是モ手落デアリマスカ故意デアリマスカ、一應御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○山崎國務大臣 此ノ間モ申上ゲマシタヤウニ、是モ亦官僚的ト御叱リヲ受ケルカモ知レマセヌガ、ドウモサウ云フヤウナモノハ大藏省關係モ、何處モ發表シテ居ラヌサウデアリマスガ、尤モ發表シナクテモ野中君ノ方デハ御持チニナツテ居ルト云フコトデアリマスカラ、其方デ一ツ御利用願ツタラドウデセウ

○由谷委員 農林大臣ハ冗談半分ノヤウナ御答辯デアリマスガ、是ハ容易ナラヌコトデス、實ハ私ハ相當ノ力備才幹ノアル人ガ、相當ノ機關ニ携ツテ何百萬、何千萬ノ報酬ヲ取ラウトモ、私等ノ知ツタコトヂヤナイ、御自由デアルト思ヒマス

ケレドモ、事苟モ産業組合ニ關スルト、サウ簡單ニ片ハ付カナイノデアリマス 先達モ私アツチコツチノ地方ヲ歩イテ見マス、近來産業組合ニ對シテ色々ナ問題ガ起キテ居リマス、是ハ商賣人ノ諸君ガ所謂反産運動ヲ起スト云フヤウナ對立關係ノモノカラ起キテ來ルバカリヂヤナイ、實ハ産業組合ノ中ニ居ル人達ガ産業組合ニ對シテ色々ナ疑問、或ハ色々ナ反感、或ハ色々ナ非難ヲ有ツテ居ルノデアリマス、農林大臣ニ産業組合ノ建前ヲ講釋スルヤウナコトハ勿論失禮千萬ナコトデスカラ申上ゲマセヌガ、兎モ角ニモ産業組合ハ營利觀念ヲ排撃スルノダ、共存共榮テ行クノダ、町村ノ諸君ハ町村單位ノ組合ニ向ツテハドウゾ献身的ニヤツテ實ヒタイ、一切ノ報酬觀念ヲ超越シテ身ヲ以テ當ツテ實ヒタイ、是ガ農林省ノ經濟更生部ノ指導精神デアリマセウシ、又同時ニ産業組合自體ノ本當ノ精神デアルト私ハ信ジテ居リマス、然ルニ中央機關ノ諸君ガ普通ノ營利會社ノ重役ノヤウナ報酬賞與ヲ取ツテ居ツテ、ソレデ全國ニ本當ノ産業組合ヲ普及サセヨウト致シマシテモ、大キナ矛盾デ起キテ來ル、中央機關ノ報酬賞與ノ如キハ相當政府カラノ補助モアルデセウガ、大部分ハ今ニモ氣息奄々トシテ、死ニサウナ地方ノ産業組合カラ取上ゲタ上納金ナンデアリマス、ソレヲ一人デニ萬圓ダ、三萬圓ダ、五萬圓ダト様々ニ取ツテ居ル、是ハ産業組合ノ中央機關ノ中ニ居ル人ノ爲ニモ、私ハ農林省ガ勇敢ニ之ヲ發表サレルノガ宜ト思フ、發表サレナイカラ、五萬圓モ十萬圓モ取ルト云フヤウナ色々ナ想像マデサレテ居ルノデアル、實ハ山崎君ハ初メテマアリマスガ、昨年ノ通常議會ノ豫算總會ニモ、私ハ之ヲ請求シタノデアリマス、併シ當時ノ後藤君ハ出サナカツタ、私ノ氣持カラ云フト、去年請求シテモ出シテ呉レナイ、今年要求シテモ亦出シテ呉レナイトスルト、ドンナカラ繰ガアルカ、疑ガ深クナツテ來ル、斯ウナルノデアリマス、繰返シテ申シマスガ、是ハ個々ノ何某君トカ、何某伯爵ノ個人收入ノ金ノコトヲ言ツテ居ルノデハナイ、全國ノ地方ノ農民ガ自分達ニ向ツテ、生意氣ナ態度ヲ以テ色々ナ指導ヲシテ來ルガ、其幹部ガ大會社ノ重役ト同ジヤウナ大キナ報酬賞與ヲ取ツテ、何ノ産業組合ソヤ、何ノ共存共榮ソヤト非常ナ疑ガアルノミナラス、其疑ガ段々深クナツテ、産業組合運動自體ニ對シテ色々ナ惡イ影響ヲ與ヘルコトヲ私ハ痛感スルノデアリマ

ス、ソコデ此機會ニハツキリ伺ツテ置キマス、明日ニデモ御發表サレタラドウカ、農林省ハ監督官廳デアリマスカラ、農林省ハ法律ノ命令ニ依ツテ、中央會、其他ノ中央機關ノ決算報告ガ來テ居ルデ管アリマスノデ、之ヲ山崎農林大臣ハ勇敢ニ御發表下サルカドウカ、一ツ御伺ヲシテ置キマス

○山崎國務大臣 是マデノ慣例ハ今申上ゲタ通りデアリマスガ、能ク私取調ベテ考ヘテ見マセウ

○由谷委員 此問題ハ只今ノ農林大臣ノ御答辯ニ滿腹ノ信賴ヲ置イテ爾後ニ徵スルコトニ致シマス

ソコデ産業組合運動ヲモウ一ツ別ノ方面カラ見タイノデアリマスガ、是ハ先刻質問致シマシタ硫酸肥料ト結付ケテ見ルト、非常ニ面白イ現象ガ起キテ來ルノデアリマス、所謂全購聯、全國購買組合聯合會ノ仕事ハ、肥料ニ向ツテ勢力的ニ成績ヲ擧ゲツ、アリマス、如何ニモ結構デアリマス、然ラバ其肥料ハドウ云フ風ニ全購聯ノ手ニ入ルカト申シマス、詳シクハ知リマセヌガ、先ヅ大部分ノ肥料ハ昭和肥料會社ノ製品ノヤウニ見テ居リマス、間違ツテ居タラ御訂正下サイ、間違ハヌダラウト想像シマス、所ガ昭和肥料會社ハドウカト云フト、一割モ配當ヲシテ居ル、高率配當デアリマス、其他ニ無論社内留保モ相當アル、今數字ハ忘レマシタガ、是ハ所謂硫酸會社ノ中デハ最モ重要ナル會社デアリマス、全購聯ガ自分ノ扱フ所ノ大部分ノ肥料ヲ昭和肥料ト契約シテ一手ニ——一手ニデハナイデセウガ、大部分扱シテ居ル、其爲ニ地方ノ肥料商ハ茲數年來悲鳴ヲ揚ゲテ、所謂生存權ノ擁護ヲ叫ビツ、アル、併シ農民カラ言ヘバ肥料商カラ買フヨリモ、全購聯ノ手ヲ經テ買ツタ方ガ安イモノデスカラ、農民ハソレデ喜ンデ居リマス、唯問題ノ中心ハ結局今ノヤウナヤリ方ナラバ中途半端デ不徹底デアル、全購聯ガ肥料商人ヨリモ安ク買ルト云フ程度ハ、サウ見エタ數字デハナイ、思切ツテ安クハナイ、何トナレバ其仕入先タル所ノ昭和肥料會社ハ相當ナ利益ヲ盛ツタモノヲ以テ、全購聯ニ賣ツテ居ルノデアリマスカラ、隨テ農民ノ受ケル利益モ唯中間商人ノ利益ダケガナクナツタ程度ニシカ過ぎナイ、吾々ノ希望カラ言フナラバ、全購聯ハ昭和肥料會社ノ配當ヲ八分ニモサセ、七分ニモサセテ、其鞘ダケ肥料代ヲ安クシテ貰フ、サウ云フ所ニ進行シマスナラバ、

所謂産業組合運動ニ本當ノ筋ノ通ツタ、同時ニ效果的ナ働キヲ期待シ得ルノデアリマス、今日ノ程度デハ結局全購聯カラ見ルナラバ肥料會社ノ專屬機關ニシカ過ぎナイ、肥料會社デ言フナラバ、多數ノ各組合ノ代理人ニ賣ルヨリモ纏メテ賣ツタ方ガ資金回收ノ困難モナシ、極メテ事業ノ成績モ舉ル、隨テ今ノ全購聯ノヤツテ居ル最大限度「マキシマム」ノ所ハ中間商人ノ利益ヲ安クシタダケノ問題ニ過ぎナイ、根本ノ目的ト對照シマスト云フト、相距ル遠キモノガアルト私ハ考ヘマス、併シナガラ今ノ産業組合ノ組織其モノニハ肥料會社ニ談判シテ、配當ヲ一割ヤツテ居ルモノヲ七分ニ制限シテ、儲ケヲ少シ減ラシマシテ、ソレダケ肥料ヲ安クシロト云フ權能ハナイノデアリマス、又サウ云フコトガ面白クナイトスルナラバ一ツ政府ガ産業組合法ノ改正ヲスルトカ、或ハ國ノ重要産業統制法ニ向ツテ思切ツタ改正ヲ企テ、其他新シイ立法機關ニ依ツテモウ少シ産業資本ノ牙城ヲ侵スト云フト語弊ガアルデセウガ、産業資本トモツト經濟的ナ折合ノ付ク所マデ産業組合運動ヲ率ヒテ行ク御決心ガアルカドウカ、私共地方ニ居リマス、肥料商人ノ諸君ガ非常ニ懇へ且ツ憤慨シテ來ル、結局自分達ノ儲ケガナクナツテ何ノ農村振興ゾヤト云フ譯デス、産業組合運動ニ對シマシテハ色々御考モアルデセウガ、一番大切ナ問題トシテハ、今日經濟機構ト云フト窮屈ニナルデセウガ、モウ少シ政府ノ力ヲ産業組合ニ貸スナリ、或ハ政府自體ガモウ少シ積極的ニ出テ行クナリシテ、サウシテ例ヘバ全購聯ノ肥料ヲモツト原價カラ安クスルヤウナ方法ヲ御執リニナル御考デアルカドウカ、ドウゾ明確ニ御意見ヲ聽キタイモノデアリマス

○山崎國務大臣 其點ハ斯ウナンデアリマスマイカ、産業組合ノ問題ト云フヨリモ、肥料製造業ノ統制ヲドウスルカト云フ問題デヤナイカト思ヒマス、隨テ其問題ニ付キマシテハ、多分此議會ニ現レルト考ヘテ居リマスル統制法ノ建前如何ニ依ツテ、或ル程度マデ御希望ニ副ヒ得ルノデヤナイカト思ツテ居リマス

○由谷委員 私共問題ニ付テハ農林大臣ノ今ノ御答トハ大分趣意ヲ異ニシマスガ、是亦未解決ノ儘デ次ノ機會ニ移スコト、致シマス、ドウゾ斯ウ云フ問題モアルノデアリマスカラ、一層肥料問題ニ付テハ深甚ナ御決意ヲ御願シテ置キマス(下略)

會議

昭和十年二月七日(木曜日)午前十時三十五分開議

出席委員左ノ如シ

主査 山本 芳治君

河野 一郎君

中 亥歲君

兼務

中村 嘉壽君

由谷 義治君

加藤 謙五郎君

生田 和平君

猪股謙二郎君

大口 喜六君

加藤 知正君

梅村 大君

杉山元治郎君

八田 宗吉君

野中 徹也君

田尻 生五君

立川 平君

清瀬規矩雄君

小池 四郎君

松村 謙三君

玉置吉之丞君

清水留三郎君

高橋壽太郎君

二月六日本分科所屬員木本主一郎君委員辭任ニ付其ノ補關トシテ玉置吉之丞君當選シ本分科所屬ト爲リタリ

同月七日第一分科所屬員杉山元治郎君、第二分科所屬員加藤謙五郎君、第三分科所屬員鹽月學君、第四分科所屬員小池

四郎君及第六分科所屬員高橋壽太郎君ハ孰レモ本分科兼務トナリタリ

出席國務大臣左ノ如シ

商工大臣 町田 忠治君

出席政府委員左ノ如シ

商工政務次官 勝 正憲君

商工參與官 高橋 守平君

商工省商務局長 村瀬 直養君

商工省工務局長 竹内 可吉君

商工省鑛山局長 小島 新一君

商工省貿易局長 寺尾 進君

商工書記官 東 榮二君

保險事務官 石井 銀彌君

臨時産業合理局事務官 藤田國之助君

主査ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

議員 三上 英雄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十年度歳入歳出總豫算案中商工省所管豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件中商工省所管

○山本主査 是ヨリ開會致シマス——町田商工大臣

○町田國務大臣 商工省ノ豫算ノ大體ヲ一應御説明ヲ致シタイト思ヒマス、昭和十年度商工省所管歳出豫算ノ概要ヲ申上
ゲマス、其要求額ハ經常部ニ於キマシテ五百四十八萬餘圓デアリマス、臨時部ニ於キマシテハ七百九十六萬餘圓デゴザ
イマス、合計一千三百四十五萬圓餘ト相成リマス、之ヲ前年度ノ豫産額一千三百八十一萬圓ニ比較致シマスルト、經常部

ニ於テハ十四萬餘圓ヲ増加致シテ居リマスガ、臨時部ニ於キマシテハ五十萬圓餘ヲ減少シテ居リマスルカラ、差引三十六萬圓餘ガ前年度ト比較シテ、總計ニ於テ今年度ノ豫算ハ減少シテ居ルノデアリマス、其増減ノ主ナル事項ヲ申上ゲマス
 第一ハ液體燃料ノ自給促進ニ關スル經費百九十五萬餘圓デアリマス、申ス迄モナク我國現下ノ情勢ニ顧ミマス、液體燃料ノ自給促進ヲ圖ルコトハ極メテ緊要ナコトデアリマシテ、前年度ニ引續キマシテ左ノ施設ヲ爲サントスル次第デアリマス、即チ北樺太石油資源ノ開發ノ助成、石炭油化法ノ研究、低温乾溜事業ノ補助、瓦斯發生爐設置ノ補助等ノ諸設備ヲ致シマスルト共ニ、本年度ニ於キマシテハ、更ニ内地石油ノ試掘獎勵、油田ノ調査等ノ施設ヲ行ハントスル次第デアリマス、出來ルダケ液體燃料ノ自給自足ノ方ニ思ヒヲ致シタノデアリマス

第二ハ貿易統制ニ關スル經費デアリマス、金額ハ九萬圓足ラズデアリマス、近時海外ノ市場ニ於キマシテ、我國商品ノ進出ヲ防遏セントスルモノガ、各國ノ間ニ續出シテ居リマスルコトハ、御承知ノ通りデアリマシテ、此各國ノ政策ガ次第ニ擴ガルヤウナ情勢ニアリマスルカラ、斯ノ如キ事態ノ發生ヲ豫防緩和致シマスル爲ニハ、此際一層輸出組合法ノ運用其他ニ依リマシテ、貿易ノ統制ヲ圖ルコトノ必要ヲ感ジマシタノデアリマス

第三ニハ中小商工業ノ助成ニ要スル經費三十五萬圓ヲ計上シテ居リマス、我國ノ中小商工業者ノ現状ニ鑑ミマシテ、是等ノ業者ニ共同施設ヲ行ハシメテ、同業相助クルノ趣意ニ依リマシテ、業界ニ規律統制ヲ樹テマシテ、其改善ヲ圖ラントスル次第デアリマス、其内容ヲ申上ゲマスルト、商業組合共同施設ノ補助十萬圓、工業組合共同施設ノ補助二十萬圓、輸出組合共同施設ノ補助五萬圓ヲ計上致シタノデアリマス

第四ハ産業振興ノ基礎的施設ニ關スル經費三十六萬五百圓デアリマス、即チ發明及研究ヲ獎勵シテ、經濟上、産業上ノ各種施設ノ基礎トナル所ノ技能ヲ研磨セシムルコトハ、國運伸展ノ基デアリマシテ、我國内外ノ情勢ニ鑑ミマシテ、頗ル緊切ノコトデアルト考ヘマスルノデ、發明獎勵ニ關スル施設ニ六萬五百圓、工業研究ノ獎勵ニ十五萬圓、理化學研究所補

助ニ十五萬圓ヲ計上致シタ次第デアリマス

次ニ第五ハ倉庫業ノ監督ニ要スル經費トシテ二萬三千六百二十三圓ヲ計上シテ居リマス、倉庫業ハ一般經濟界ニ對シマシテ重大ナル關係ヲ有スルノミナラズ、倉庫證券ノ商取引及商品擔保金融ニ與ヘマスル利便ノ甚大ナモノガアリマスガ故ニ、此經費ヲ掲ゲマシタノデアリマス、從來ト雖モ相當倉庫業ガ一般取引ニ便利ヲ與ヘテ居リマスルモノ、實際ヲ見マスルト、倉庫業ノ現状ニ鑑ミマスレバ、幾多改善ヲ要スベキ點ガゴザイマスルカラ、新ニ法令ヲ制定シテ、不日御協賛ヲ得ル爲ニ法律モ出ス筈デアリマス、左様致シマシテ倉庫證券ノ發行ニ付相當取締ヲ致スト共ニ、其保管設備ニ付キマシテモ、監督ヲ行フノ必要ガアルト存ズルノデアリマス

次ハ第六ト致シマシテ、肥料業統制法施行ニ關スル經費一萬五千圓ヲ計上致シマシタ、申ス迄モナク肥料ハ我國農村ノ經濟ノ現状ニ鑑ミマシテ、低廉ニ且豊富ニ供給スルノ必要ガアルト共ニ、一面之ガ製造工業ハ、我國基礎工業ノ一トシテ國防上、産業上重要ナ地位ヲ占メテ居リマスルガ故ニ、此生産ニ付キマシテハ事業ノ基礎ノ安定ヲ圖リマシテ、其需給ヲ圓滑ニ致シマスル必要ガアリマスルノデ、肥料業統制法ヲ制定施行致サントスル次第デアリマス、農林省トモ相當隔意ナク意見ノ交換ヲ致シマシテ、茲ニ大體兩省合意ノ肥料統制法ノ案ガ出來マシタラ、是デ以テ不日皆様ノ御協賛ヲ得ル運ビニ致シテ居ルノデアリマス

第七ハ工業ノ地方化ニ關スル經費二萬圓デアリマス、農山漁村ニ於ケル人的及物的資源ヲ利用シテ、是等地方ニ於ケル工業ノ振興ヲ圖ルコトハ、現下ノ情勢ニ鑑ミマシテ最モ緊要ナル事項ノ一ツト認メテ居ル次第デアリマシテ、各地方ニ適合スル工業ノ地方分散、特殊工業ノ開發及手工業ノ機械化等ニ付キマシテ、調査研究ヲ遂ゲルト共ニ、其實施ノ指導獎勵ヲ行フ經費ヲ御協賛ヲ願フ次第デアリマス

右ノ外補助及獎勵費、事業上必要止ムヲ得ザル經費ノ増加及前年度要求ニ係ル經費ノ月割差増等ニ三百七萬千三百四十

五圓、合計五百八十五萬九千六百八十三圓ヲ増加シテ居リマス、併ナガラ豫算外契約既定年割額等ノ減及前年度限りニ屬スル經費ノ減等ニ基キマシテ、六百二十二萬三千六十一圓ヲ減少致シテ居リマスルカラ、前年度豫算ニ比較シテ、結極初ニ申上ゲマシタ通り三十六萬三千三百七十八圓ヲ減少シテ居ル次第アリマス

以上ハ昭和十年度商工省所管歳出豫算ノ大體デゴザイマス、尙ホ御質問ニ應ジマシテ、御諒解ヲ得ルダケノ御説明ヲ申上ゲル次第アリマス

○山本主査 通告順ニ依ツテ質商ヲ進メマス——玉置吉之丞君

○玉置委員 只今町田商工大臣ヨリ、此度御提案ニナリマシタ商工省所管ノ豫算ノ内容ニ付キマシテ御説明ヲ願ツタノデアリマスガ、私ハ先ヅ第一ニ今日ノ我國ノ工業ノ立場ニ於キマシテ政府トシテ爲スベキ仕事ガ多クアルコトハ申上ゲルマデモナイ次第デアリマスガ、斯ノ如ク現下ノ情勢ニ於キマシテ、而モ總豫算ノ六分内外シカ占メナイト云フヤウナ貧弱ナル豫算、尙ホ昨年ニ較ベテ三十六萬圓モ減ジテ居ル、斯様ナ貧弱ナル豫算ヲ以テ商工省御關係ノ仕事、即チ大臣ノ御有チニナツテ居ル抱負經綸ガ完全ニ行ハレルモノデアルカドウカト云フ點ニ付キマシテ、先ヅ大臣ノ御所信ヲ伺ヒマス

○町田國務大臣 只今ノ御尋ハ我國現在ノ經濟狀態ニ對シテ、深く御憂慮ノ結果茲ニ御質問トナツテ現ハレタコト、思ヒマシテ、深く御趣意ハ尤モト存ズル次第デアリマス、色々施設ヲ致シタイト云フ考モアリマスルガ、一面ハ申上ゲモノナク財政上全般ノ上カラモ考ヘナケレバナラヌ事情ガアリマシテ、同時ニ眞ニ一日モ延バスコトガ出來ヌト云フ、最少限度ノ豫算ガ茲ニ現レマシテ——甚ダ國民一般ノ希望ニ十分副フコトガ出來ナカツタ點モ遺憾デアリマスガ、同時ニ是ハ私個人ノ考デアリマスガ、産業上ノ政府ノ施設、就中商工ニ關スル施設ハ、商工省ノ本體トシテ指導監督並ニ獎勵ノ考ヲ持ツテ居リマスモノ、出來ルナラバ商工業者自身ノ奮發ニ依ツテヤル、已ムヲ得ザルモノハ政府ガ金ヲ補助致シマスモノ、心持ハ成ベク商工業者ノ獨立ノ考ヲ以テ、若シ政府ノ金ノ補助ト云フコトガ避ケ得ラレルナラバ、出來ルダケ避ケルノガ國

家ノ爲ニ宜シククナイカト言フヤウナ、私ノ心持モ其處ニアルデアリマスガ、是ハ或ハ皆様ト考ガ違フカモ知レマセヌガ、私ハ已ムヲ得ザルモノ、外ハ、出來ルダケ彼等ノ自力ニ委セタイト云フ心持ガ入ツテ居ルコトヲ御諒承願ヒタイ

○玉置委員 今大臣ノ御説明ヲ伺ツテ、即チ指導監督獎勵以外ニ於テ、餘リ政府ノ力ニ繼ルト云フヤウナコトデナクシテ所謂自力ノ更生、自分ノ力デヤル方ニ導イテ行キタイ、斯様ナ御意見、如何ニモ御尤ナ御意見デアリマス、但シ過般ノ豫算總會ノ席ニ於テモ吾々ノ同僚大口君カラ縷々農村ノ工業化ト云フヤウナコトニ對シテ非常ニ詳シイ御話ガアツテ、大臣モ御聽キノ通りデアリマス、斯様ナ問題ガ今日議會ヲ通シテ疲弊困憊シテ居リマス農村ノ窮狀ヲ慰ヘル國民ノ聲トシテ現レテ居ル、ソレニ對シテ如何ニ農村ノ疲弊困憊ヲ救フカト云フ問題ニ付キマシテハ、種々ナル問題モアリマセウガ、私共ハ農村ノ工業化、日本人ノ持ツテ居ル得意ノ手先ノ器用ナ働キヲドウシテ指導シテ行クカ、斯ウ云フコトニ付キマシテ、只今御説明ヲ伺ツテ居リマス、何か二萬圓程サウ云フ方面ニ使フ金ガ出テ居ルヤウデスガ、ソレ位ノ金高ノモノデ果シテ所期ノ目的ガ達セラレルカ、ドウカト云フコトニ付テ非常ニ疑問ヲ持ツノデアリマス、斯様ナ金ハ何百萬使ツテモ、何億圓ト云フ巨額ノモノニナツテ國ノ働キニナルト云フコトハ今更申上ゲルマデモナク、賢明ナル大臣ハ御承知ノコトデアリマセウガ、之ニ對シテ將來モツト積極的ニ之ヲ指導啓發、助長シテ行クト云フ御意見ガアルカナイカラ此場合伺ヒタイ

○町田國務大臣 只今ノ御尋ニハ全然御同感デアリマス、全國ノ中小商工業ノ現狀ハ此儘デハイカヌ、何トカ改善モサセ發達モサセテ行クコトニ思フ致シテ居ルノデアリマス、先般申シマシタ如ク、全國ニ亘ル中小商工業ヲ救済シ、發達サセル途ハドウカト云フコトニ付キマシテハ、大都會ハ別デアリマスガ、中以下ノ都會ニ散在シテ居ル多數ノ中小商工業者ニ向ツテハ、何トシテモ其附近ノ農村ノ購買力ガ、自ラ斯様ナ中小商工業者ノ救済ニナルノデアルカラ、農村救済ハ私カラ見マスレバ、即チ中小商工業救済ト、大體ニ於テサウ考ヘル心持デ居リマス、只今御尋ノ僅カニ二萬圓バカリデ地方ニ適シタル中小商工業ナドヲ更生セシムルニハ足リナイデハナイカ、是ハ御同感デアリマスガ、一面實ハ農村ヲ工業化スルト云フ

方ノ見方ハ、農林省トシテ新様ニ見テ居リマス、甚ダ内輪ノ事情ヲ御話スルヤウデアリマスガ、商工省ノ方ハ工業ヲ如何ニシテ地方ニ及ボスカト云フ方カラ見テ居ル、農林省ノ方ハ地方農村ヲ主トシテ、ソコニドウ云フ安排ニ工業ヲ興スカト云フ見方ヲシテ居ル、其點ハ必シモ所管爭ヒヲスル必要ハアリマセヌガ、大體ニ於テ各農村ニ適シタ方カラ見マシタ工業化ノ大體ノコトハ、農林省ノ方ニ委シテアリマス、隨テ今度ノ豫算ニモ農林省ノ方カラ相當ノ豫算ガ出テ居リマシテ、商工省ノ方デハ大體ノ上カラ見マシテ、此地方ニハ新様ナモノガ適スルト云フヤウナ、工業ノ方カラ見タ一通リノ調査研究ヲスルト云フ建前デアリマシテ、主トシテ農林省ノ方デ行ツテ居ルヤウナ事情デアリマスカラ、ドウゾ其點ヲ併セ御考慮ヲ願ヒマス

○五置委員 只今ノ御説明ヲ伺ツテ、私共モ左様ナ感じガ致シテ居ルモノデアリマスガ、此有力ナル商工大臣ヲ迎ヘタ際ニ、特ニ私共ノ希望ヲ申上ゲテ其所信ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、現内閣ハ今回地方官ノ制度ノ上ニ於テ、經濟部ト云フモノヲ新設シテ、其中ニ商工水産課ト云フヤウナモノガ屬シテ居リマスガ、是等ノ働キニ付キマシテ私共ガ常ニ遺憾ニ考ヘルノハ、地方ニ於キマシテハ、商工省ノ經驗アリ、經路ヲ有ツタ人ノ考ヘテ居ル指導方針、之ヲ助長スル方針ト云フモノガ徹底シテ居ラヌ、ト云フノハ所管ガ違フ爲ニ監督權ガナイカラ、サウ云フコトノ方針ガ一貫シテ徹底サレテ居ラヌ、殊ニ農村ノ工業化ト云フ問題ニ付キマシテハ、農林省ノ所管ト言ヒマスガ、大體私共ノ意見トシテハ、商工省ガ主トシテ進ムベキモノデハナイカ、斯ウ云フ建前デ何トカ現代ノ政治機構ヲ改革シテ、有效ニ適切ニ働キヲ爲スヤウニ考ヘテ行カナケレバナラヌト思ヒマスガ、之ニ對シテ大臣ノ御意見ヲ伺ヒマス

○町田國務大臣 只今ノ御質問ハ是亦全然御同感デアリマス、何トカ左様ニ致シタイト思ヒマス、尙ホ是モ此席デ申上ゲテ宜イカドウカ分リマセヌガ、アノ經濟部ヲ置キマスル時ニ、實ハ經濟部ト云フ言葉ガビツタリト頭ニ來ヌ、寧ろ産業部ト言ツタラドウカト思ヒマス、其方ガアノ部ヲ設ケタコトニ對スル國民全體ニ對シテノ當リ方——感じ方ガ寧ろ産業部ガ

宜イデヤナイカト云フヤウナ——實ハ内輪ノ話デアリマスガ、サウ云フ考ガアリマシタ、唯實際ハ何デモアノ中ニ土木トカ、交通ニ關スルコトモ入ルカラ、ソレモビツタリ合ハヌト云フヤウナ事務的ノ事情デセウ、ソレデ經濟部トシタト云フヤウナコトデアリマス、是モ亦見方デアリマスルカラ、主管大臣ノ内務大臣ガサウ言フナラバ、強テ閣議デ争フヤウナ問題デモアリマセヌカラ、其儘デアリマシタガ、實ハ大藏大臣ヤ吾々ハ寧ろ産業部トシタ方ガ、此部ヲ新ニ設ケタ趣意ニハ副フノデハナイカト云フヤウナ考モ今有ツテ居リマス、唯從來ハ大都會ノ所ニ於キマシテハ商工課トカ云フ安排ニ、商工ニ重キヲ置イタ所モアリマスガ、大體ニ於テハ農村中心ノ考デアリマシタ事ガ因襲トナツテ今日ニ至ツテ居ルノデアリマスカラ、幸ニ今日農林商工ヲ併セテ經濟部ガ出來マスルト、之ニ對シテハ相當努力モ致シ、尙ホ國務大臣ガ先頃豫算總會デ申上ゲタ通り、將來ノ經濟部長ハ農林商工トモ相談ヲシテ、適材ヲ其處ニ置クヤウニシテ、從來ノ内務省系統ノ者デナケレバナラヌト云フ考ハ、内務大臣ハ採ツテ居ラヌト云フ言明ヲサレデアリマシタカラ、御希望ニ副フヤウニ其邊カラ進ンデ參リタイト思ツテ居リマス(下略)

會議

昭和十年二月八日(金曜日)午後一時三十分開議

○山本委員 午前ニ引續キマシテ會議ヲ開キマス——服部岩吉君

○服部委員(政友滋賀縣) 私ハ農林大臣ニ關聯致シマス問題ニ付テ質疑ヲ致シ、御答辯ヲ促シタイト考ヘテ居リマシタガ、既ニ河野君ナリ、大口君ナリ、其他ノ方々ニ依ツテ大體私ノ質サントスル所ヲ御質シニナリマシタノデ、補足的ノ意味ニ於キマシテ四五ノ點ニ付キマシテ御尋ヲ致シマス

第一ニ御伺申シタイト點ハ農村工業ニ關スルコトデアリマス、此問題ニ付キマシテハ過般ノ豫算總會ニ於キマシテ、大口委員ヨリ各方面ニ亙ツテ御質問ガアリマシタ、之ニ對シマシテ農林大臣ハ御答辯ナサツテ居ル、農林大臣ノ御所見ヲ承リマス、大口君ト大體ニ於テ意見ヲ同ジウスル、現ニ十年度豫算ニハ三十萬圓バカリ計上致シマシタ、此三十萬圓ヲ以テ十年度ハ全國ニ亙ツテ、二百箇所乃至都合ニ依ツテハ三百箇所位ハヤレルト思フ、先ヅ二百箇所位ノ所ヲ指定ヲシテ、サウシテ指導獎勵ヲヤル積リデ居ル、先ヅ第一ニハ農産物ノ加工、即チ罐詰ノヤウナモノヲ第一トシテ、其他山間地方ニ向ツテハ、簡單ナル製材ノ設備、或ハ木工ノ設備ナドヲシテ、主トシテ簡易ナモノヲ造ラセル、斯ウ云フヤウナ御答辯デ、尙ホ最後ニ斯ウ云フ御意見ヲ御付ケニナツタ、但シ此程度ノモノデハ決シテ満足シテ居ナイ、私ハ農林大臣ノ御答辯ノ前段ハ兎モ角ト致シマシテ、後段ノ農林大臣ノ御所見ト云フモノハ、サモアルベキモノダト深ク信ジテ居ルノデアリマス、

聞ク所ニ依リマス云フト、豫算編成當時ニ於キマシテハ、此方面ニ百四五十萬圓ノ豫算ヲ御要求ニナツタサウデアリマスガ、財政ノ關係上三十萬圓ニ削ラレタ、是ハ洵ニ今日ノ農山漁村ノ爲ニ、且ツ山崎農林大臣ノ爲ニ、極メテ遺憾ニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、就キマシテハ、此三十萬圓ノ中カラ約二萬圓ハ本省ノ事務費ノ方ニ充テラレテ居リマスカラ、殘ル所ハ二十八萬圓位デアリマス、此二十八萬圓ヲ以テマシテ、全國ニ先ヅ二百箇所指定シテ、斯ウシテ設備ヲサレ、指導獎勵ヲサレル、ソコデ私ハ事ハ少シ細カクナリマスケレドモ、農林大臣ニ二十八萬圓ヲ以テマシテ、全國ニ二百箇所指定シテ、ドウシテ指導獎勵ナサルノデアルカ、此具體的ナ計畫ガ立ツテ居リマシタナラバ、ソレヲ承リタイ、若シマダ具體的ナ案ガ立ツテ居ナイトスルナラバ、大體ドウ云フヤウナ方法デ之ヲ指導獎勵ナサラウトスルノデアリマスカ、先ヅ其點ヲ御伺致シタイト思ヒマス

○山崎國務大臣 大體ノ考方ハ先般豫算總會デ申上ゲタ通りデアリマスガ、尙ホ實行上ノ具體的ノ事ニ付キマシテハ、政府委員ヨリ申上ゲマス

○小平政府委員 農村工業ノ獎勵施設ニ付キマシテ、具體的ノ個々ノ品目ニ付テハマダ決定シテ居リマセケレドモ、大體此補助金ノヤリ方ハ、約二百箇所位ノ農村工業ニ關スル共同施設ヲ全國ノ各方面ニ設置サセル譯デアリマス、ソレニ對シテ必要ナ經費ヲ補助スルコトニ考ヘテ居リマス、其共同施設ト申シマスノハ、農村工業ノ建物デアルトカ、器具機械デアルトカ、或ハ受電施設デアリマス、販賣斡旋ノ施設、サウ云フ農村工業ニ必要ノ施設ヲスルノデアリマス、ソレガ一般的ノ施設デアリマスガ、其外ニ簡易製材施設デアリマス、畜産關係ノ「カゼイン」ノ製造ノ施設デアリマス、トカ云フ施設ヲスルコトニ相成ツテ居リマス、尙ホ本省ノ獎勵費ノ中ニハ、調査研究委託ノ費用ガ含マレテ居ルノデアリマス、大體右様ノ計畫デ實施シタイト考ヘテ居リマス

○服部委員 大體諒承致シマシタガ、私ハソコニ尙ホ疑問ヲ有ツ者デアリマス、是ハ農林大臣ナリ、或ハ政府委員ノ方

モ御承知デアラウト思ヒマスガ、一例ヲ舉ゲテ申上ゲマス云フト、農産物ノ加工ノ問題デアリマス、農産物ノ加工問題ハ相當設備ヲ要サナケレバナラヌ問題デアリマス、而シテ此農産物ノ加工ト云フモノ、中デ罐詰加工ト云フモノハ、家庭工業デハドウモ私ハ不適當ダト、斯様ニ考ヘルノデアリマス、何故不適當デアルカト申シマス云フト、自分ノ農業ニ依ツテ生産シタル所ノ農産物ヲ加工スル場合ニ於キマシテハ、ソレム／＼相當ノ設備ヲ要シマスカラ、從ツテ是ハ共同作業デ行カナケレバナラヌ問題デアリマス、是ハ既ニ今政府委員ノ御答辯爲サツタコトデ私ハ十分諒承致シマス、隨テ此罐詰ヲヤリマス所ノ設備ト申シマス云フト、極ク小サナ規模ノ設備デモ約三万圓カラ四万圓ヲ要シマスノデアリマス、是ダケノ設備ヲシナイト云フト、今日一般商品トシテ取扱ハレル所ノ罐詰ト云フモノハ私ハ出來得ナイト思フノデアリマス、而シテ假ニ筒ナラ筒ト云フモノヲ罐詰ニスルダケノ工場デハ、其工場ト云フモノハ極メテ不引合ナ工場ニナツテ參リマスカラ、少クトモ農産物ノ加工ヲヤリマス場合ノ設備ト致シマシテハ、蔬菜ノ全般ニ亙ルモノ、或ハ又果實、其他總テノ肉類、魚類等迄罐詰ニスル所ノ設備ヲ有ツテ居ラナケレバ、多角形ノ農業ヲ經營致シテ居リマス今日ニ於テ、其生産スル種類ハ相當多イノデアリマスガ、是等ノモノヲ加工スルニハ、唯一ツノ種類ノ加工ダケヲ以テヤルコトハ經濟上下ウシテモ出來得ナイノデアリマス、左様ニ致シマス云フト、ドウシテモ技ニ相當ナ蔬菜全般ニ亙ル所ノ罐詰ノ加工設備ト云フモノヲ致サナケレバナラヌ、左様ニ致シマス云フト、只今申上ゲマシタ如ク、三万圓乃至四万圓ト云フ所ノ設備、竝ニ器具、機械及ビ建物、敷地ト云フモノヲ要スル譯デアリマス、サウシテ、斯様ニ致シマシテ、其生産費ガ自己ノ生産シタル所ノ蔬菜其他ノモノヲ持寄りマシテ、ソコニ一ツノ加工ガ出來上ツテ行ク、左様ニ致シマスレバ、其製品ハ統一サレマシテ、立派ナ商品トナリマシテ、サウシテ農産物ガソコニ商品價値ト云フモノヲ高メテ行クコトニ相成ラウト思ヒマス、此式デ參ラナケレバ農産物ノ加工ト云フモノハ私ハ到底出來得ナイモノデアルト思フ、又山村方面ニ於キマス所ノ製材ノ設備トカ、或ハ木工ノ設備ニ致シマシテモ、是ハ唯一ツノ設備ダケデ以テヤルコトハ出來ナイ、少クトモ有ユル木工スベキ所ノ

設備、或ハ又最近各地ニ山村トシテ行ハレテ居リマス所ノ松材ノ如キモノヲ以テマシテ、サウシテ所謂荷造用ノ材料ヲ作ツテ居ル、是等ノ設備ニ致シマシテモ、私ハ相當ノ動力デアルトカ、或ハ鋸デアルトカ、有ユル所ノ設備ヲ合セマスルト云フト、相當ノ設備ヲ要サナケレバナラヌ、斯様ナ次第デアリマスカラ、之ヲ全國ニ亙リマシテ二百箇所指定シテ指導スルト云フコトニナレバ、一箇所平均額ニスレバ僅カ一千四百圓バカリニナルデアラウト思フ、少ナクトモ三四万圓要リマス所ノ農産物ノ加工ノ設備ニ對シマシテ、千圓ヤ二千圓ノ補助ヲヤツテ見タ所デ、今日ノ疲弊困憊セル所ノ農村デハ、オイソレトソレヲ共同デ引受ケルモノハ斷ジテナカラウト思フ、デアルカラ私ハ其二百箇所ヲ御指定ニナツテ是等ノ所謂加工ヲ御奨メニナルコトハ、果シテ出來得ラウカ、到底今農林大臣ノ御述ニナリマシタ所ノ全國二百箇所ヲ指定シテ、此種ノ指導獎勵ヲスルト云フコトハ困難デアラウト云フ大ナル疑問ヲ持ツモノデアリマスガ、私ノ疑問ヲ解イテ戴キタイト思フノデアリマス

○小平政府委員 御尋ノ二百箇所ガ果シテ出來ルカドウカト云フ御疑問デゴザイマスガ、私共ノ計畫當時ノ考ニ依リマスト、大體蔬菜果實、苜等ノ罐詰等ノ設備ニ付キマシテハ共通ノ器具機械デ間ニ合フモノガ相當アルノデアリマス、例ヘバ「ポイラー」トカ沸騰スル鍋ノヤウナモノデアルトカ、壓搾ノ機械、サウ云フモノハ蔬菜ダケノモノデナク、其他色々ノ物ニ共通使用ガ出來ルノデアリマス、其他農村工業ヲ致シマス工場ノ家屋、サウ云フ物ハ總テ共通ニ使ヘマスカラ、一ツノ農村ノ工場設備ガ出來マス、各種ノ農村生産品ニ加工出來ルコトニナルト思フノデアリマス、ソレ等ノ色々ノ方面ヲ段々當ツテ見テ計畫致シマシタノデアリマスガ、大體一箇所三千圓或ハ二千五百圓位デ出來ル物モ、實際色々ノ資料ヲ通ジマシテ、ソナナ工合ニ相成ツタ譯デアリマス、勿論之ニ對シテ全額ヲ補助スルノデアリマセヌケレドモ、半額カ相當ノ必要ナル限度ヲ補助致スノデアリマス、又極ク安イ低 資金ニ依ツテ此設備ヲ完成シタイト云フ位ニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ尙ホ物ニ依ツテハ七八千圓位掛ル物モアルノデアリマスガ、平均シテ補助額ノ計算ヲシテ居リマスガ、實

際ノ場合ニ當リマシテハ、實際農産物其他ノ加工ガ出來、農村工業ノ製産品ガ相當ノ商品價値ヲ持チ得ルヤウニ、製造出來ルヤウニ補助金ヲ出サナケレバナラヌト考ヘテ居リマスガ、只今ノ所デハ、大體二百箇所位之ニ補助出來ルノデハナイカト考ヘテ居ル次第デアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○服部委員 私ハ今ノ答辯デハマダ私ノ疑問ヲ解クコトガ出來ヌノデアリマス、假ニ二百箇所ノ内百箇所ハ山間方面ニ於キマスル木工、或ハ製材ノ設備ト致シマシテモ、其残りノ百箇所ヲ農産物ノ加工ト云フコトニ追詰メテ行カウトスルナラバ、只今申上ゲマシタ三万乃至四万ト云レ金ヲ要スルノデアリマス、是ハ餘リ大キナモノデハアリマセヌ、極メテ小規模ナ罐詰設備デアリマス、只今仰セニナリマシタ如ク「ポイラー」ノ如キモ、矢張大小二ツ位ノモノヲ持タナケレバナラヌ、又煮沸釜ニ致シマシテモ、三箇ヤ四箇ノ煮沸釜デハドウモ用ヲ爲サナイ、又殺菌釜ニ致シマシテモ、少量ノ場合ト多量ノ場合トノ、大小二箇位持タナイト、經濟的ノ價値ガ非常ニ違ツテ參リマス、其他壓搾器デアルトカ、或ハ「ピハラ」デアルトカ、又動力方面ト致シマシテハ、是モ三馬力乃至五馬力ノ動力電動機ヲ使ハナケレバナラヌ、此電動機ノ如キモ、更ニ豫備的ノモノヲ持ツテ居ラナイト、故障ノアツタ場合ニハ忽チ作業ガ出來ナイ、斯ウ云フ結果ニナルカラ、罐詰工場ノ設備ト致シマシテハ、相當ナ費用ヲ要スルモノデアリマス、機械器具方面ニ於キマシテモ、是等ノ物ヲ、取合セマス、少クトモ一萬數千圓ノ金ヲ要シマス、然ラバ建物ノ方ハ、ドウカト云ヘバ、是モ罐詰工場ヲヤル立場ト致シマシテハ、少クトモ第一ニ運搬費ノ多ク掛カラナイコトヲ目標トシテヤラナケレバナラナイカラ、商品ニシテ取扱フ以上ハ、左様ニ致シマスルト、交通機關ノ最モ便利ナ所ニ、サウ云フ設備ヲ持タナケレバナラヌト云フコトガ、工場トシテノ必然的ナコトデアリマス、左様ニ致シマスルト、敷地ノ如キモ停車場附近、或ハ交通ノ便利ナ所ニナリマスレバ、坪當リ相當ナ價段ヲ見積ラナケレバナラヌ、建物ノ如キモ假令「バラツク」ノヤウナ物デアリマシテモ、今日ハ坪三十圓乃至四十圓位ノ金ヲ掛ケナケレバナラヌ、然ルニ其敷地ニ至ツテハ、先ヅ二郡三郡ト云フヤウナモノヲ一ツノ範圍トシテ、共同作業ヲ行フト

シマスレバ、矢張五六百坪ノ敷地ヲ要スル、建築建坪ノ方ニ於キマシテモ 矢張最小限度三百坪或ハ四百坪ト云フモノヲ實際ニ要スルノデアリマス、左様デナケレバ實際ニ作業ガ出來ナイノデアリマス、ソレヤ是ヤヲ取揃ヘテ計算致シマスト云フト、最小限度三萬圓、少シ設備ヲ致シマスレバ四萬、五萬ノ金ヲ要スルノデアリマスサウデナケレバ出來得ナイ、而シテ共同ノ設備デナケレバ出來得ナイ、共同ノ作業デナケレバ出來得ナイト云フ一ツノ根本的ナ理由ニ基イテ考ヘルナラバ、是等ノ設備ハ當然必要デアリマス、サウ致シマス一箇所ノ經費ヲ最小限度三萬圓ト見積ツテモ、是ハ百箇所デ三萬圓ノ金ヲ要スルノデアリマス、斯ウ云フモノニ僅ニ一箇所三千圓ヤ五千圓ノ補助ヲヤツテ見タ所デ、蚊ノ小便ニモ足りナイト言ツテ私ハ差支ナカラウト思フ、隨テ此仕事ガ農林省ガ御考ニナツテ居ルヤウナ成績ヲ果シテ擧ゲ得ルカドウカト云フ疑問ヲ私ハ有ツノデアリマス、唯玩具見タイナ罐詰ナラソレデ宜イデセウ、今日簡易ナ罐詰ノ遣リ方ハ、糶秣廠デハアノ場ノ中ニ筍ヤ或ハ果實ヲ入レテ、ソレヲ殺菌シテヤツテ居ル、家庭用ノ罐詰ナラソレデモ宜イデセウ、併シソレハ今日農林大臣ガ有ツテ居ラレル所ノ理想トハ全然懸離レタモノデアアル、少クトモ農家ガ自ラ生産シタ所ノ農産物ニ加工シテ、是ノ商品價ヲ上げ、而シテ商品化シテ農家ノ經濟窮乏ノ一助ニモ資サウト云フノナラバ、私ハ今ノヤウナ御考デハ斷ジテ其仕事ハ出來得ナイト思フノデアリマスガ、更ニ此點ニ付テ御同致シマス

○山崎國務大臣 服部君ノ非常ニ農村工業ニ對スル御熱心ナル御心持ハ、能ク私ニハ諒解出來マス、農林省トシマシテハ、十年度ニ三十萬圓ヲ計上致シマシテ、在來ノ副業獎勵トシテ二十萬圓バカリノ金ガアリマスカラ、双方配合シテ行キマシテ、第一次ノ事業トシテ、先ヅ此程度ノコトニ著手ヲスル譯デアリマスカラ、此間モ申上ゲマシタヤウニ、此程度デ無論止メヨウト云フ考ハ有チマセヌノデスガ、餘リ斯ウ云フヤウナ仕事ハ一度ニ手廣クヤツテモドウカト思フ點モアリマスノデ、漸ヲ追フテ擴張ヲ致シテ參リタイト云フ考ヲ有ツテ居ル譯デアリマス、來年度トシテハ、此程度デアリマスガ、續イテ出來ル限リ此方面ノ擴張ニハ努力ヲ致シテ參ル考デアリマス

ソレカラ來年度ノ三十万圓ノ使途ニ付テ、大體二百箇所ト云フヤウナ見當デ居リマス。此際ニ附加ヘテ私ハ御參考ノ一端ニ
 スガ、是モ地方々々ノ事情ニ依リマシテ、色色不同ガアルコト、思ヒマス、又斯様ナコトヲ農林省ガイキナリ地方ノ意向
 モ無視シテ、天降式ニ指定ヲシテ行クト云フヤウナ遺方ハ避ケル方ガ私ハ宜シカラウト思ヒマス、矢張地方ニモ希望ガ起
 リ、縣當局モ適當ト認メ、農林省モ相當ト認メタ所ニ——詰リ地方ト中央ト地元ノ意思ノ合致ニ依ツテ、斯様ナコトハ運
 營シテ行クトガ宜イト云フ考ヲ有ツテ居リマスカラ、無理ニ負擔ヲ強イルヤウナ結果ニハ致シタクナイト考ヘテ居リマ
 ス、尙ホ又設備ニ付キマシテモ、服部君、能ク實地ニ立脚シテノ御議論デ、深ク傾聽致シマスガ、併シ今回考ヘテ居リマ
 スモノハ、成ベク簡易ナ方法デ出來ルヤウナ程度ノコトヲ考ヘテ居ル譯デアリマシテ、地元ニ於テモ希望ニ依リ、一部分
 ハ分擔ヲシテ貰ヒ、政府ノ方デモ助成金ヲ出シテ、尙ホマダ足ラザル所ハ低利資金其他ノ方法ニ依ツテ、地方ノ苦痛ノナ
 イヤウニ考ヘテヤラナケレバナラヌト云フコトデ、行ツタラ如何デアラウカ、又二百箇所ト云フコトモ先刻申上ゲマスヤ
 ウニ、天降リ的ニ場所ヲ指定シテ、是ガ非デモ二百箇所デナケレバナラヌ、サウ云フ窮窟ナ考ハ有ツテ居ラヌ譯デアリマ
 シテ、實際ノ地方ノ申請、其他ヲ斟酌致シマシテ、或ハ其數ニ増減ガ起ル場合モアラウカト思フノデアリマス（下略）

（前略）

○服部委員 只今ノ農林大臣ノ御説明ニ依リマシテ、大體諒承致シタノデアリマス、此際ニ附加ヘテ私ハ御參考ノ一端ニ
 供シテ置キタイト思フ、ソレハ農産加工ハ各府縣トモ相當ヤツテ御出デニナルヤウデアリマスガ、私ノ見マシタ所デハ、
 愛知縣デ安城町ニモ農業實行組合ガ御五ニ出資ヲシテ、サウシテ是ハ株式會社ニナツテ居リマスガ、其實ハドツチカト言
 ヒマス、所謂實行組合ト云フモノガ、主體トナツタ組合經營ノヤウニ私ハ見テ居ルノデアリマス、又同ジク豊橋市ニモ
 同様ノ加工場ヲ有ツテ居リマス、私ノ縣ニモ縣下ヲ一圓ト致シマシタ所ノ、産業組合法ニ依リマス蔬菜加工販賣組合ト云
 フモノヲ有ツテ居リマス、是ハ相當古イ歴史ヲ有ツテ居リマスガ、大正十五年ニ設立致シマシテ、當時ハ蔬菜加工ニ適ス

ルモノ、指導獎勵ヲ組合ガ自ラヤツテ居リマシタ、漸次サウシタ蔬菜ガ殖エテ參リマシタノデ、茲ニ昭和三年カラ罐詰ノ
 加工ヲ始メタノデアリマス、其種類ハ「グリーン・ピース」デアルトカ、或ハ「トマトソース」デアルトカ、「トマトケチ
 ヤツブ」或ハ松茸、筍、蒟、更ニ果實ノ罐詰ヤツテ居リマス、所ガ實際ニ當リマスト云フト、其經營ハ極メテ至難デア
 リマス、只今申上ゲマシタ如ク、設備費ダケニ於キマシテモ、最低三万圓、少シク設備ヲ良クスレバ、四五万圓モ要スル、
 其上ニ此組合組織トカ、共同作業ト云フコトニナリマスト云フト、ドウモ其産業組合員ガ未ダ組合ノ精神ヲ本當ニ自覺シ
 テ居リマセヌ關係上、自己ノ生産シタ物ヲ持合ツテソレヲ加工シテ一ツノ商品ニシテシマフ、其商品ニシタモノヲ賣ツテ
 シマツテ、サウシテ加工費其他總テノ經費ヲ引イテ殘ツタモノヲ、出荷シタ者ニ對シテ按分シテ代金ヲ支拂ウテヤル、斯
 ウ云フコトガ、當然ナ經營方法デアリマスルケレドモ、既ニ承知ノ通り、此組合製絲ヲオヤリニナツテ、組合製絲ノ經營
 ガ非常ニ困ツテ居ルト云フコトモ、組合員ガ繭ヲ出シテ、サウシテ其生絲ノ値ガ上ツタ場合ハ文句ハアリマセヌケレドモ、
 下ツタ場合、其自分等ガ出荷シタ當時ノ値段ヨリモ下落シタ場合ニ於キマシテハ、組合員ガドウシテモ、其當時ノ値段ヲ
 狙ツテ來ルト云フコトハ、是ハマア人トシテハアリ得ル一ツノ情實デアリマスガ、斯ウ云フ爲ニ、今日ノ製絲組合ガ非常
 ニ經營ニ困難シテ居ルト云フコト、少クトモ矢張六掛乃至七掛、最高八掛位ノモノノ代金ト云フモノハ、農家ノ出荷ト
 同時ニ金ヲ出シテヤラナケレバナラヌ、斯ウ云フ性質ノ關係上、ソコニ一ツノ大キナ運轉資本ト云フモノヲ要シテ參リマ
 ス、斯様ナ關係ヲ以テマシテ、ドウシテモ組合組織デヤラナケレバナライガ、組合組織デヤツテ見マシテモ、サウ云フ
 ヤウナ點ガ出テ參リマシテ、極メテ至難ナコトニ相成ルノデアリマス、隨テ製絲ノ如キモ組合自體ガ非常ナ生絲ノ暴落ノ
 爲ニ損害ヲシテ、各府縣デハ是ガ救済ニ非常ニ困惑シテ居ル、斯ウ云フ例ガアツテ、此産業組合デ以テ農産物ノ加工ナド
 ヲヤル場合ヲ見マシテモ、矢張是ガ出テ參ルノデアリマス、デアリマスカラ、此點ニ付キマス所ノ所謂獎勵指導方法ト云
 フモノヲ、餘程旨クヤツテヤラナイト、折角ノ農林省ノ計畫ト云フモノガ畫餅ニ終ツテシマフ、失敗ニ終ツテ終ヒハシナ

イカト云フ憂ヲ持チマス、今日マデノ多クノ實例ハ、大體ニ於テ失敗ニ終ツテ居ル、安城町ニ於ケル所ノ此加工組合モ非常ナ缺損ヲシテ居リマス、又滋賀縣デハ縣下ヲ一圓ト致シテ居リマスル所ノ加工組合モ、商品ノ價格ノ下落ニ依ツテ、相當ナル缺損ヲ持ツテ居ル、斯ウ云フ譯デアリマスルカラ、共同組合等ニ産業組合法ニ依ツテ共同ノ作業ヲヤラセル場合ニ於テモ、之ニ對シテハ、相當有能ナ指導者ヲ置イテ、之ヲ適當ニ指導シテヤルト同時ニ、又運轉資金ナンカモ、只今農林大臣ガサウ云フ金ガ要ルト思フカラシテ、出來ルダケ安イ金ヲサウ云フ組合ニ貸付ケテ、作業資金トシテヤルト云フコトデアリマシタガ、私ハサウデナイト、此事業ハ到底至難ダト考ヘル、サウ云フ風ニ今日マデノ各府縣ニアリマスル所ノ加工組事業ト云フモノガ、今日デハ命脈ハ續イテ居リマスルガ、其經營ハ極メテ困難ノ状態ニアリマスルカラ、此點ヲ御參考マデニ申上ゲテ置キマス、同時ニ私ハ此農村工業ヲ獎勵致シテ行キマスル所ノ獎勵方法ト致シマシテ、私ハ現ニ各道府縣ニ農産物加工試驗場ノ施設ヲ爲サシメテ、サウシテソレヲ助長スルヤウナ途ヲ講ジテ、戴キタイト思ツテ居ルノデアリマス、ドウシテモ私ハ今日ノ蔬菜加工ノ經營ノ至難ナル點カラ申上ゲルト同時ニ、各府縣ノ所謂加工ナルモノヲ一ツノ統制ヲ持ツテ行ク、一ツノ計畫ヲ持ツテ行クト云フ上カラ見マシテモ、各府縣ニ斯ウシタ種類ノ試驗場ヲ設ケサシテ、サウシテ其地方ニ於ケル所ノ農産物中ニ付テ、加工ニ適スルカ否カト云フコトヲ先ツ研究シ、而シテ是ナラバ大丈夫ト云フコトヲ見付ケタモノニ對シテ、所謂加工ヲサセテ進メテ行ク、サウシテ一方ハ試驗場ニ致シマシテモ、矢張今申上ゲマス所ノ設備ヲ致シマス、矢張四五萬ト云フモノヲ最初ニ見積ツテモ宜イヤウニ私ハ思ヒマス、デスカラ一層農村工業ヲ御獎勵ナサル、特ニ農産物ノ加工ヲ御獎勵ナサルナラバ、先以テ地方道府縣ニ對シマシテ、農産物ノ加工試驗場ヲ設ケシメル、サウシテソレニ依ツテ指導獎勵ヲ爲サツタガ、最モ徹底シタ遣方デハナイカ、而シテ其試驗場其モノヲ一般ノ生産者ニ共同利用ヲセシメテ行クト云フコトガ割方經費ガ要ラナイ、農林省ノ方トシテモ私ハ大シタ經費ハ要ラナイト思フ、サウシテ其設備ヲ利用セシメテ行クト云フコトガ、一番手ツ取り早イ、安全ナ此種ノ獎勵方法デハアルマイカ

ト私ハ固ク信ジテ居ルノデアリマス、之ニ致シマシテモ道府縣ヲ通ジマシテ先ツ五十箇所ト見マシテモ、此經費ガ僅ニ二百五十萬圓、政府ガ半分補助シタ所デ百二十五萬圓デアリマス、サウシテ其設備ヲ其地方産物ニ對シテ生産者ガ共同利用シテ行クト云フコトニナレバ、其製品ハ統一サレマシテ、サウシテ完全ナル商品トシテ市場ニ出ルコトガ出來マス、更ニ私ハ經常費ニ對シマシテハ大抵先ヅ一萬圓ナリ、一萬二千圓位ノ金ハ見テモ、試驗場自ラモ試驗ヲヤリ、又一部ノ産業モ出來ルト思フノデアリマス、其内先ヅ人件費ノ方カラ申シマス、技師ガ一名、技手二名、其技師一名ト技手二名ニ對スル俸給ノ三分ノ一位ハ當分補助シテヤル、無論之ニハ相當ノ旅費モ付キマスカラ、旅費ナドモ同様ノ率デ以テ、國家ガ補助シテヤル、サウ致シマスレバ是モ極メテ僅カナモノデアリマス、技師其他ノ俸給ヲ合セマシテモ三千圓カソコラノモノデアル、旅費ヲ加ヘマシタ所デ四千圓足ラズデ出來ヨウト思フ、之ニ三分ノ二ヲ補助致シマシテモ二千五百圓ノ金デ以テ足リル、左様ニシテ此農村工業ノ御獎勵ヲ爲サルコトガ徹底シテ、而モ效果的デアル、斯様ニ私ハ痛切ニ感ジテ居ルノデアリマスカラ、此點ニ對シマスル所ノ農林大臣ノ御所見、將來ニ對スル御考ヲ承リタイ

○山崎國務大臣 服部君ノ非常ナ有益ナ御意見ヲ伺ヒマシテ、私モ深く傾聴致シタ譯デアリマス、此事ハ度々申上ゲマスヤウニ、將來出來ルダケ一ツ力ヲ入レテ行キタイト考ヘテ居リマス、來年度ハ甚ダホンノ手解キノヤウナ意味デ、只今ノ計畫ヲ立テ、居ルノデアリマスガ、引續キマシテ種々相當ノ纏ツタ計畫ヲ立テ、参リタイト思フノデアリマス、只今御示シニナリマシタ御意見ノ如キハ最モ尊重シテ、大ニ考慮ヲ加ヘテ参リタイト考ヘテ居リマス

○服部委員 更ニ私ハ農村産業組合ノ指導精神ニ付テ御伺シタイ、極メテ簡單ニ、俗的ニ申上ゲマス、今日組合ノ指導精神ガドウモ私ハ資本主義經營ニ墮シテ居ヤシナイカト言フコトヲ、非常ニ私ハ心配スルノデアリマス、ト申シマスルノハ地方廳ノ監督官廳ハ「君ノ組合ノ成績ハドウダ」ト、斯ウ云フコトヲ第一番ニ問フノデアリマス、其成績トハ何ゾヤト申シマス、先ヅ第一ニ剩餘金ガ幾ラカ、出資ニ對スル配當ハドウカ、特別積立金ハドウカ、是ガ先ヅ發セラレル言葉デア

リマス、私ハ此言葉其モノガ既ニ一ツノ資本主義ニ墮シテ居ル所ノ指導精神デハナイカト、斯様ニ思フノデアリマス、産業組合ガ農村ノ中樞機關デアルト云フコトハ、今日政府ノ方針ニ基キマシテ、地方ハ普通銀行ハ一縣一銀行主義ヲ採ツテ居ラレル、又特殊銀行デアル農工銀行、或ハ興業無盡、頼母子講、産業組合、斯ウシタモノガ先ヅ今日ノ地方ニ於ケル金融機關デアリマスガ、實際カラ申上ゲマスルト、普通銀行ハ最早立派ナ商業銀行ニナツテシマツテ居リマス、特殊銀行タル勸業銀行ナリ、農工銀行ハ、農村ノ産業資金ニ金ヲ貸付ケルニ致シマシテモ、相當ニムツカシイ、農家ヲ満足サセルコトノ出来ナイ状態デアリマス、興業無盡ハ是ハ利子ガ高クテ、斯様ナモノガ農村ニ入り込ムト云フコトハ非常ナ危険デアリマスカラ、今日實際ノ農村トシテハ窮シタ結果、サウ云フモノヲ利用シテ居リマスガ、大體斯様ナ興業無盡ヲ利用シテ居ナイ、是ハ私ハ非常ニ結構ナ傾向ダト思ヒマス、殘ル處ハ何ヲ以テ仕事ヲシテ居ルカト言ヘバ、今日窮乏シタ農村デハ資金潤渴ノ爲ニ、僅ニ十數人ノ者ガ寄りマシテ一ツノ頼母子講ヲ持ヘ、米穀ヤ金ナンカヲ持合ツテ、ソレデ繼ニ金融ヲヤツテ居ル、唯茲ニ看通スコトノ出来ナイノハ、是等ノ金融機關ガ資本主義ノ爲ニ、總テ農村ノ僅ナ餘裕ノ金ヲモ吸集シテシマツテ、ソレヲ商工方面ニ使ヒ、更ニ剩餘金ハ都會ニ集中サレテ居ル結果、益々農村ノ資金ト云フモノハ缺乏ヲ致シテ居ルコトハ、是ハ私ガ申上ゲル迄モナイノデアリマス、ソコデ之ヲ幾分デモ助ケテ、農村ノ産業資金ヲ巧ク運用スル機關ハ農村ノ産業組合以外ニハ絶對ニナイと思フノデアリマス、其組合ノ經營振ヲ見マスルト一例ヲ申上ゲマス云フト、一ツノ村ノ組合ニ組合員カラ十萬圓ノ預金ヲシテ居ル、其預金ハ幾ラ組合員ニ貸付ケテ居ルカト云ヘバ、五萬カ六萬圓バカリ貸付ケテ居ル、サウシテ更ニ産業組合ハ政府ノ低利資金ノ如キヲ大抵五千圓ヤ一萬圓ハ借りテ居ルノデアリマス、ソレヲ差引キマス云フト、十萬圓預ツタ預金ノ約半分ハ、何處カヘ逃ゲテシマツテ居ル、何處ヘ逃ゲテ居ルカ、普通銀行デアリマス、或ハ府縣ノ産業組合ノ聯合會、斯ウ云フ方面ニ逃ゲテ居ルノデアリマス、其逃ゲタ、聯合會ノ方面ニ吸收サレタ所ノ金ハ何處ヘ行ツテ居ルカ、果シテ其金ガ縣内ノ各産業組合間ニ於テ貸借出来テ居ルカト云ヘバ、或ル程度ハ出来

テ居リマスガ、大部分ハ是ガ中央金庫ニ集ツテ居ルト云フヤウナ現状デアリマス、斯様ナコトデハ私ハ行詰ツテ居ル今日ノ農村ノ金融梗塞ニ更ニ一層ノ拍車ヲ掛ケテ居ル状態デアリマスカラ、全ク産業組合共モノ、使命ヲ忘レテシマツテ、サウシテ組合堅實主義デ進ンデキル組合堅實主義、私ハ必シモ之ヲ惡イトハ申上ゲマセヌガ、此點ハ私ハ非常ニ遺憾ニ思フノデアリマス、デアリマスルカラ大抵其大部分ハ——私ハ十萬圓ト云フコトヲ一例デ申上ゲマシタガ、其大部分ハ困ツテ居ル組合員ニ貸付ケルヤウナ方法ヲ執ツテヤルコトヲ考ヘテ戴イタラドウカ、無論組合ヲシテ言ハシメレバ、組合員ニソレダケノ信用ノ程度ガナイカラ致シ方ガナイ、斯様ニ言ツテ居リマスケレドモ、實際ヲ見レバ私ハマダモウ少シハ貸シ與ヘル信用ハアルト思ヒマスカラ、餘リニ堅實主義ヲ採ル爲ニ、其對人關係ヲ極メテ薄ク見、對物主義ヲ非常ニ重ク採ツテ居ル、ソレノ一ツノ弊デアラウト私ハ思フ、同時ニ是ハ信用方面ノ部面デアリマスガ、販賣部面ノ方ヲ見マス、是ハ私ハ政府ノ指導ナリ、政府ノ事業ノ援助ト云フヤウナ關係カラ、可ナリ理想的ニ進ンデ居ルノデアリマス、之ニ對シテ私ハ異存ハアリマセヌ、殊ニ今後米穀ノ自治統制案ノ出来マス場合ニ於キマシテハ、多クハ此農村ノ産業組合ガ其衝ニ當リ得ルコトニナラウト思ヒマスカラ、此點ハ益々私ハ發達シテ參ルト思フデアリマス、購買部面、即チ組合員ノ消費部面ニ於キマシテハ、私ハ甚ダ遺憾ナ點ガアルノデハナイカト思ヒマス、今日農村ノ産業組合ノ取扱ツテ居ル所ノ購買品ノ種類ヲ調べテ見マス云フト、多キハ四十種乃至五十種ト云フヤウナ細カイ種類ニ分レテ居リマス、而モ其内容ハ大體ニ飲食物雜貨方面デアリマス、無論肥料ハ何分農村ノ大部分ヲ占メル消費デアリマスカラ、其金額ニ於テ多イコトハ申ス迄モアリマセヌガ、此農家ノ生活必需品ト申シマセウカ、飲食物並ニ雜貨類ノ如キモノヲ、數多ク消費者ニ向ケテ購買サセルト云フコトハ甚ダ考ヘモノデアアル、最近私共ノ聞ク所ニ依リマス、組合員ニナツタ爲ニ近頃サウシタ消費方面ノ金ガ非常ニ多クナツテ來タ、斯様ナコトヲ聞クノデアリマス、是ハ組合ガ其店頭ニ有ル雜貨、或ハ食料品ヲ列ベテ、更ニ進ンデハオ盆デアルトカオ正月、オ祭ト云フ時ニハ、店員ヲシテ戸毎ニ賣リニ歩カスト云フヤウナコトモアル、茲ニ至ツテ私ハ餘

リニ産業組合ノ領域ヲ乗越エテ居ル仕事デアアルマイカ、斯様ニ推察スルノデアリマス

更ニ私ハ全購聯ノ問題デアリマスガ、是ハ甚ダ怪シカラナイト思フノデアリマス、彼ノ全購聯ガ御承知ノ如ク「キヤラメル」ト云フヤウナ子供ノ食ベル菓子ヲ拵ヘテ、此農村ノ産業組合ニ配當シテ、サウシテ之ヲ購買品タラシメテ居ル、斯様ナ物ハ斷ジテ農村ノ生活必需品デハナイノデアリマス、斯様ナ方面ニ全購聯ガ力ヲ注グナラバ、モウ少シ肥料方面デアルトカ、更ニ農具方面ニ向ツテ力ヲ入レル必要ガアラウト思ヒマス、「キヤラメル」ノ如キモノヲ製造シテ、之ヲ農村産物組合ニ配當シテ賣付ケサセテ居ルト云フニ至ツテハ、**茲ニ所謂反産運動ト云フモノガ日々其聲ヲ高クシテ來ル所以ノモノデアラウト思ヒマス、**私ハ決シテ反産運動ノ肩ヲ持ツ者デアアリマセヌ、肩ヲ持ツ者デアアリマセヌケレドモ、産業組合ガ自分ノ領域ヲ乗越エテ仕事ヲヤルト云フコトニナリマスト云フト、斯ウシタ運動ガ起ルコトモ私ハ當然ダラウト思フ、故ニ私ハ餘リニ農村ノ産業組合ガ飲食物ヤ雜貨ヤ、ソシテ物迄モ取扱フト云フコトハ相當考ヘナケレバナラス、考慮シナケレバナラスト思フノデス、**茲ニ私ノ農村ノ産業組合ガ、其販賣品ニ或ル一ツノ限界ヲ付ケルヤウニ指導スルコトガ適當デナイト思フノデアリマス、**先ヅ私ハソレ等ノ點ニ付キマシテ農林大臣ガ如何ナル農村産業組合ニ對スル指導精神ヲ有ツテ居ラレルカ、ドウモ先刻來申シマシタ如ク、資本主義經營ニ墮シテ居ル、吾々ハ産業組合ヲシテ幾分デモ此資本主義經濟機構ト云フモノヲ是正サシテ行キタイト云フ考ヲ有ツテ居ルニモ拘ラズ、産業組合ハ其大ナル使命ヲ裏切ツテシマツテ、資本主義經營ニ墮シテ居ルト云フニ至ツテハ、私ハ其指導精神ガハツキリシテ居ナイ關係デハナイカト、斯様ニ思フノデアリマス

○山崎國務大臣先般來一二回丁度其種ノ問題ニ付テノ御話ガアリマシテ、御答申上ゲマシタヤウニ、産業組合ハ飽迄産業組合本來ノ使命ニ立脚致シマシテ、農村ノ隣保共助ノ精神ニ則リマシテ、飽マデ堅實ナ發達ヲ遂ゲテ、サウシテ農村ノ中樞機關タル本分ヲ全フスルヤウニ發達スルコトヲ冀ツテ居ル譯デアリマス、農村ニ於ケル金融ノ關係ノ如キハ最も大切ナ

ル問題デアリマシテ、之ニ付テ服部君ガ實際ニ即シタ種々ノ御心配ヲ御有チニナツテ居ルコトハ無理カラヌコト、思ヒマス、出來得ル限り左様ナ點ハ是正致シテ參リタイト云フ者ヲ私自身トシテモ懐イテ居ル譯デアリマス、ソレカラ購買組合ノ方ノ關係ニ付テノ色々ノ御疑念デアリマスルガ、此點ニ關シマシテモ先般河野君ノ質問デアリマシタカ、購買組合テ取扱ツタガ爲ニ却テ農村ノ、無用ト言ツテハ極端デアルカ知レマセヌガ、消費ヲ發達ナラシメルヤウナ様ノアルコトハ、是ハ極力私モ避ケルガ宜シイ、矢張是モ購買組合本來ノ使命ニ立ツテ、サウシテ其道ニ健全ナル發達ヲシテ行クヤウナ風ニ致シタ方ガ宜カラウ、斯ウ云フ考ヲ有ツテ居リマシテ、其點カラ致シマシテ現在ノ實情ヲ考ヘマスレバ、多少考慮ヲ加ヘナケレバナラス點モアルヤニ私モ感ジテ居ル譯デアリマス、尙ホ詳シイコトハ政府委員ヨリ申上ゲマス

○小平政府委員 御尋ノ信用組合ノ問題デアリマスガ、昭和九年六月末現在ノ資金ノ按排ヲ見マスト、大體貯金ガ十二億、貸出ガ十億デアリマシテ、約二億圓ダケ聯合會ニ入ツテ居リマス、其聯合會ハ更ニ其中ノ約一億圓足ラズノモノヲ、中央金庫ニ入レテ居ルノデアリマス、大體村ニ集ツタ金ハ村デ貸スト云フ指導方針ヲ採ツテ居ルノデアリマシテ、箇々ノ組合ニ於キマシテハ今御話ノヤウナ十萬圓貯金シテ、五萬圓ダケシカ貸シテ居ナイト云フコトハアリマスケレドモ、大體私共、ノ指導方針ト致シマシテハ、成タケ信用組合ノ本旨ニ適フヤウニ組合員ニ無擔保貸付ヲスルヤウニ努メテ居ル次第デアリマス、**更ニ農村ノ購買組合ニ付キマシテハ農村ノ農家ノ經濟ヲ害スルヤウナ、サウ云フヤリ方ハ是正シナケレバナラスノデアツテ、**常ニ農村經濟、農家經濟ヲ本位ニシテ指導致シテ居ル次第デアリマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○服部委員 購買ノ問題デアリマスルガ、私ハハツキリ或トル程度マデ限界ヲ御付ケニナツタ方ガ宜イノチヤナイカト思ヒマス、今日雜貨ノ如キ、飲食物ノ如キ物ハ、ソレハ組合員ノ消費部面トシテハ大キナ問題デアリマスケレドモ、實際ノ狀況ヲ見マスト云フト、必シモ産業組合ガ取扱ツテ居ル物ガ安イトハ言ヒ得ラレナイノデアリマス、今日ノ組合ハ剩餘金ヲ拵ヘルコトノミニ全力ヲ注イデ居リマス爲ニ、販賣ノ方面ニ向ツテモ相當ノ手數ヲ取り、又金利モ下ゲ得ラルベキモノ

ヲ剩餘金ノ爲ニ下ゲテ居ナイ、購買部面ニ於ケル所ノ物ニ對スル所ノ利益モ相當取ツテ居ルノデアアル、サウシテ私ガサウ云フ方面ヲ注意スルト云フト其剩餘金ハ大部分事業配當ノ方面ニ使ツテ居ル、成程事業配當ノ方ハ組合ヲ活用サセル上カラ、利用サセル上カラ此事業配當モ惡イトハ申シマセヌガ、ソレハ極メテ名目ダケノ事業配當ニ充テ、アトハ特別積立金ヲ多クシテ居ル、私ハ組合ノ配當ノ多キハ何トシテモ郵便貯金ノ利率ヲ最高限度ノ配當利率トシタ方ガ宜イト思フ、サウシテ積立ノ如キハ出來ルダケ小クサセテ、購買販賣ノ手数料ヲ少クシテヤル、現在産業組合ヲ利用致シテ居リマスル趨勢カラ見マスト云フト、ドノ程度ノモノガ一番利用シテ居ルカト言ヘバ、今日農村ノ一番苦シデ居ル中堅階級ノ者ガ割合ニ此組合ト云フモノヲ利用シテ居ル、所謂上ノ方ノ者ノ利用ハ極メテ少イ、又下ノ方ノ部面ニ於ケル所ノ者ノ利用モ割合ニ少イ、丁度其中間、農村ノ所謂中流程度ノ所ガ先ヅ一番ニ産業組合ヲ利用シテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウナ状態デアリマスルカラ、之ヲ剩餘金ヲ多クシテ、サウシテソレニ積立金ヲスルト云フニ至ツテハ、組合ノ堅實性カラ言ヘバ或ハ必シモ惡クハアリマセヌガ、現實ノ問題ト致シマシテハ私ハ左様ナ經營ノ方針ハ、要スルニ資本主義經營ニ墮シテ居ルヤウニ思ハレルト申上ゲルノハソコデアリマス、サウ云フ事ヲ出來ルダケ所謂是正シテ行ク使命ヲ有ツテ居ル組合デアルカラシテ、サウ云フ方面ニ指導精神ヲ置イテ、購買品ノ如キハ農家ノ必需品ニ限定シテ、石鹼ダト力紙ダト力、色々ナ有ユル所ノ雜貨ヲ店頭ニ竝ベテ居ルト云フニ至ツテハ、組合其モノモ實際ニ整理ニ困ツテ居ル状態デアリマス、デアルカラシテ私ハ此農村ノ産業組合ガ取扱フ購買品ト云フモノハ、農家ノ必需品ニ限定シテ手心ヲ十分ニ加ヘテ行クト云フコトヲシテ載キタイコトヲ此際切ニ希望シテ置キマス

更ニ全購聯ノ問題デアリマスガ、先刻申上ゲマシタヤウナ「キヤラメル」ナドヲ造リ、更ニ雜貨ノ方面ニ於テハ石鹼デアルトカ、色々ノ物ヲ造ツテ之ヲ賣ラセテ居ル、ソレガ果シテ安イカト言ヘバ、一般商人ノ販賣シテ居ルモノト較ベテ餘リ安クナイ、斯様ナ状態デアルカラ、先ヅ私ハ農村ノ産業組合ノ購買部面ニ於ケル或ル種ノ限定ヲスルナラバ、先ヅ此全

購聯ノ石鹼デアルトカ「キヤラメル」デアルトカ、斯様ナモノヲ造ラスコトヲ御廢メサセルコトガ私ハ適當デアルト思フ、而シテ前ニ誰カノ質問ガアリマシタガ、中央金庫ノ職員ダトカ、理事ノ俸給ノ問題、是ハ私ハ非常ナ非難ヲ聞イテ居ルノデアリマス、中央金庫ノ役員ガ一年ニ五六千圓ノ報酬ヲ貰ツテ居ルト云フヤウナコトモ聞イテ時ル、是ハ果シテ事實カドウカ分リマセヌガ、中央金庫ハ農村ノサウシタ小サナ預金ノ使ヒ殘シヲ、聯合會ヲ通ジテ持寄ツテ來タ利鞘ヲ以テヤツテ居ルノデアアル、又政府ノ出資、或ハ地方農村ノ産業組合ノ出資ニ依ツテ政府ノ補助ト共ニ經營シテ居ルノデアリマスガ、斯様ナ組合ノ理事ハ殆ド獻身ノ二奉仕ノ二働カナケレバナラヌト思フ、其理事ヲ見マスト云フト、長ク官吏ヲシテ居ツテ、辭メテ恩給ヲ取ツテ、サウシテ高イ俸給ヲ出シテ使ツテ居ル、全購聯、全販聯、中央金庫、或ハ帝國農會、斯ウシタ方面ノ者ハ恩給ハ十分ニ取ツテ、極メテ生活ハ安定シテ居ル、最早餘生ヲ國家ノ爲ニ奉仕ノ二働メテ私ハ宜イト思フノデアリマス、然ルニ中央金庫始メ、是等ノ理事ガ辭メル時ニハ、五萬、六萬、七萬ト云フヤウナ慰勞金ヲ貰ヒ、而シテ下級ノ吏員ハ僅ナ俸給ニ、不安ナ生活ヲ致シテ居ル、而モソレノ生ム所ノ利益ト云フモノハ、今日ノ乏窮極ニ居ル所ノ、農村ノ資金ヲ集メタ所ノ資金ニ依ツテ、斯様ナ俸給ヲ出シ、彼等ハ飯ヲ食ツテ居ルト云フヒトニナツテ居ル、農村トシテハ怨ミ骨髄ニ徹シテ居ルト云フヤウナ状態デアアルノデアリマス、此點ニ付キマシテ、私ハ非常ニ遺憾ニ考ヘテ居ルノデアリマスカラ、將來是等ヲ監督スル立場ニアル農林省ハ、特ニ注意ヲサレマシテ、今日農村ノ窮乏ニ居リマスル立場カラ、特ニ御考慮ガ願ヒタイト思フノデアリマス

更ニ進ンデ私ハ經濟更生ノ問題ニ付キマシテ、一言申上ゲテ置キタイト思ヒマス、今日各地方廳ガ、一年ニ十箇村或ハ二十箇村經濟更生町村ト云フモノヲ指定シテヤツテ居リマス、何ヲヤツテ居ルカ、先ヅ其村ノ人口ノ状態、生活ノ状態、或ハ土地其他ノ調査ヲシテ、立派ナ一ツノ調査ヲ爲シ、其調査ノ上ニ一ツノ計畫ヲ樹テ、居ルノデアリマス、其モノヲ立派ナ印刷物ニシ、製本ニシテ、ソレヲ組合員ニ配付致シテ居ル、縣ハソレ等ノモノヲ持寄ツテ、更ニ合本シテ印刷ニシテ

立派ナ本ニシテ居ル、之ヲ又府縣ノ有力者間ニ配付ヲ致シテ居ル、組合員ノ貰ツタ印刷物ハ棚ノ上ニ上ゲラレテ埃ガ溜ツテ居ル、有方者ニ來タモノハ、マダ封ガ切ラレヌデ、其儘ニ地ツテアル、唯計畫ダケ樹テ、居ル、サウシテソレガ極メテ形式的デアアル、精神的デナイ、尙ホ御宮様ノ前デ誓詞ノ祭ヲヤツテ見タリスルガ、ソレハ一ツノ形式ニナツテシマツテ、僅ニ一村百五十圓、二百圓ノ金ヲ貰ツテ、町村ハ之ニ對シテ、或ハサウ云フオ祭ノ時ニハ辨當ヲ差上ゲタリ、色々ナ經費ヲ使ツテ、三百圓モ、五百圓モ、或ハ六百圓モ金ヲ使ツテ居ル、果シテ是ガ私ハ實效ヲ奏スルヤ否ヤト云フコトハ、非常ニ疑問ニ思ツテ居ル、私ハ農村經濟更生其モノニ對シテハ、異議ヲ挟ムモノデハアリマセヌガ、之ヲ指導監督スル上ニ於キマシテ、最モ熱心ニ、最モ精神的ニヤラセナケレバナラヌト思フ、滋賀縣ガ明治四十二、三年頃ニ、農産十年計畫ト云フモノヲ樹テマシテ、有ユルモノヲ基礎トシテ、立派ナ調査ハ出來テ、完全ナモノニナツテ、サウシテ一年カ二年ヤツタガ、緒ニ就クカ就カナイ内ニ、最早其モノガ反故ニナツテシマツテ、何等ノ效ヲ奏サナカツタノデアリマスガ、ア、云フヤウナ大キナ仕事ヲスルコトハ、今日ノ農村ノ財政窮乏ノ際ニハ必要デアリマスカラ、ソレヲ徹底的ニ私ハヤラナケレバナラヌト思フ、之ニ付テハ相當ノ經費モ支出シタガ宜シト思フノデアアル、僅カ百圓カ百圓足ラズノ金ヲ町村ニヤツテ、是デ以テ町村ニ五倍モ六倍モノ金ヲ使ハシテ、十分ナル指導モ與ヘナカツタナラバ、結局經費ノ入レ倒レニナツテシマヒマス、實際私ハ府縣ノ經費更生ノ實情ヲ親シク見テ御話申上ゲルノデアリマス、此點ニ付テ若シ御意見ガアレバ伺ヒマスガ、私ハ農林當局ニ今日農村ノ現狀ニ鑑ミテ特ニ希望ト御忠告ヲ申上ゲテ置キマス

○小平政府委員 色々農村産業組合及經濟更生等ニ付キマシテ御注意ヲ載イタノデアリマスガ、購買組合ノ事業ノ制限問題ニ付キマシテ、色々御説ヲ拜聽致シマシテ洵ニ御尤ノ點ガアルヤウニ思フ、併シ之ヲ一律ニ種類ヲ決メルト云フコトハ非常ニ困難デアアル、例ヘバ同ジ農村購買組合デモ、非常ニ山ノ中デ、店ヘ行クノニハ數里ヲ要スルト云フコトニナリマスト、御客ニ必要ナオ菓子モヤハリ組合デ斡旋シナケレバナラヌノデ、ドウ云フ種類ヲ扱ツテ善イ惡イト云ツコトハ到底決

メラレナイノデアリマス、併シ農村、山村、漁村ノ經濟ニ無益トナルヤウナ購買事業ハ是ハ改メナケレバナラヌノデアリマシテ、農村ノ經濟更生ノ指導ニ當リマシテモ、農村、山村、漁村ト云フ色々ナ經濟組織ヲ考ヘル場合ニ、其點ハ十分考ヘサセテ居ルノデアリマス、農村ノ購買事業ト云フモノガ、農村ノ經濟、特ニ消費者ノ利益ニナラヌヤウナコトハドウシテモ止メナケレバナラヌト云フコトハ、過般經濟更生主任會議ニ於テモ決議サレテ居ルヤウナ譯デアリマス、御趣旨ニ副フヤウナ意味ニ於テ十分將來指導致シタイト思フノデアリマス、尙ホ經濟更生ノコトニ付キマシテ色々御注意ヲ載イタノデアリマスガ、出來得ルダケ計畫ノ實行ニ努力シテ居ルノデアリマシテ、地方ニ依リマシテハ餘程是ガ進ミマシテ、農家經濟ノ爲ニ效果ヲ現ハシテ來テ居ルヤウナ報告ヲ相當受ケテ居ルノデアリマス、此經濟更生ノヤリ方ハ相當ニ農家ノ經濟ノ收支ヲ均衡ニスルト云フコトガ目標デアリマシテ、其目標カラ觀マスレバ昭和七年、八年二箇年デ、赤字ヲ黒字ニシタト云フ農村ノ報告モ今相當受ケテ居リマス、何セ指導員モ足リナイヤウナ譯デ、隨テ計畫ガ必シモ全部實行出來タト云フコトハ申サレナイノデアリマスガ、今後出來ルダケ經濟更生ノ指導ヲ致シ、目的ヲ貫徹スルヤウニ努力致シタイト思ツテ居リマス、左様御承知願ヒマス

○服部委員 今農村ノ購買問題ニ付テ、極メテ交通不便ナ所ニ於テハ或ル種ノ雜貨、或ハ飲食物亦已ムヲ得ナイ、隨テ劃一的ナ限界ヲ設ケルコトハ出來ナイ、斯ウ云フ御答辯デアリマスガ、ソコガ一ツノ問題デアリマス、交通不便ナ土地ノ者ガ却テ購買部ヲ設ケテ、有ユル食料品、有ユル雜貨ヲ店頭ニ並べ、之ヲ賣ル目的デ組合ガ取扱フ以上ハ、矢張組合ニ之ヲ賣付ケヨウトスルノハ組合トシテハ已ムヲ得ナイ立場デアラウト思フ、サウ致シマス山間僻地デアルガ爲ニ抱辛出來得ルモノヲモ、其組合ニアルガ爲ニ之ヲ消費スルト云フ結果ニナリマス、農村ノ實情ヲ見マス、出來ルナラバ自分ノ家デ作ツタ炭、薪ナドノヤウナモノヲ町ニ持ツテ行ツテ、品物ト換ヘテ來ルト云フコトニ立還ラセタイト云フヤウナ希望ヲ有ツテ居ル一人デアリマス、隨テ先刻カラ申上ゲルコトモ却テ不便ノ農村デアルカラマ云ツテ、其購買部ニ對シテ有ユル雜

貨、有ニル食料品ヲ取扱ハスト云フ只今ノ政府委員ト私ハ反對ノ意見ヲ有ツテ居ル者デアリマス、不便ナ土地デアルカラ、組合ニ氣ノ毒ダカラト云ツテ別段私ハ左様ナモノヲ取扱ハセル必要ハナイ、自然ニ必要ナ物ガアレバ、組合ガナカツタナラバ自分ノ作ツタ所ノ薪ヤ炭ヲ持ツテ出テ、町デソレヲ換ヘテ來ルノデアリマスカラ、却テソレハ農民ノ消費方面ニ消極的ニ私ハ利益ガアルヤウニ思ヒマス、斯ウ云フ點ヲ私ハ細カク考ヘテ居リマスカラ、其點ハ特ニ政府ニ於テモ十分御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス、以上ヲ以テ私ノ質問ヲ終リマス (下略)

(前略)

○河野委員 次ニ肥料ノコトニ付テ御尋シタイノデアリマスガ、先般豫算總會ニ於キマシテ、商工大臣ヨリ甚ダ吾々ト致シマテハ遺憾ニ堪ヘナイ御答辯ガアツタノデアリマス、農林大臣ハ其後商工大臣ノ御答辯ノ速記録ヲ御讀ミニナリマシタカ、ソレトモアノ晩ノ商工大臣ノ御答辯ヲ果シテ妥當ナリト御考デアリマスカ、如何デアリマスカ

○山崎國務大臣 滿洲化學肥料ノ問題ニ付キマシテハ、先般豫算總會ニ於テ私カラ御答辯申上ゲマシタ通り、大體ニ於テ考ヘテ居ル譯デアリマシテ、ドウヤラアノ晩何カ少シ行違ガアツタトカ、ナカツタト云フコトデアリマシタカラ、念ノ爲ニ商工省ト、對滿事務局ノ責任者ト、農林省、三者ノ關係者ヲ協議ヲ致シタノデアリマスガ、三者トモ大體私ガアノ席上ニ於テ申上ゲマシタコトニ話ガ一致シテ居リマスカラ、御安心ヲ願ヒマス

○河野委員 私ハ何レ商工大臣ガ御見エニナリマシタ際ニ、改メテ商工大臣ノ根本觀念ヲ一ツ質シテ見ルコトニ致シマシテ、此點ハ農林省ニ關スル限り御答辯ヲ諒ト致シテ置キマス

次ニ昨日商工省ヨリ當分科ニ就安ノ各會社ノ生産費調ト云フモノガ御發表ニナツタノデ居リマスガ、アノ調ニ對シテ農林當局ハ如何ナル御所見ヲ御有チデアリマスカ、御尋致シタイト思ヒマス

○小濱政府委員 農林當局ト致シマシテハ、肥料ノ製造會社ノ一々ノ内容ニ付テ十分ニ分ツテ居リマセヌノデ、商工省カ

ラ發表サレマシタモノガ、各會社カラ出テ來マシタ數字ヲ其儘擧ゲテアルト云フコトデアリマシテ、之ニ付テ彼此レト内容ノ詮索ヲ致シマスダケノ材料ヲ持チマセヌノデ、何トモ申上ゲ兼ねマス

○河野委員 恐ラクサウ云フ御答辯ガアルドラウト思ヒマシタガ、私ハ強テ追窮ハ致シマセヌ、併シサウ云フ答ヂヤナイト思フ、農林省デモ會社ノ生産費ハ嘗テハ調べタコトガアル、肥料ノ問題ヲ農林省カラ、嘗テ田中内閣時代ニ肥料ニ關スル法案ヲ提案致シマシタ際デモ、其後ノ肥料ノ委員會ニ於テモ、是等ノ會社ノ生産費ヲ調べタコトガアル、其後ト雖モ恐ラク會社ノ内容ニ付テ御調ナシニ肥料政策ヲ、農林省ニ肥料課マデ設ケテヤツテ居ル苦ハナイト思フ、併シ是ハ所管ガ商工省デアルト致シマスナラバ、強テ追窮ハ致シマセヌガ、少クトモ就安ノ會社ノ製造費ガ、アレニモ書イテアリマス通り商工省ガ各會社カラ報告シタモノヲ其儘受入レテ出シテ居ルト云フノデアツテ、商工省ハアレヲ以テ妥當ナリト考ヘタ御發表デハナイノデアリマスガ、是ハ商工省ト農林省ト意見ガ對立スルト云フ問題デハナイ、唯農林當局トシテア、云フヤウニ會社ノ生産費ノ現狀ガ掛ツテ居ルドラウカドウカト云フ、其觀念ヲ承リタイ、若シ果シテアノ發表通り生産費ガ掛ツテ居ルモノナラ掛ツテ居ルヤウニ、肥料ノ問題ニ付テ吾々ハ大ニ考究シナケレバナラス、ト申シマスノハ、政府自ラガ製造ノ内容ニ立入ツテ、一方ニ於テ滿洲化學ノヤウニ、生産費ガ五十圓アレバ出來ル、サウ云フ目論見書ガ出來テ、ソレニ農林省ガ大體諒解ヲ與ヘテ、全購聯ニ投資サシテキル、斯ウ云フヤウニ内容ラハツキリ政府當局ガ内輪ニ入ツテ調べル會社ヲ有ツテオイデニナル、サウスルト一方ニ於テ生産費五十圓デ出來ル會社ガアルノニ、一方ハ七十圓八十圓モ掛ルト云フヤウナ報告ヲ出サレテ、現在ノ肥料ノ相場ガ九十圓、百圓ニナツテ居ル、併シ此相場ハソソナニ高イモノヂヤナイ、才前達百姓モ是ナラバ諦メロ、サウ云フ諦メサスヤウナ材料ヲ出スナラバ、ソシテソレガ本當ナラ吾々モ黙ツテ居リマスガ、吾々ノ調デハドウシテモ本當トハ思ヘナイ、先ヅ差當ツテ農林當局トシテ、果シテアレガ妥當ナル今日ノ生産費ト見ルコトガ出來ルカドウカ、會社ノ經營運用宜シキヲ得レバ更ニモツト下ゲルコトガ出來ルト思フガドウカ、是等ノ點ニ關

スル御所見ヲ承ツテ見タイ

○小濱政府委員 商工省カラ發表致シマシタ會社ノ、ドノ會社ガドレダケカハ分リマセヌ、現在硫酸ヲ製造シテ居リマス會社ニ付キマシテハ、生産費ノ高ク掛ツテ居ルモノモ安ク掛ツテ居ルモノモ色々アルト思ヒマスガ、出シマシタ其儘ノモノヲ發表シタト云フコトデアリマシテ、甲ノ會社ハ是ハ生産費ノ内容ガラカシイチヤナイカ、乙ノ會社ハドウデアルト云フヤウナコトハ能ク分リマセヌノデ、ソレハ言ヘナイ状態ニアルト私共考ヘテ居リマス

○河野委員 モウスウ云フ首閣試合ノヤウナコトヲモ仕様ガナイカラ質問ヲ進メマスガ、併シ是ダケノコトハ御注意願ヒタイ、私ハ是デ事務當局ヲ慮メテモ仕様ガナイカラ止メマスガ、今ノ御答辯デモ商工省ガ甲ノ會社乙ノ會社ト發表シタカラ、ソレハ其儘信用出來ヌト云フ風ニ仰シヤル、吾々ニ向ツテハ甲乙ト發表スルガ、農林省ト商工省トノ間ニ於テ甲乙ト話合ヲスル筈ハナイ、少クトモ農林省ノ農務局長ガ商工省ニ硫酸生産費ヲ調ヲ見セテ吳レト云ウテ行ツタナラバ、政府ト政府トノ其間ニ秘密ノアル筈ハナイ、ソレヲ若モ商工省ガ秘密ニシテ見セナイト云フノナラ大問題デス、少クトモ農林省ノ方ニ商工省ガ隠シ立テスル筈ハナイ、同時ニ農務當局モ其内容ヲ知ラズニ居ルト云ラヤウナ迂濶ナコトハナイ、類シナ迂濶ナコトハナイト思フカラ私ハ強テ責立テマセヌガ、サウ云フコトデハ困ル、十分農林省テ調ベタ所ト、商工省テ調ベタ所ト突合セテ、會社ノ經營ガドウ云フ風ニナツテ居ルカ、今日ノ硫酸ノ値段ハ善イカ悪イカト云フコトヲ十分研究サレナケレバナラヌ、若シ農林省ノヤウナ、生産者ノ側ニ立ツテ——農村ノ側ニ立ツテ、其利益ヲ擁護スル立場ニ立ツテ居ルモノガサウ云フ態度デアツテハ生産者ガ助カラナイ、農林省、又農務局長ハサウ云フコトデオイデナラズニ、モツト積極的ニ此問題ヲ扱ツテ貰ハナケレバ困ル、現ニ斯ウ云フ御調ガアルカドウカ知ラヌガ、是ハ昭和肥料自ラ發表シタモノデアリマス、恐ラク商工省ガ發表シタ生産費ノ調ノ中デ、一番安イノハ昭和肥料デアラウト思フ、是ハ社會ノ常識デス、昭和肥料ノ發表シタ中ニモ、是ハ私ノ持ツテ居ルノハ昭和肥料ノ發表シタヲシ其儘寫シテ來タノデアルカラ間違ハナ

イ、ソレガ既ニ頭隠シテ尻隠サズ、デ政府ノ方デ出シテ居ル物ト自分ガ社會ニ出シテ居ル物トハ違ツテ居ル、昭和肥料ガ自分デ出シテ居ル物ハ斯ウ云フ風ニナツテ居ル、石灰法ニ依ル硫酸ノ製造ハ原價ガ三十二圓四十三錢、水ノ電氣分解ニ依ル硫酸ハ四十一圓四十錢ニナツテ居ル、此内譯モ昭和肥料ノ出シタ「パンフレット」ノ中ニアル、一方ガ四十一圓四十錢デ、一方ガ三十二圓四十三錢ニナツテ居ル、之ニ一方ノ經營費デアルトカ、固定資本ノ銷却費デアルトカ、荷造費デアルトカト云フヤウナモノヲ加ヘテ、是ガ幾ラニナルカト云フコトハ、常識デ直グニ出テ來ルノデス、幾ラ隠シテモ出テ來ルノデス、ソレデアルカラ餘リニ商工省ノ出シタモノハ馬鹿々々シ過ギル、斯ウ云フコトハ無論農林省ノ方デモ御如才ナク御有合セニナリ御調ニナツテ居ルト思ヒマスガ、念ノ爲ニ特ニ申上ゲテ置キマスガ、今後肥料ヲ成ルベク農村ニ廉ク配給スル爲ニ御努力願ヒタイト云フ意味デ一言申上ゲテ置クノデアリマス

次ニ申上ゲタイノハ、本會ニ肥料ニ關スル法案ヲ御提案ニナリマスカドウカ云フコトヲ伺ツテ置キマス

○山崎國務大臣 其問題ハ商工省ト農林省ト所謂共管ノ問題ニナツテ居リマスガ、相當ノ程度マデ進行シテ居リマスカラ多分提案ガ出來ル運ビニナルデアラウト考ヘテ居リマス

○河野委員 是非肥料ニ關スル法案ヲ一時モ早ク御提案願ヒタイ、次ニ御尋シタイノハ、最近流行ノ配給組合ノ配給價格ト、別ニ此處數日來ノ硫酸ハ一應當リ儘カ百六七圓ニ暴騰シテ居ルト思フ、此暴騰ノ事實ニ對シテ何等ノ御對策ガアリマスカドウカ御尋致シマス

○小濱政府委員 最近硫酸ガ騰貴シテ配給組合ノ建値ト市場ノ値段ガ高マツテ居ルト云フ事實ニ付テ、農村ガ困窮シテ居ル此際ニ、肥料ノ値段ガ上ルコトニ付テ非常ニ吾々注意ヲ致スト同時ニ心配シテ居リマス、之ニ付テハ配給組合ノ方デ或ハ數量ガ多少不足スルト云フ市場ノ見込デ高クナツテ居ルノデハナイカ、サウスレバ配給組合ニ於テ外安ノ輸入ニ付テ手配致シマシテ、從來十萬圓ハ買濟ミデアリマスガ、更ニ五萬圓バカリヲ手配スルヤウニナツテ居リマス、更ニ其上ニ又五

万應バカリ輸入ヲシヨウト云フ風ニ話ガ進メラレテ居リマス、サウ云フ風ニ配給組合ハ成ルベク多量ニ外安ヲ入レルヤウニト云フ風ナ話ヲ、商工省ト相談致シマシテ、サウ云フ風ナ手配ヲ致シテ居ルヤウナ譯デアリマス

○河野委員 モウ商工省ノ方ノ質問ノ時間ニナリマスカラ、最後ニ一言ダケ申上ゲテ置キマス、昨年ノ議會ニ於ケル肥料ニ關スル速記録ヲ十分御熟讀ヲ願ヒタイ、私ガ申上ゲテ通りニナツテ居ル、私ガ肥料ノ今後ノ情勢ヲ見ル時ニ、肥料ハ供給不足ニナツテ値ガ上ルカラ配給組合ニ委シテ置イテハ駄目ダト言ツタ通りニナツテ居ル、今日ノ現狀ガ其通りデアル、其當時今ノ次官ノ長瀬君ハ何ト言ツテ答辯シタカト云フト、商工省ニ委シテ置ケバ宜イ、商工省ハ配給組合ガ責任ヲ有ツト云フカラ配給組合ノ協定値段以上ニハ上ラヌ、心配ハ要ラヌ、九十三圓デ配給致シマスカラ御心配アリマセスト言ツテ居ル、商工省ノ大臣モ政府委員モ舉ツテ口ヲ揃ヘテサウ言ツテ居ル、サウ云フ譯デアリマスカラ、此際農林省ガ積極的ニ商工省ニドンク言ツテヤツテ宜シイ、肥料價格ニ付テハ商工省ガ直接配給組合ト交渉ヲ有ツテ居ルノデアリマス、今日ノヤウナ趣當リ百七圓ト云フヤウナ相場ヲ百姓ガ黙ツテ見テ居ラレル筈ハナイ、之ヲ黙ツテ農林省ガ見通シテ置クコトガ怪シカラヌト思フ、議會ノ速記録ヲ見レバ分ルガ、商工當局ノ御言明ハ如何ニモ無責任ナル御言明デアツテ、今日ニ於テ最近ノ新聞ヲ見テモ何等御遣リニナツテ居ルト云フコトガ出テ居ラヌ、外安ニ向テ輸入ノ交渉ヲシテ居ルトカ、甚ダ手緩イコトダケデアル、私モ外安ニ付テハ知ツテ居リマスガ、外國ノ人ダツテソナ馬鹿チヤナイ、何モ日本ノ農民ニ安イ肥料ヲ賣ツテヤラナケレバナラヌ義理モ人情モ責任モアル譯チヤナイ、ドウセ商人ダカラ儲レバ儲ケルヤウニ、上レバ上ツタ所デ賣ツテ行クデセウ、ソレヲ御人好シノ人ガ——餘リ悪クモ言ヘマセヌガ、集ツテ外國ノ肥料ヲ持ツテ來ルカラナドト考ヘテ居ツテハ飛ンデモナイコトデアル、又此値段ハマダ上ルニ違ヒナイ、一體斯ウ云フヤウニ議會中ニ肥料ノ値ヲ上ルコトハ今年ガ初メデアル、大抵何時モハ肥料屋モ議會中ニ上ゲルト五月蠅イカラ、議會ガ濟ム迄上ゲハシナイ議會ノ濟ムマデ待ツノガ過去ノ實績デアル、ソレヲ吾々馬鹿ニシテ議會中ニ肥料ノ値上ヲゲルト云フコトハ、是ハ大體

代議士モ嘗メラレテ居ルガ、農林省ノ役人モ馬鹿ニサレテ居ルカラコンナニ値ガ上ルノデス、吾々モ此肥料ノ値ヲ下ゲル爲ニ努力致シマスカラ、ドウカ農林省ニ於テモ大臣始メ關係官ハ特別ニ此問題ニ對シテ十分ナル御配慮ヲ願ヒタイ、ドウアツテモ肥料二百圓以上ノ値段ガ有リ得ヤウ筈ガナイ、大體配給組合ノ野口進ナドガ宜クナイ、アア云フ大資本家ガ暴利ヲ食ツテ、内地ニ肥料ガ不足シテ居ルノニ、出來タ肥料ハ皆朝鮮ヘ遣ツテシマヒ、内地ニ不足ダカラト言ツテ外國カラ十萬圓持ツテ來テモ全部朝鮮ヘ持ツテ行ツテ、引受ケテ朝鮮デ賣ルト云フヤウナコトヲ聲明シテ居ル、ソレデアルノニソナナ人ノ好イヤウナコトヲ考ヘテ居ツテハトモ駄目ダ、彼等ノ方ガ數段上フ手ダカラ、農林當局ニ揮ヲ餘程縮メテカ、ツテ貰ハナケレバナラヌ、何レ私ハ商工當局ニ對シテモ十分實ス積リデアルカラ、農林省ノ問題ハ是デ打切りマス

○野中委員 今河野君ガ肥料ニ付テ質問サレマシタガ、寔ニ議會中ニ於テ此肥料ノ上ツタコトハ殆ドナイ、ソレガ今度上ツタ有力ナ理由トシテ斯ウ云フ風ナ噂ガアリマス、是ハ噂デナケレバ寔ニ結構デアルガ、噂デアルカドウカ農林當局トシテ御調査ヲ願ヒタイト思フ、ソレハ過般東北ノ冷害ニ鑑ミテ鐵道省ガ道貨ノ割引ヲ致シマシタ、其運賃ノ割引ヲシテ、産業組合或ハ商人關係ニ於テ適當ナ數量ヲ縣當局ノ認可證ヲ得タナラバ其賃金ハ割引ヲスルト云フ、五割引ノ規定ヲ致シマシタ、其際ニ、一寸申上ゲタ通り十二月一日ニ於テ農林當局ト商工當局トノ間ニ協定ガ出來テ、十二月一日ニ、例ヘバ幾ラ産業組合ガ肥料ニ對スル販賣ガ出來ルカ、商人モ幾ラカト云フヤウナコトヲ調査シヨウチヤナイカ、其調査ニ依ツテ鐵道運賃割引ヲシヨウト云フ協議ガアリマシタ、ソレガ十二月四日ニ商務局長ト農務局長トノ名前ニ依ツテ通知セラレベキ筈ノ所ガ、ドウ云フモノデアツタカ十二月一日ニ突如トシテ農林省ノ農務局長ト更生部長ノ名前ニ依ツテ出サレタト云フヤウナ話デ、其ノ爲ニ東北並ニ長野縣ノ産業組合ガ急遽活動ヲ開始シテ、自分カラ配給協定デナイ數量マデモ取ツテ來タ其假想的ナ數量ヲ要求シタ爲ニ實情ト合ハナカツタ、其爲ニ又一面ニ於テハ商人ノ方カラノ反響ニ遭ツタ結果トシテ、一月八日ノ協定ガ出來テ半々ニナツタ、而モ半々ニナツテハ居ルガ、實ハマダ産業組合トシテハ餘リ餘計ナ數量ヲ豫定シテハ

屠ツタ爲ニ、ソレガ三月末日迄ニ運賃ガ切レル爲ニ、急遽トシテ肥料出買動ニ出タ、ソレテ全購聯ニ於テハ中央ニ於テ買
 フコトハ其活動ガ餘リニ顯著デアルガ爲ニ、全購聯トシテノ硫安其他化學肥料ノ購買ハシナイ、而シテ縣聯ヲ通ジテ購買
 ノ手續ヲ執リツ、アリ、更ニ今度ハ有機肥料ニ對シマシテハ、全購聯ガ自身ニ於テ買出動ヲシタ爲ニ、一月ノ下旬カラハ
 例ヘバ硫安ニ於テモ一噸ニ付テ二十錢高クナツテ居ル、大豆粕ニ於テモ一枚ニ付テ十五錢高クナツテ居ル、過燐酸ニ於テ
 モ約三錢高クナツテ居ル、ソレカラ豊年豆粕デゴザイマスガ、豆粕ニ於キマシテモ二十錢高クナツテ居ル、或ハ石灰窒素
 ニ於テモ一袋五錢高クナツテキル、或ハ飼粕ニ於テモ千四百圓デアリマスルガ、百圓高クナツテ居ル、斯ウ云フヤウナ事
 實ニナツタノデアルト云フヤウナ世評ガアリマス、私ハ是ハ事實デアアルマイト思フ、アルマイト思フガ、斯ウ云フ風ナ
 事實ガアルノカドウカ能ク御調査ヲ願ヒタイ、若シ是ガ事實デアアルスルナラバ、斯ウ云フ風ナ建前ニ於テ、所謂假想買
 買ヲシテ値段ヲ引上ゲ、却テ農民ヲ苦メルガ如キ建前ヲ執ルコトハ、許スベカラザルコトデハナイカト考ヘルノデアリマ
 ス、宜シク農林省當局ニ於キマシテハ能ク御調査ノ上、若シソレガ御調査ニ相成ツテ居ルナラバ、サウ云フヤウナ行動ヲ
 執ル者ニハ、適正ナル意味ニ於テ御指導ヲ願ヒタイ、之ヲ御致シマス

○小濱政府委員 東北地方ノ鐵道ノ運賃ノ問題ニ附キマシテ、産業組合ガ必要以上ノ數量ニ付テ、縣カラ許可ヲ貰ツタト
 云フ御話デゴザイマスガ、ソレハサウチヤナイノデ、東北地方ノ凶作地ニ對シテ鐵道ノ運賃ヲ半減スルト云フ、而シテソ
 レヲ荷受ヲ致シマスルモノガ町村農會、産業組合等デアル場合ニハ、鐵道運賃ヲ半減スルト云フコトガ十二月ノ四日ニ出
 テ居リマス、隨テ産業組合、鐵道ノ運賃ガ半減セラレルト云フコトデ、色々ナ配給ノ計畫ヲ立テ、居リマシタ、サウシマ
 シタラバ、東北地方ノ商人ノ方面デ、産業組合デ取扱フモノノミニ付テ運賃ガ半減サレルコトハ宜シクナイ、東北地方ノ
 農民ニ肥料ヲ供給スルモノハ、商人ヲ通ジテ供給セラル、モノモアルノデアルカラ、商人ノ取扱フモノニ付テモ運賃ノ半
 減ヲシテ貰ヒタイト云フ話ガアリマシテ、ソレデ鐵道省ノ方ニ於キマシテ御考慮ニナツタ、鐵道省デ考慮ヲセラル、ニ當

ツテ、商人ノ取扱フモノニ付テモ、商人ガ配給組合ヲ作ツテ取扱フ場合ニ於テハ、鐵道運賃ヲ半減シヨウ、就テハ商人ガ
 思惑ヲスルヤウナコトガアツテハイカヌカラト云フノデ、商人ノ取扱ヲ認ムルト同時ニ、産業組合及農會、市町村及商人
 ノ取扱ヒマスル肥料全部ヲ通ジマシテ、數量ガ制限セラレマシタ譯デアリマス、ソレデ大體數量ノ制限ヲスル積リダカラ
 産業組合ノ監督官廳デアル農林省、ソレカラ商人ノ配給組合ヲ監督スル商工省ニ於カレテモ、雙方デ見越輸入ヲシナイヤ
 ウニ、能ク地方長官ニ通知ヲ出シテ呉レ、斯ウ云フ話デス、サウシテ鐵道運賃ノ減免ハ十二月一日カラヤル、併シ告示ハ
 十二月四日ニ出サウ、遡ツテ一日カラヤル、ダカラ地方廳ニ對スル通牒ハ、早クサウ云フ手配ヲシテ呉レト云フ話デゴザ
 イマシタ、隨テ商工省トノ間ニ打合セラ致シマシテ、サウシテソレノ通牒ヲ出サウト云フヤウナコトデ、三日ニ出サウト
 云フ話ヲシマシテ、吾々ノ方ハ三日ニ出シマシタガ、商工省ノ方ハ四日ニ出タヤウニ思ヒマス、ソレデ其際ニ全購聯、縣
 ノ聯會等ニ肥料ノ配給ノ計畫ト云フモノガアツタカラ、其計畫等ヲ參酌致シマシテ、凡ソ産業組合ノ手取扱ハレル肥料
 ノ數量ハ、是位アルダラウト云フコトヲ豫想致シマシテ、其事ヲ地方廳ニ吾々ノ方カラ同時ニ通知シ致シマシタ、サウシ
 タラ地方廳ノ方デ、ソレヲ多少誤解ヲシタト云フヤウナ點モアツタカト思ヒマス、デ産業組合ノ方デ、地方長官カラ許可
 ヲ受ケマシタ數量ガ相當多カツタノデゴザイマス、併シ商人ノ取扱數量ガ如何ニ少ナクトモ、先ヅ之ヲ大體半分々々ニシ
 ヤウト云フヤウナコトデ話ヲ致シマシテ、矢張産業組合ハ自發的ニ止メササウト云フコトニナリマシタノデ、何モ必要以
 上ニ持ツテ居ツカラ出シタト云フコトデハナイ、更ニ最近全購聯ガ肥料ヲ買ヒマシタノハ、東北地方ニ必要以上ノ肥料ヲ
 配給スルヤウニ手配ヲシタモノダカラ、ソレデ肥料ガ足ラナクナツテ、買出動ニ出タト云フ噂ニ付テハ、私共ノ是マデ承
 知シテ居ル所デハ、ソレハ全然サウ云フコトデハナイノデアリマス、ソレハ滿洲カラ出マス製品ノ出廻ガ少シ遅レマシタ
 ノデ、ソレテ手違ガ出来タト云フヤウニ思ツテ居リマス

○野中委員 此問題ハ實ハ私ハ書類ヲ持ツテ居リマス、持ツテ居リマスガ、争フベキ問題デアリマセヌカラ、是ハ前ニ言

ウタ通り、御調査ヲ願ツテ置キタイト貴ヒタイト云フコトニ止メテ置イタノデスガ、今ノ御答辯ダト、材料ヲ持出シテヤラナケレバナラス、例ヘバ十二月三日ニアタノ方デ發表シタト言ヒマスガ、實ハ新潟方面ニ於キマシテハ、十二月一日ニ受取ツテ居ルノモアリマス、ソレカラ産業組合ガ自發的ニ止メタト云フコトニ對シテハ、是モ書類ガアリマスケレドモ、サウ云フコトデ争ヒタクハナイ、結局肥料ガ安ク農民ニ配給サレ、便宜イデスカラ、サウ云フ風ナ仕組ニヤツテ貴ヒタイ、若シ誤ツテサウ云フコトニナツタナラバ、ソレヲ監督シテ貴ヒタイト、斯ウ云フ建前デ居ルノデスカラ、今ノヤウナ御答辯デハ満足致シマスケレドモ、書類ハ持ツテ居リマスケレドモ、ソレハ申上ゲマセヌ、其程度デ止メテ置キマス

○山本主査 明日ハ午前十時ヨリ開キマス、本日ハ是ニテ散會致シマス
午後四時三十分散會

會議

昭和十年二月九日(土曜日)午前十時三十分開議

○野中委員(前略)私ハ此前ノ豫算委員會ニ於キマシテ、町田商工大臣カラ懸篤ナル御意見ノ御發表ガアツタノデアリマス、次デソレニ關聯スルコトデアリマスガ、極メテ簡單ニ御質問シ、又御希望致シタイト考ヘマス、ソレハ豫算委員會ニ於キマシテ町田商工大臣ハ、中央金庫ガ出來レバ、組合ノ資金若クハ借入金ニ依ツテ、相當大キナ經濟行爲ヲ爲スコトガ出來マス、更ニ共同店舗ガ出來ルヤウナ解釋ヲ致シテ居リマスト云フ御言葉ガゴザイマシタ、洵ニ結構デゴザイマシテ、サウ云フ風ニ主務大臣ガ御意見ヲ有ツテ居リマスコトハ、商人ト致シマシテハ非常ニ心強イコトデアルト思ヒマス、ソコデ私ハ尙ホ突進ンデ御伺シ、否更ニ御願致スノデアリマス、ソレハ商業組合ノ經濟行爲トシテ、店舗ヲ許可ヲシテモ宜イト云フヤウナ御解釋ガ出來マスカドウカ、言葉ヲ換ヘテ言ヒマスナラバ、商業組合ニ依ツテ店舗ヲ造ル、其店舗ニ依ツテ商行爲ヲ行ヒ得ルカト云フコトデアリマス、御承知ノ如ク産業組合ト云フモノハ、法律ノ制限ニ依ツテ組合員以外ニ品物ヲ出スコトハ出來マセヌ、利用組合ハ別デスガ、利用組合ヲ除キマシテハ、組合員以外ニ之ヲ利用スルコトハ出來マセヌ、所ガ農村及都會ニハ産業組合ニ入り得ナイ人々ガ澤山居リマス、御承知ノ通り産業組合ハ一定ノ資金ヲ持出サナケレバナリマセヌカラ、其組合員ニナリマスノニハ、例ヘバ十圓ナリ、二十圓ナリ、五十圓ナリト云フ資金ガ必要デアリマス、斯ウ云フ各農村、或ハ都會ニ於キマシテハ、資金ノ關係上カラ産業組合ニ入レナイ人多イ、是ガ人數カラ言ハセルナラバ、組合員以上デアルコトハ、是ハ組合ノ現在ニ於ケル状態カラ見テモ分リマス、所デ斯ウ云フ風ナ工合ニ、産業組合ニ

入ツテ居リマスル人ハ、此組合ヲ利用シテ品物ガ安ク買ヘル、所ガ産業組合ニ入ラヌ人ハ、品物ガ安ク買ヘナイト云フコトハ、洵ニ私ハ不都合デアルト考ヘマス、此産業組合ニ入レナイ人モ、是モ日本ノ國民デアリマシテ、是ガ而モ國民ノ多數デアリマス、斯ウ云フ風ナ人ノ利益ヲ増進セシメル、生活ヲ向上セシメルト云フコトハ、國家ノ政策上洵ニ執ラナケレバナラス政策デハナイカト考ヘマス、ソレデアリマスルカラ、ドウシタラ斯ウ云フ風ナ人々ノ生活ヲ向上セシメルカ、是ニ於キマシテハ商業組合ガ積極的ナ經濟行爲ヲシテ、是等ノ人々ニ安價ナ品物ヲ賣ルト云ウヤウナ方策ヲ執ルノガ最モ適當ニシテ、條理ニ合ツテ居ルテハナイカト考ヘルノデアリマス、ソレデアリマスルカラ、ドウカ積極的ニ日本國民ノ生活ノ向上ニ對シテ努力ヲセラレテ居リマスル町田商工大臣、人モソレヲ認メテ居リマスルカラ、サウ云フ風ナ積極的ナ商工大臣ノ手ニ依ツテ、斯ウ云フ不合理ナル情勢ヲ幾分ナリトモ改良スルコトガ出來レバ、日本ノ國民ト致シマシテハ洵ニ此上ナイ仕合ダト考ヘマス、此意味合ニ於キマシテ、商工大臣ノ折角ノ御努力ヲ希望シ、御意見ヲ伺ヒタイト考ヘマス

○町田國務大臣 今御質問ノ趣意ヲ承ツテ見ルト、至極御尤ナヤウニ感ジマス、唯組合ノ免稅其他特權ノ關係ト、共同店舗ヲ置クト云フコトノ法律上ノ解釋ニ付マシテ、一寸私ハマダ研究シテ居リマセヌカラ、商務局長カラ其點ヲ申上ゲマス

○村瀬政府委員 ソレデハ共同店舗ノ問題ダケ御答ヲ致シマスガ、或ハ野中サンガ十分御満足ニナルカドウカ、心配致シマスルガ、御答致シマス、共同店舗ニ付キマシテハ、商業組合ノ組合員ガ各別二店ヲ持チマスル代リニ、一ツノ設備デ販賣ヲスル、即チモウ少シ正確ニ申シマスレバ、一ツノ店ヲ設ケマシテ、併ナガラ一ツノ建物ノ中デ、各組合員ガ別々ノ計算デ以テ販賣ヲスルト云フコトハ、是ハ出來マスルシ、又現ニ鳥栖ノ商業組合デアリマスルトカ、千葉縣ノ那古ノ商業組合等ニ於テ、現ニ實行致シテ居リマス、唯ソレヨリモ進ミマシテ、共同店舗ガ各組合員ノ全然一ツノ共同ノ計算デ、即チ共同店舗自身ガ一ツノ店ノヤウニ致シマシテ販賣ヲスルト云フコトハ、現在ノ商業組合ノ解釋上、ソコマデ參リマスルノ

ガ適當デアアルカドウカト云フコトニ付テハ、尙ホ考究ヲ要スル點カト思ヒマス、即チ商業組合ト申シマスルモノハ、各商業組合員ノ營業上ノ共同施設ト云フコトヲ目的ト致シマスルカラ、各組合員ノ營業ト云フモノ、其獨立ヲ前提ト致シテ居リマスル次第デアリマス、隨テ各組合員ガ營業ヲ止メマシテ、サウシテ一ツノ商業組合ノ共同營業ト云ウヤウナ形ニ致シマスルコトハ、現在ノ商業組合法ノ建前カラ出來ルカドウカト云ウコトニ付テハ、尙ホ考究ヲ致サナケレバナライ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○野中委員 只今ノ政府委員ノ御意見ハ諒ト致シマスルガ、今言フ通り組合ニ入レナイ人ガ澤山居ルノデアリマスカラ、ソレガ國民ノ多數デアリマスルカラ、ドウカサウ云フ意味合ニ於テ、御解釋ガ出來ルナラバ御解釋シテ戴キタイ、更ニ進ンデソレガ出來ナイナラバ、商業組合法ノ改正マデモナサイマシテ、サウシテ一ツノ多數ノ國民ノ生活向上ノ爲ニ御盡力シテ戴キタイ、此希望ヲ述ベマシテ、私ノ質問ヲ打切りマス (午後零時三十五分休憩)

(前略)

○河野主査代理 中君、二分許シマス

○中委員 二分掛リマセヌ、一分デ済ミマス、農林大臣ニ一ツ伺ヒマス、去ル十日ノ豫算ニ於テ私ヨリ今度政府ガ御提案ニナラントシテ居ル米穀自治の管理案ニ對シテ、米穀關係業者ガ反對ヲ致シテ居リマスル實情ヲ申述ベテ、農林大臣ノ御意見ヲ伺ツタノデアリマスガ、當時農林大臣ハ決シテ米穀業者ニ對シテ何等ノ打撃ヲ與ヘルモノデハナイ、唯單ニ誤解デアール、米穀業者ノ誤解ニ基クモノデアルト云フコトデアツタノデアリマス、所ガ昨日モ御承知ノヤウニ、北海道ナリ九州ノ果カラ、何萬ト云フ米穀關係者ガ國技館ニ集ツテ決議ヲシテ居ルコトハ、農林大臣御承知ノ通りデアリマス、是等ノ點ヲ私ノ常識デ考ヘルト、ドウ考ヘマシテモ、彼等ガ今日ノ始終不景氣ト戰ツテ、相當今日ハ何レノ商人モ不況ニ陥ツテ居ルノデアリマス、其中ヲ商賣ヲ休ンデ、澤山ノ費用ヲ使ツテ、アレ程ノ運動ヲシテ居ルノヨ、唯單ニ誤解ナリト一言ニ葬ル

譯ニハ參ラヌト思ウノデアリマス、重ネテ農林大臣ニ御伺スルト云フヨリハ、寧ロ御願スルト云フ言葉ガ適當ト思ヒマス、農林大臣ガ御考ニナツテ居リマスルヤウニ、唯單ニ誤解デアルト云フナラ、誤解ガ解ケレバソレデ結構デアリマスガ、政府トシテハ是等ノ關係者ノ誤解ヲ解クトコニモウ少シ御努メニナリマシテ、サウシテ成ベク誤解ヲ解イタ後ニ御提案ニナルト云フ方ガ、私ハ國家ノ上カラ見テモ洵ニ結構ナコトデハナイカ、此儘誤解ヲ誤解トシテ捨置イテ、政府ガ力デ押切ル——地方ノ警察デハ米穀商ノ上京ヲ阻止シテ、色々人ノ數ヲ減スヤウニ努メテ居ルサウデアリマス、惡ク言ヘバ壓迫デアリマスガ、斯ウ云フ風ナ政府ノ力ノミデハ治マルモノデハナイ、今少シク政府ハ此誤解ヲ解クトニ努メラレタ上デ、提案サレタ方宜イト思ヒマス、之ニ對スル農林大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○山崎國務大臣 案ノ趣旨ノ諒解ノ出來ルヤウニハ、出來得ルダケ手ヲ盡シテ居リマス、同時ニ法案ノ提出ヲ只今起ツテ居リマス現象ノ爲ニ見合ストカ、躊躇スルトカ云ウヤウナ譯ニハ參リマセヌカラ、惡シカラズ御諒承ヲ願ヒマス

○河野主査代理 野中君

○野中委員 農産物ノ販賣統制ノ問題ニ付テ、政府ノ御意向ヲ承リタイト思ヒマス、實ハ此問題ニ關シマシテハ十分検討シテ吾々ノ意ノアル所ヲ申上ゲ、又政府ノ所見ヲ質問致シマシテ、御互ニ過ナク進ンデ行キタイト云フ氣持ヲ持ツテ居ツタノデアリマスガ、時間ノ都合ガアリマスカラ、其検討ヲスル餘裕ガアリマセヌ、仍テ簡單ニ御質問申上ゲマス、實ハ此農林省豫算ノ第二款第四項第十二目ニ農産物販賣統制施設助成金二十萬一千八百三十圓、小麥貯藏倉庫建設獎勵ニ關スル交付金ト致シマシテ十萬二千四百圓、斯ウ云フ金額ガ盛ラレテ居リマスガ、是ハ如何ナル團體ニ交付セラル、ノデアリマスカ、如何ナル方法ニ依テ助成セラル、ノデアリマスカ、聞ク所ニ依リマスレバ、此案ガ出マシタコトニ對シマシテ、産業組合ガ一月八日ニ反對ノ決議ヲシテ、全販聯ヲ利用シテ吳レト云フヤウナ意見ヲ言ヒ、次デ一月九日ニ農會ガ主トシテ同ジヤウナ意味デ農會ヲ利用シテ吳レト云フヤウナコトヲ申出タ爲ニ、政府トシテハ新シイ施設ニ依ツテ、之ヲヤリタ

イト云フ御計畫デアリマシタノヲ、俄ニ中止セラレマシテ、産業組合ニ對シテ八萬圓、農會ニ對シテ十數萬圓ト云フ金ヲ分ケテ、結局兩方ノ販賣機關ニ分取リニナツタト云フヤウナ噂ガアリマス、果シテソレガ事實デアリマスルカドウカ、若シソレガ事實デアルトスルナラバ、是ハ寧ロ産業組合ニ幾ラカノ補助金ヲ與ヘル、農會ニ對シテ幾ラカノ補助金ヲ與ヘルト明示セラレルノガ宜シイデハナイカ、今迄モ助成金ノ例ハ澤山アリマスルカラ、其例ニ倣ツテ助成スル費用ヲ明ニサレル方ガ適當デハナイカト考ヘルノデアリマス

更ニモウ一ツハ現在ノ農會ガ、町村農會デ非常ナ疲弊ヲシテ居ル農會ガアリマス、農會ノ目的ト云フモノハ相當廣汎デアリマスルシ、農會ノ活躍ト云フモノモ私共ハ可ナリ見ルベキ點ガアルト考ヘルノデアリマス、然ルニ例ヘバ山形縣デアリマストカ、其他ノ方面ニ於キマシテハ、サウ云フ風ナ工合ニ農會ガ非常ニ衰ヘテ居ル所ガアリマスルガ、之ニ對シニ政府ハドウ云フ考ヲ有ツテ居リマスカ

更ニ町村ニ於キマシテハ、販賣機關ガアリ、購買機關ガアリ、色々組合ガアリマス、之ヲ如何ニ統制スベキカト云フコトハ、農業政策トシテ可ナリ重大ナモノダト考ヘテ居リマス、之ニ對シテ政府ハ、此組合ヲドウ云フ風ナ工合ニ御統制ナサル御意思ガアルノデアルカ、詰リ此組合ニ對シテ多大ナ出資金ヲシ、或ハ分擔金ヲ出サナケレバナライ、其分擔金出資金ト云フノガ、農村經濟ニ對シマシテハ、可ナリ重大ナモノデアリマスカラ、此三十六モ一箇村ニ組合ノアルト云フヤウナモノヲ統制ヲシテ、サウシテ廢スベキモノハ廢シ、削除スベキモノハ削除致シテ、サウシテ眞箇ノ正シキ所ノ機關ヲ作ラレルノガ適當デハナイカト考ヘマス、此點ニ對シテ農林大臣ノ御意見ヲ伺ヒマシテ、何レ私ノ意見ハ折ガアリマシタ時ニ申上ゲマスガ、取敢ヘズ御質問ダケ致シマシテ、質問ヲ打切りマス

○山崎國務大臣 農産物販賣統制ノコトハ此間カラ度々御質問ガマシタガ、是ハハツキリ申上ゲテ置キマス、事務官ノ間ニ色々ナ準備ヲ致シテ居リマス際ニハ、種々ノ案ガ出タノハ事實デアリマス、併ナガラ私ガ最後ニ決定ヲ致スベキモノ

デアリマスカラ、私ハ私ノ考ニ依ツテ決定シタノデゴザイマシテ、サウシテ其方針ニ基イテ豫算ノ提案ヲ致シタ、斯様ニ御承知ヲ願ヒマス、ソレカラ豫算ノ計上ノヤリ方デアリマスルガ、是ハマア豫算技術ノコトデアリマシテ、アナタノ仰ツシヤルヤウナ風ニ致シマスノモ一ツノ方法デアリマセウシ、今出テ居ルヤウニ致シマスノモ一ツノ方法デアラウカト思ヒマス、ソレカラ農會ノ非常ニ貧弱ナモノガアルガト云フコトデアリマスガ、マア農會ニ付キマシテハ、指導員ノコトナドニ付テ、マア輕少ナガラ國デ幾ラカノ助成ヲシテ居リマスガ、ト申シマシテモ一々農會ノ困ツテ居ルモノニ政府ノ方カラ直接金ヲ出シテ、直接ドウ斯ウト云フ譯ニモ參リ兼ネルノデアリマシテ、ソコハマア一ツ監督其他ノ方法ニ依ツテヤリタイト思ヒマス、ソレカラ組合ガ非常ニ多イト云フコトハ、農村ノ負擔ノ關係モアルコトデ、其趣意ハ私モ諒ト致シマス、唯奈何セン、實情ニ即シテ色々譯デアリマスノデ、之ヲ省略出來ルモノハ省略スルノガ宜シカラウト思ヒマスガ、サリトテ直チニ之ヲ統一シテシマウト云フヤウナコトニハ中々行カヌダラウト思ヒマス、何レ詳シイコトハ他日ノ機會ヲ以テ御答致スコトニ致シマス (午後三時十分散會)

第六十七回帝國議會
衆議院

昭和十年年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行

ニ關スル法律案外一件委員會議錄(速記)第九回

會議

昭和十年二月十五日(金曜日)午前十時四十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 岡田 忠彦君

理事松村 光三君 理事上田 孝吉君 理事岡田喜久治君

田邊 七六君 廣瀬 爲久君 堀川 美哉君 大口 喜六君 太田 正孝君 鷺野米太郎君 大山斐瑛麿君

森田 福市君 綾部健太郎君 金光 庸夫君 山本 厚三君 後藤 亮一君 矢野庄太郎君 中島彌團次君

龜井貫一郎君

同日鷺野米太郎君理事辭任ニ付其ノ補闕トシテ上田孝吉君理事ニ當選セリ

(前略)

○大山委員 宜シウゴザイマス、先ヅ商工大臣ダケニ御同致シマス、商工大臣ハ、豫算總會デアリマシタカ、何處デアリマシタカ、吾々同僚ノ質問ニ對シテ、中小工業者ノ爲ニ、商業組合ヲ基礎トシテ、商工中央金庫ト云フモノヲ創設ニナル、其御考ヲ御有チニナツテ居ル、斯ウ云フコトガ發表サレテ居ツタノデアリマスルガ、ソレニ對スル商工大臣ノ御意見ヲ、此機會ニ確メテ置キタイト思ヒマス。

○町田國務大臣 御答致シマス、本會議デアツタラウト思ヒマス、或ハ豫算總會デモ申述ベタト思ヒマスガ、マダ商業組合、工業組合ノ中央金庫ノ組織内容マデハ、ハツキリシタ具體案ガ出來テ居マセヌガ、大體ノ考方ハ其席デモ申シマシタ通り、私ノ今日考ヘテ居ルノハ、五ツノ方面カラ中小商工業ノ窮狀ヲ救ヒ、且ツ其發達ヲ促スコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、一ツハ一般普通銀行ガ、モツト中小商工業ノ方ニ活躍スルコトモ其一ツデアアル、是ハ丁度其後デアリマシタガ、大藏大臣モ此總會ノ席ニ於テ、今ノ普通銀行ガ餘リ自己防衛ニバカリ片寄り過ギテ居ルト云フコトヲ此處デ述ベラレテ居ツタヤウデアリマスガ、丁度私ノ考方ト一致シテ居リマス、是ハ是非一般普通銀行ガ、モツト中小商工業ノ方面ニ向ツテ、進ンデ働クコトヲ希望シテ居リマス、ソレニハ矢張小賣商業ヲ中心トシタ多數ノ人ガ、矢張其經營ト組織ヲ改善シテ、是ナラバ一般銀行モ信用ヲ與ヘルコトガ出來ルゾト云フ風ニ、雙方カラ歩ミ寄ツテ行キマスレバ、相當大キナ働ガ一般銀行ニ望ミ得ラル、ト思ヒマス、餘計ナ話カ知りマセヌガ、少シ長クナリマスガ、東京ニハ十三萬以上ノ小賣商ガ居リマス、之ニ對シテ普通銀行ガ働イテ居ル部分ガ——東京市ノ多年ノ調査ニ依ツテ出來タモノニ依リマス、一割五分ヨリナイサウデアリマス、是デハドウモ中小商工業モ洵ニ困ルト思ヒマス、ソレデ中小商工業、殊ニ小賣商ニ於テモ、自ラ改善セナケレバナラヌ所ニ向ツテハ、今商工省デ小賣商改善委員會デ精々ヤツテ居マス、是ト相對シテ一般銀行ニモ進ンデ貰ハナケレバナラヌ、丁度此席ニ東京商工會議所ノ副會頭モ委員トシテ御出デ、アリマスカラ、是ハ豫テ御話合モシテ居リマスガ、兩々相進ンデ行キマスレバ、相當ナコトガ出來ルト思ヒマス、一般銀行、興業銀行、無盡、ソレカラ大口サンガ鞆シテ下サツタ公設質屋、是ト同時ニ中央金庫ハ行カナケレバイカスト思ヒマス、率直ニ先刻モ申上ゲマシタガ、私ハ商工省ニ入りマシタ時ハ、中央金庫ヲ作ルノハマダ少シ早イト云フ考ヲ有ツテ居ツタ、産業組合ハ二十年以上過ギテカラ、中央金庫ガ初メテ出來タ、商業組合、工業組合ハ全國デマダ雙方合セテ千幾ツ位ヨリナイ、モツト進ンダ後ニ中央金庫ガ必要ダト云フ考ハ初メ有ツテ居リマシタ、併シ今日ノ實情カラ見マスレバ、此中央金庫ヲ作ツテ置イテ、之ヲ目標トシテ商

業組合、工業組合ノ發達ヲ促スト云フ意味ニ於テモ中央金庫ガ必要ダ、斯様ナ確信ヲ有ツタノデアリマス、併シ是ハ此席デモ申シタ通り、大藏當局ガ主ナル關係廳デアリマシテ、此方トハ正式ノ話ハマダ致シテ居リマセヌノデアリマスガ、次ノ通常議會ニハ必ズ之ヲ出シタイト云フ確信ヲ有ツテ今努力中デアリマス。

○大山委員 元銀行ノ業務ニモ深い御造詣ヲ御有チニナツテ居ル現商工大臣ガ、實情ニ即シテ御立テニナル御案デアリマスカラ、改メテ私共ガ註文申上ゲル必要ハナイト思ヒマスルケレドモ、併シ折角御考ニナツテ居ル事柄ニ付キマシテ、老婆心ト申シマスルカ何ト申シマスルカ、釋迦ニ說法ノヤウナコトデアリマスケレドモ、御注意旁々希望ヲ申上ゲテ置キタイト思フ、商工中央金庫ノコトニ付キマシテハ、今更申上ゲルマデモナク、前中島商工大臣ガ御就任ノ際ニ此問題ヲ御考ニナツテ、其時ニ私共ハ商業組合、工業組合、輸出組合——勿論工業組合、輸出組合ハ出來テ居リマシタガ、商業組合ガ出來テ居ナイ、ソレデ此中小商工業者ニ關スル問題ト致シマシテハ色々アリマセウガ、問題ハ商業組合ヲ拵ヘルト云フコトモ一ツデアリマスガ、商業組合ヲ拵ヘル必要ハ所謂中小商工業者ニ對スル金融ヲ滑カニスルト云フコト、内部ノ統制ヲシテ行クト云フコト、此二ツ、ソコデ折角商業組合ヲ御設ケニナツテモ、組合法案ヲ御設ケニナツテモ、金融方面ニ肝腎ナ中央金庫ト云フモノガ出來ナケレバ、商業組合創設ノ制度ヲ御始メニナル半分以上ノ理由ト云フモノハ失ハレル譯デアアル、其際商業組合ノ法案ノ時ニモ喧シク申上ゲタノデアリマスガ、不幸ニ致シマシテ、其時分ニハ高橋大藏大臣ガ之ニ御同意ガナカツタ、ソレデ已ムヲ得ズ商業組合ダケガ其當時議會ヲ通過シテ、出來上ツタ譯デアリマス、併シ是ハ當時私ガ委員トシテ申上ゲタ通り、恰モ水源地ヲ作ラズシテ、水道ノ「キヤナル」ダケヲ御著ケニナツタヤウナノデ、何等目的ハ達セラレナイト云フコトヲ申上ゲタノデアリマスガ、今東京ノ例ヲ舉ゲテ商工大臣ハ御話ニナツテ居リマスガ、吾々モ中小商工金融ト云フコトニ付テハ相當努力モ致シマシタ、實際東京方面ノ甲種銀行、乙種銀行、兩方ノ當局者ヲ呼ンデ色々話モシマシタ、現在各銀行ノ窓口ニ小口金融ノ途ハ大體ニ於テ付イテ居リマス、併シ是ガ應用ガ出來ナイノハド

ウ云フコトデアラウ、斯ウ考ヘマスル時ニ、研究ヲ致シテ参リマスルト、結局損失補償ノ問題ニ歸スル、中小商工業者ト申シマシテモ、殆ド小賣商人デアリマス、是等ニ付キマシテハ勿出サレタ、信用ノ乏シイ、資力ノ最モ薄弱ナ者ヲ相手デアリマスカラ、ドウシテモ損失ノ危険ト云フモノハ非常ニ多クナル、之ニ對シテ實際カラ申シマス、其ノ割程度ノモノデモ補償ノ途ガアリマスレバ、取引ハ容易ニ行ハレルシ、又窓口デ小口ノ金融ヲ付ケタモノガ、實際ニ於テ非常ナ損ヲ銀行ニ掛ケルト云フヤウナコトハ實際ニハナイノデアアル、却テ小口ノモノハ安全ナモノナンデアリマスケレドモ、何セヨ銀行業者モ株主ニ對シテ相當ノ責任ガアルコトデアリマスカラ、成ベクサウ云フ危険ナモノハ避ケルト言ツタヤウナコトニナル、ソコデ損失補償ノ伴ハナイモノデアツテハ、如何ニ努力サレマシテモ其結果ヲ舉ゲルコトガ出來ヌ、其當時モヤカマシク申シマシタノデアリマスガ、政府ガ低資融通ヲ爲サル、低利資金ヲ御出シニナツテモソレガ吸收サレナイ、完全ニ商工業者ノ所ヘ流レテ行カナイト云フノハ、大部分ソコニ原因ガアルト思フノデアリマス、金ハ借リタクテ、興業銀行ノ中小商工金融ニ融通資金ヲ仰ギタイト言ツテ、興業銀行ヘ三千人モ押掛ケテ行ツテ、商談ニナツタノハ、僅ニ一件カニ件デアツタト云フヤウナ事例ガアル、ソコデ此御如才ハ無論ナイコトデアリマスガ、國家ノ損失補償ノ伴フ制度ノ、中央金庫ヲ一ツ是非御考ヲ願ヒタイ、而シテ此點ニ付キマシテハ大藏大臣ハマダ御話合ニナツテ居ナイト云フコトデアリマスガ、私共ノ最モ憂フル所ハ、現大藏大臣ノ頭ガ此問題ニ付テマダ御了得ガ出來テ居ナイト思ヒマス、其點ニ付テ憂ヲ抱ク譯デアリマスルガ、現商工大臣ハ大藏大臣トモ能ク御打合せ下サイマシテ、大藏省ニ此商工省所管ノ中央金庫創設ト云フコトニ向ツテノ暗礁ガアリマスカラ、是ハ從來度々此點ニ引掛ツテ、歴代ノ大臣ガ惱マサレテ居ルノデアリマスカラ、先ヅ商工大臣ト大藏大臣ガ最モ御近イ仲デモアルノデアリマスカラ、希クハ商工大臣ヲ通シテ大藏大臣ノ中小商工金融ニ對スル將來ノ御方針ニ付テ十分ナル御諒解ヲ與ヘラレマスルヤウ、サウシテ中央商工金庫ノ一日モ早ク實現致シマスルヤウ御努力ヲ御願致シテ置キタイト思フノデアリマス。

ソレカラモウツ御同致シタイノハ、前中島商工大臣ハ非常ニ産業ノ合理化統制ト云フヤウナコトニ向ツテ御努力ニナリマシタ、結構ナコトデアリマスルガ、其跡ヲ見マスルト云フト、最初ノ御趣意トモ違ツテ居ルト申ス程デモアリマセヌガ、結果ニ於テハマダ十分ノ働キヲシ得ナイノデアリマスカドウデスカ、少シ最初ノ御説明ト違ウ所ガアル、極ク小サイ所カラ申シマスルナラバ、商業組合ノ統制ト云フコトニ付テ、是ハ其當時ヨリ私ハ申上ゲテ置イタノデアリマスルガ、不幸ニシテ私ノ憂慮致シマシタ點ガ、今實際ニ於テ現レテ居ル、ソレハ價格ノ統制協定、詰リ組合ノ協定價格ト云フモノヲ飽迄モ維持シ得ラレマスルヤウニ十分ナル統制力ヲソコニ認メテ載ク、ソレカラソレノ結果ト致シマシテハ、組合ソレ自身ニ吾々ハ強制加盟ヲ認メルノガ宜イト思ヒマスルケレドモ、今ノ商業組合ノ建前ハ、自由加盟ノ組織ニナツテ居リマス、併シ自由加盟ノ組織ニナツテ居ルケレドモ、商工省ハ命令一本デ以テ、其地方ノ統制ト云フコトハ付クコトニナツテ居ルノデアリマスカラ、之ヲ十分活用シテ戴イテ、サウシテ忌ハシイ反産運動ナドノ起ラナイヤウニ、能ク地方ノ信用組合等トノ協調ノ得ラレマスルヤウ、各地方ノ商業組合ニ對シテ十分ナル御助力ヲ御願シタイト思フノデアリマス、折角商業組合ヲ御作りニナツテモ、二十年三十年ノ長イ年所ヲ經テ、サウシテ又十分ナル各方面ノ援助協力ヲ得テ居リマスル所ノ産業組合、是等ト今ノ創設ノ仕立テノマダ何等基礎ノ出來テ居ラヌ商業組合ト、對等ニ歩カセルト云フコトハ是ハ無理ナ話デアアル、今ノ商工大臣ハ幸ニ其邊ニ理解ノ深イ方デアリマスカラ、産業組合ニ與ヘルト同一ノ、寧ロソレノ以上保護ヲ商業組合ニ御與ヘ下サラヌト、是ハ同一ニ歩イテ行カレナイ、ドウカ此點ニ付テ十分ナル御努力ヲ煩シタイト思フノデアリマス、尙ホ大キイ所ニ付テノ統制ニ付テハ、是ハ又少シク議論ガアリマス、製鐵合同ヲ爲スツタノハ宜イケレドモ、鉄鐵鐵種ヲ今儘ヘテ居ルヤウナ情勢デアリマス、是ハ色々事情ハアリマセウ、アリマセウケレドモ、ソレデハ吾々ガ製鐵事業合同ニ賛成ヲシタ趣意ハ達セラレテ居ラヌ、又麥酒ノ統制マデニモ及ンデ行キマシタ、及ンデ行キマシタガ、内幕ハ吾々モ能ク承知致シテ居リマセヌガ、獨リ中島商工大臣ニノミダケ責任ヲ負ハスル譯ニハイカヌヤウナ事情ニナツテ

居リマスケレドモ、世間カラ見マス、商工省ガ麥酒界ノ競争ヲ阻止サシテサウシテ、協定ヲサセル、之ヲ統制シテ行ツ
 タノハ宜シイ、宜シイガ、其結果統制ニ依ツテ消費者ガ得タモノハ何デアアルカト言ヘバ、麥酒代ノ値上、斯ウ云フコトニ
 ナツテ居ル、消費者ノ方ニハ何等統制ニ依ツテ便利ハ得テ居ラス、斯ウ云フコトニナツテ居ル、麥酒ノ粗製濫造デアツタ
 モノガ、良イ麥酒ニナツタト云フコトモナイ、今マデ良イ製品ガ日本デハ出來テ居ツタ、サウ云フコトヲ聞キマス、私ハ
 麥酒ノ方ハ酒黨デナイカラ、餘リ能ク知りマセヌケレドモ、サウ云フコトヲ聞キマス、市場デハ確ニ値上ニナツタ、麥酒
 會社ニ聽クト、麥酒會社ハ値上ヲシタノデハナイト云フ、併シ斯ウ云フコトヲ聞キマス、現在兎モ角モ此大キナ事業ノ、
 又國民大衆ニ關係ノアル斯ウ云フ大キナ事業ニ對スル統制ハ、得テシテサウ云フ弊害ヲ招ギ易イモノデアリマスカラ、今
 ノ銑鐵饑饉ト云ヒ、或ハ麥酒ノ統制ト云ヒ、其他ノコトニ付テモ、斯ウ云フコトハ多々例ガアルト思ヒマス、大キイモノ
 ニ付テハ十分ニ弊害ノ起ラヌヤウニ、サウ云フ御方針デ御願ヲ致シタイ、小サイモノニ付テハモツト、商工省ノ方デカ
 ヲ御注ギニナツテ、サウシテ農林省ト商工省ガ喧嘩ニナラヌヤウニ、産業組合ト商業組合トガ、或ハ中小商工業者トガ非
 常ナ争ヒヲシナイヤウニ、共存共榮デ共々ニヤツテ行ケルヤウニ御盡力ヲ煩シタイト思フデアリマス、尙ホ此點ニ對シ
 マスル現商工大臣ノ簡單ナル御意見ヲ伺ヘレバ仕合デアリマス。

○岡田委員長 簡單デ宜イサウデアリマスカラ、ドウゾ簡單ニ。

○町田國務大臣 只今ノ御意見ヲ拜聽シマシタ、大體ニ於テ御同感デアリマス、ノミナラズ私ノ氣ガ付カヌコトヲ只今御
 意見中ニ承ツテ非常ニ喜ンデ居リマス、尙ホ御希望ノヤウニ大體ニ於テ御同感デアリマスカラ努力致シ、又議會デモ
 濟ミマシクナラバ、改メテユツクリト御話ヲ伺ヒタイト思ヒマス。(笑聲)(下略、午後零時二十分散會)

368
293

昭和十年五月二日 印刷納本
 昭和十年五月三日 發行 (非賣)

編輯人兼 東京市深川區佐賀町一ノ二四 清水正茂
 印刷人 東京市麴町區麴町三ノ一二 廣安與三右衛門
 印刷所 東京市麴町區麴町三ノ一二 東水印刷所
 發行所 東京市深川區佐賀町一ノ二四 全日本肥料團體聯合會
 電話本所二五一〇番

終

